

UFO・超能力・宇宙哲学

UFO contactee

SINCE 1961
GAP-JAPAN NEWSLETTER



UFO・ESP・Cosmic Philosophy

コンタクティー

AUTUMN
1996

134

米政府が隠すUFO問題の驚異的真相

真実であったアダムスキーの体験

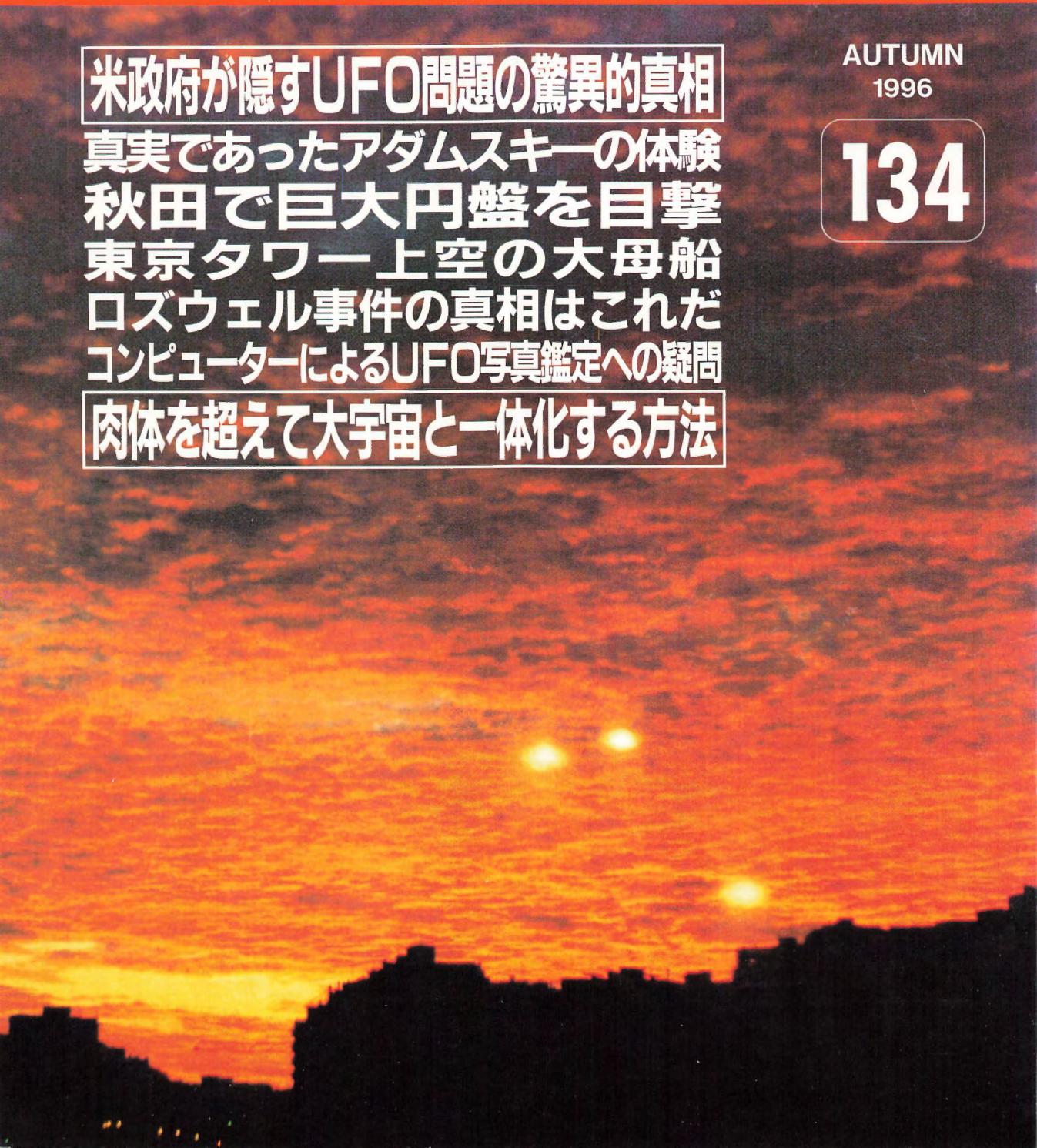
秋田で巨大円盤を目撃

東京タワー上空の大母船

ロズウェル事件の真相はこれだ

コンピューターによるUFO写真鑑定への疑問

肉体を超えて大宇宙と一体化する方法



CONTENTS (Dedicated to Space Brothers and Cosmic Consciousness)

〈巻頭言〉 人間と万物	1
米政府が隠すUFO問題の驚異的真相	久保田八郎 2
真実であったアダムスキーの体験	ゴードン・クレイトン 12
GAP短信	18
真の健康を保つ方法	ジョージ・アダムスキー 19
〈写真〉ビームを放つUFO	20
秋田で巨大円盤を目撃！	加藤 純一 21
東京タワー上空の大母船	遠藤 昭則 22
科学 SCIENCE	24
ロズウェル事件の真相はこれだ	26
コンピューターによるUFO写真鑑定への疑問	遠藤 昭則 28
「自然治癒を考える会」で会長講演	35
東京造形大学でまたも講演	36
肉体を超えて大宇宙と一体化する方法②	37
盛況！秋田支部大会	45
UFO contactee バックナンバー主要記事	46
〈予告〉1996年度日本GAP総会	47
〈投稿欄〉ユーコン広場	48
〈広告〉新アダムスキー全集	50
編集後記	51
日本GAP全国月例セミナー案内	52

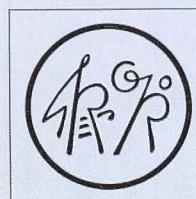
GAPについて

GAPは「知らせる運動」という意味の世界的なグループ活動で、世界中の人々がUFOの真相について“知る”機会を与えられるべきであるという見地に基づいて1959年にジョージ・アダムスキーによって創始されました。彼の願いは「最大多数の人が現代の真実を見発して、来るるべき時代に眼を転じること、人間はすべて“コズミック・パワー”的である、そのパワーの諸法則が宇宙に遍満している事実を確信をもって知ること」がありました。この諸法則は他の世界（惑星）から来る友好的な訪問者からもたらされた“生命の科学”的研究と理解を通じて体得できます。

日本GAPの目的はUFOとスペース・プラザーズ問題を関心ある人々に伝えることにあり、奉仕活動を通じて真実の解明と宇宙の法則の実践を呼びかけることがあります。その中心思想は次のとおりです。

1. この太陽系の他の惑星には偉大な発達をとげた人類が居住しているが、米・他の大国政府はこの真相を隠している。
2. 他の世界から来る人々はこの世界の政治家や科学者とひそかにコンタクト（接触）しており、危機にひんした地球に対して救援の手をさしのべている。官民を問わずスペース・プラザーズとコンタクトしている人々が少数存在すると思われるが、通常その真相は洩らされていない。
3. ジョージ・アダムスキーがもたらした哲学は、人類の精神の向上と地球の輝かしい未来を築くために不可欠のものである。

本誌は他の団体・個人と対立するものではなく、政治・宗教と関係のない非営利刊行物です。本誌が読者に対して多少とも役立てば幸いです。

**〈表紙写真〉**

1978年6月、スペイン、バルセロナの夕暮れ時、主婦のモンセラート・バトリー・リさんのが家の外に不思議な光体が浮かんでいるのを見た。カメラでとらえた。秋山真人氏の鑑定によると、3個の内の中央の光体がUFOで、左右の2個は瞬間移動による映像だという。

しかし誰が何を言おうと、戦後あれほどに世間の耳目を揺るがせたUFO問題は一向に衰微することはなく、またテレビ等で中国人気功師らが行なう物凄い実演等によつて大衆は確実に超常現象に関心を持ち、これらの展開に期待を寄せていることは間違いない。

昨年大騒動を起こした某教団によつて結果的に流布した「超能力イコールまやかしもの」という図式はすでに崩れて、教団の騒ぎが沈静化した現在、またも超常現象やUFO等に対する大衆の関心が高まってきたことは、この

「遠当て」という実験がある。これはマンションの二階に合気道の一派である「気の教室」を主催する男性がおり、五階にはその弟子の女性が待機している。互いに連絡はとれない。ところが二階の先生が片手をかざすと、五階の弟子が後ろへ吹っ飛んで、背中から壁にぶつかった。壁は厚い布で覆われているからケガはしない。四八回の実演で、六回は一秒足らずで反応したという。

もちろん人間の思想信条は全くの自由であつて憲法で保障されているから誰が何を信じようと勝手だが、夢を持つ人と持たない人とはこうも違うものかと思わせるのが、こうした超常現象の世界に対する関心の度合いである。科学は重要だ。非科学的な概念だけで世の中は向上しない。しかし科学に固執するのあまり盲目になつては進歩がないだろう。

こんな事件までも否定する人がおれば正常な人間ではない。それこそ鏡文字人間である。自分の姿を鏡に写して見たときの左右逆の像を正常な自分だとと思うのだろう。だがある種の気功では「部屋の中の壁や天井などは自分を見つめているもう一人の自分なのだ」というフレーリング起こす訓練をして、沂い能力を開発するという。

そこで、「万物を見るときに、それはすべて自分自身なのだ」と説くアダムスキーノの哲学こそ人間を真に覚醒させる最高のカギであると思われるのである。(久)

〈卷頭卷〉
人間と万物



超能力やUFO問題、その他の超常現象の存在をいまだに否定してかかる人達がいる。唯物論一辺倒で教育を受けた人達の思想は、測定器で検出できる物質以外の物の存在を認めてはならないということらしい。良い意味で言えば堅実な考え方だが、これでは百年河清を待つ体の牛歩の進歩しか望み得ないだろう。あるいは進歩的な理論を唱えてひどい目にあうのを恐れているのかもしれない。福来博士その他の偉大な先人の無残な結末を知っているからだ。叩かれると怖いのだ。

科学技術術論といえはれども、本政府の一部門である。そのお役所がこんな研究を始めたからには、よほどこの根拠があつてのことだろう。世界的な大企業であるソニーはすでに専門の研究所を設立して超能力の研究調査を続行している。

ブは五名、さまざまなお実験が試みられている。「なぜソニーがこんな事を?」といふかる人はもつと目を開く必要がある。将来、電波に代わる最有力な通信手段として人間の想念波動に着目しているのだ。さすがは世界のソニー、考えることが違う。

翌日から正常な文字が書けるようになり読めるようにもなつたという。この不思議きわまりない現象はタイムズやデイリー・レグラフなどの有力紙が大々的に取り上げて報じたので、イギリス全土の大評判になつた。世の中には謎の現象があるものだ。

超能力やUFO問題、その他の超常現象の存在をハまだに否定してかかるる

種の専門誌の発刊や、研究機関の設立等で首肯できることである。

場、電場、音波、オゾン、放射線など
を、凶波、心電図、脈拍、呼吸、皮膚

がして「鏡文字」しか書けなくなつた。鏡文字と云うのは、文字の左右が

い事件が発生した。中部のマンチエスターに住むピッキー・ウイルモアーという一〇歳の少女が、ある日突然頭痛

ムスキーリの哲学こそ人間を眞に覺醒させる最高のカギであると思われるのである。（久）

のかと思わせるのが、こうした超常現象の世界に対する関心の度合いである。科学は重要だ。非科学的な概念だけでは世の中は向上しない。しかし科学に固執するのあまり盲目になつては進歩がないだろう。

昨年一二月にイギリスでとてつもない

思うのだろう。だがある種の氣功では、「部屋の中の壁や天井などは自分を見つめているもう一人の自分なのだ」というフィーリングを起こす訓練をして、凄い能力を開発するという。

そこで、「万物を見るときに、それはすべて自分自身なのだ」と説くアダム

もちろん人間の思想信条は全くの自由であつて憲法で保障されているから誰が何を信じようと勝手だが、夢を持つ人と持たない人とはこうも違うも

こんな事件までも否定する人がおれば正常な人間ではない。それこそ鏡文字人間である。自分の姿を鏡に写して見たときの左右逆の象を正常な自分だと

「彼は五名、さまざまなお実験が試みられている。「なぜソニーがこんな事を?」といふかる人はもつと目を開く必要がある。将来、電波に代わる最有力な通信手段として人間の想念波動に着目しているのだ。さすがは世界のソニー、考えることが違う。

翌日から正常な文字が書けるようになり読めるようにもなつたという。この不思議きわまりない現象はタイムズやデイリー・ Telegraphなどの有力紙が大々的に取り上げて報じたので、イギリス全土の大評判になつた。世の中には謎の現象があるものだ。

米政府が隠すUFO問題の驚異的真相

久保田八郎 ▼日本GAP会長▼

●各種UFO事件の内幕はこれだ！

英米両政府は戦後五〇年間の沈黙を破つて地球へ飛来してきたUFOに関する真相を近く発表するらしいという説が流れている。最近の各種の情報を検討しながら筆者の見解を加えてUFO問題の興味深い裏世界を明かるみに出してみた。

ロズウェルの大事件とは何か

戦後大いに世間を騒がせたUFO問題について、どうやら近い将来に米政

府からその真相が発表される気配が濃厚になり、しかも近來大きく問題化したロズウェル事件その他のUFO問題が近未来に公表される可能性が大になつてきたりしい。

米政府のGAO（米政府の会計検査院。議会及び政府の各省や機関を補佐し、連邦政府の收支決算を確定する独立機関）は、一九四七年のロズウェル円盤墜落事件後、円盤の回収と異星人の遺体の解剖に関する秘密文書類の調査を終了した。この調査はニューメキシコ州の下院議員ステイヴン・シフトークワースのカーズウェル空軍基地へから任命されたのである。このGAO

によるロズウェル事件の調査命令には上院議員のダイアン・ファインスタインも一枚かんでいた。

有名なロズウェル事件というのは次

のとおりである。

一九四七年七月四日、米ニューメキシコ州ロズウェル市の陸軍航空隊基地（現在はウォーカー空軍基地となつて）の北西約一二〇キロのフォスター牧場に一機の空飛ぶ円盤が爆発墜落して、小人宇宙人の死体が発見されたという記事が掲載された。

筆者は今ではつきり記憶している。円盤が墜落して、小人宇宙人の死体が発見されたという記事が掲載されたのを筆者は今でもはつきり記憶している。航空隊から復員してまもない筆者は、空飛ぶ円盤というのは米ソの超秘密兵器だろうと思って全く関心はなかつたのだが、なぜかこのロズウェル事件の記事には引かれるものがあつて、友人にこの事を話したら相手は「？」と吹き出でて「戦争が終わったら面白い話が出始めたのう」と大笑していた。

確かにこの当時は奇怪な話題が新聞を賑わしていた。たとえば日露戦争の旅順港閉塞作戦で広瀬中佐と共に戦死したはずの杉野兵曹長が、実は船外に

大体に一九四五八年八月に大戦争が終わってから、急にUFO問題が世界の話題になり、日本でも連日のように記事が新聞に掲載された。当時はUFO（未確認飛行物体の略称）という言葉はなく、もっぱら「空飛ぶ円盤」と言つていた。

四七年七月の五日か六日頃の当時筆者が購読していた毎日新聞にも、アメリカ・ニューメキシコ州ロズウェルに円盤が墜落して、小人宇宙人の死体が発見されたという記事が掲載されたのを筆者は今でもはつきり記憶している。航空隊から復員してまもなくカーズウェル空軍地区司令官ロジャー・レイミー准将がラジオ局から緊急放送により「あれは気象観測用の気球だつた」と発表して新聞記者団に煙幕を張り、完全に否定してしまつたのである。以来この事件の真偽をめぐつて世界のUFO研究界で激しい論議が展開し、テレビでも放映されて有名になつた。

だがマーセル少佐と会見したロズウェル事件の研究家ウイリアム・ムーアは、「決して気球ではなくて、何かの物体が空中で爆発して落下したものだ」と少佐が詳細に説明した内容を著書で述べている。ロズウェルに関する

放り出されて無意識で海上を漂流していたのをロシア軍に救助されて捕虜となり、第二次大戦後、上海でひそかに老齢で生きながらえていたとか、中国で戦死した軍神・西住戦車長が生きていたの、途方もない話が流れていた。



詳しい記事は本誌一二七号に「ロズウェル事件とM J 12文書」と題する坂本貢一氏の記事が出てるので参考されたい。



▲ロズウェル事件の解剖される直前の6本指異星人。

©ボニーキャニオン

なかろうか。

隠蔽策に躍起な米空軍

大体にニューメキシコ州は世界最初の原爆製造の土地であり、ホワイトサンズはロケットの発射実験場として名高く、第八空軍五〇九核爆撃隊が駐屯するという、戦後は世界で最も物騒な地域であった。これを別な惑星から来た異星人が重点的に観察していたと考えても不合理ではないのだ。円盤が墜落したのも放射能と関係があるので

話をもとへもどすと、GAOのロズウェル報告によれば、重要な空軍の文書はどうやら許可なしに破棄されたらしいという。シフ下院議員はこの文書類を「重要」なものと特徴づけて、この文書類によつてもつと多くの情報が知らされればよかつたのにと述べている。

「空軍は、誰が文書類を破棄したのか、なぜ破棄したのかを知つていてない」とシフは言い、さらに空軍の説明はある。空軍の説明はあの当時施行されていた軍の極端な機密保持政策と一致していないし、ロズウェル事件に対するGAOの調査は多数の下院議員達の関心を引き起こしたといふ。GAOは多数の人にインタビューした上、その報告の中には各種の事実が入っていないことを知つたので、それが入っていないことを知つたので、いざれ議会で公聴会が開かれるだろうとGAOは予測しているのだ。

報告書は出てくるのだろうか。一九九四年九月に米空軍はロズウェル事件に関する第二号報告書を出して、過去四七年間、米国民にウソをついていたことを認めたのである。空軍によれば、極端な厳戒下にロズウェルから回収した物体は気象観測気球ではなかつたといふのだ。しかしその報告によれば、回収された物は「たぶん」プロジェクト・モウガルと呼ばれる高空放射エネルギー探知機を搭載したスパイ気球だつたかもしれないと言つてゐる。なんとも矛盾した話だ。

一九九五年一月一六日に、ある信頼すべき情報筋によれば、空軍情報部内のある部署がロズウェルに関する第三号の報告書を準備中だという。この報告書の骨組みはすでにニューヨークタイムズ紙に洩らされており、米空軍のある機密文書からの情報を含んでいとも言っている。だが空軍本部は、情報部の職員によると思われるこの漏洩事件の打ち消しに躍起になっているのである。

遠隔透視によるUFOの探知！

『UFOマガジン』誌のリチャード・ホールは一九九五年の記事で、CIA（中央情報局＝海外での情報収集や政治工作を担当する大統領直属機関）は、CIAのUFOとの関わりあいの歴史を発表するだろうと述べている。しかしそうやらCIAはUFOの調査結果を間接的に徐々に認めるようだ。

その報告第一号は驚くべき内容だった。それは一九九六年一月にニューズ通信社を通じて発表されたが、それによるとCIAは数十年間、種々の関心のある目標物、たとえば湾岸戦争時のイラクの大統領サドム・フセインの隠れ場所などを、遠隔透視能力者を使つて探知していたのだ。

報告第二号はコートニー・ブラウン博士による『宇宙航海』と題する暴露本として二月に発行された。この著者

はある大学の教授で、軍で訓練を受けた遠隔透視能力者である。

この中でブラウンは次の事実を洩らしている。つまりDIA（国防諜報局＝一九六一年から陸海空軍の諜報活動を統合した機関）、INS COM（陸軍情報保障司令部）などで抱えているRV達が透視目標を拡大したというのだ。

(ハ)ここで言うRVというのはレジャー用多目的車ではなくてRemote Viewer（リモート・ビューアー）の略で、遠隔透視能力者を意味する英語である。英和辞書にはない言葉だがアメリカの雑誌ではよく使用されているので知つておくと便利）。

そのRV達が透視目標として狙つたのは地球へ来る異星人達で、その中には地球人と同じ姿をした火星人、グレイといわれる変な宇宙人なども含まれている。

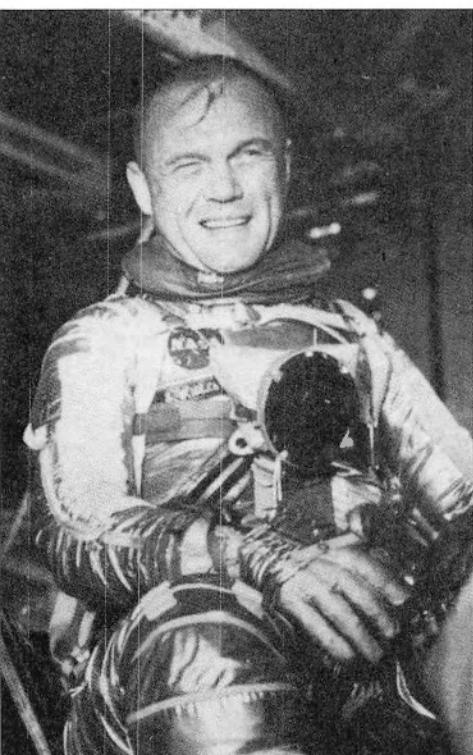
ここでリチャード・ボイランが「ペルトウェー・スロウト」と仮の名で呼ぶワシントン市のある情報筋は、ブラウン博士の透視能力の指導者であるデイムズ少佐が一〇年ほど前に米議会に対してRVに関する状況報告を行なつたが、その中にはRV達が透視した未来の種々の出来事が含まれていたといふ。いずれ出る第三号報告は地球へ来る異星人に関する重要な実事を集めたものになるだろう。これが爆発的なシヨツクを与えると思われるのだ。

グレン中佐、別な惑星の大母船と遭遇

一九六一年四月一二日、ソ連のユーリ・A・ガガーリンが搭乗した宇宙船ボストークは、遠地点三二七キロの軌道に乗つて地球軌道を一周し、人類最初の宇宙飛行士の栄誉を受けた。これに遅れること約三週間後の五月五日、今度はアメリカがマーキュリー計画による有人宇宙船を打ち上げて成功したが、これは地球軌道に乗らなかつた。翌年二月、アメリカ海兵隊のジョン・グレン中佐が乗つたマーキュリー一六号（フレンドシップ七）がアメリカ最初の地球軌道周回飛行に成功し、一連のマークリー計画の本格化の幕を開けとなつた。

英雄となつたグレンが帰還後に、宇宙空間にホタル火のような物体が沢山見えたと発表したためにアダムスキー

がその著書『Inside the Space Ships (宇宙船の内部)』。日本語訳は中央アート出版社刊・新アダムスキー全集第一巻『第二惑星からの地球訪問者』に収録)で述べた宇宙空間の目撃体験を立証するものとして騒がれたので、当局は以後、宇宙飛行士に対して厳重な箱口令をしいたといわれる。つまり異常な光景を見たことをしゃべるなどいふ命令である。このホタル火の件が当時の日本の週刊誌に大きく書かれたのを筆者は覚えている。またグレンが宇宙飛行中に日本製カメラのミノルタハイマティックで撮影した宇宙空間の写真の中に奇妙な細長い物体が写つているのを、アダムスキーは別な惑星の大母船だと指摘していた。アメリカ史上最初の有人宇宙飛行を別な惑星の人達が注視していたのだというのだ。危険な状況になれば救出しようとしていたらしい。彼らはもちろん友好的な異星



▲ジョン・グレン中佐

・マーキュリー6号の打ち上げ

グレン中佐は目撃した！



1962年2月20日、米海兵隊のジョン・グレン中佐が搭乗したマーキュリー6号（フレンドシップ7）が、改造型アトラス大陸間弾道ミサイルで、キューバに近いフロリダ半島のケープカナベラル基地から打ち上げられた。そして約5時間の航行で地球軌道を3周した後に無事帰還したが、その間彼は宇宙空間で不思議な現象を目撃してアダムスキーの主張を裏づけた。

人である。

クーパー宇宙飛行士、驚くべきUFO事件類に関係

マーキュリー計画最後の実験は一九六三年五月一日に行なわれた。マーク・クーリー九号（フェース七）に乗ったルロイ・ゴードン・クーパー空軍中佐は、地球軌道を二二周して無事帰還した。

二年後の六五年四月に、アーカンソー州で開催されたある集会で、クーパーが米空軍将校であった当時の一九五七年に、四人の空軍搭乗員がエドワーズ空軍基地で、ある航空機の着陸装置のテストを記録映画として撮影中、突然一機のUFOが急降下して基地へ着陸したと発表したのだ！その光景を空軍の映画撮影機がキャッチしていた。仰天した撮影班の男達は撮影済記録



▲ルロイ・クーパー中佐（中央）。右側はジョン・グレン中佐。

映画フィルムをエドワーズ空軍基地の司令部に届けた。ゴードン・クーパーは個人的にその映画を見ていたのである。司令部の幹部将校連はその後、そのフィルムをワシントン市の国防省へ送ったが、なしのつぶてであつた。以後誰もそれについては知らないという。

クーパーは近々に放映されるテレビ番組で、この事件の内容を話すものとみられている。

このUFO大事件の記録映画に関する、クーパーはカナダのある映画製作会社に勤めているアイルランド人の映画プロデューサー、ジャッキー・ダンと協力関係にあつた。

クーパーはまたインデペンデンント・インターナショナル映画会社のサム・シャーマンとも会つている。この男は『地球を超えて』と題する映画を製作中で、これは九六年の前半に公開が予定されている。

この作品の中でクーパーは、異星人と共にUFOの機構に関して研究してきたと述べている。この男は小さなUFOの模型を作った上、あるアラブ人の国から資金援助を受けて直径一メートルの試作機を建造していたという。だがこの男は他界した。

またクーパーはアドバンスト・テクノロジー・センターについても語っている。この会社はすでに存在しないのだが、一時期は明らかに異星人の技術をひそかに応用する仕事に關係していた。その上クーパーは例のロズウェル事件の際に彼の一友人が異星人の遺体を見た件についても話している。どだいクーパーは『UFO男』といふんでよいほどに凄い事件に関わつていたのだ。

NASAによる月面の実態の隠蔽工作

一九九五年四月に出たある記事で、元NASAの情報部長であつたモーリス・シャトランは、アポロ宇宙船が月面で『不自然な種々の幾何学的構造物』を発見したと爆弾発表を行なつた！と題する記事で詳細に伝えてあるので、それを参照されたい。

定されている。

この作品の中でクーパーは、異星人

と

星から来た異星人が占有して基地化していることは間違いないのだ。ただし

この異星人達は敵意をもつものではな

く、むしろ地球人に対して友好的であ

ることとはアポロ計画を全く阻止しなか

つたばかりか、危機に瀕したアポロ一

三号を救助したフジがあることからも

わかるのだ。

ジョン・シルヴァー率いる海賊一味が目ざす宝の隠し場所を発見したときには、すでに中はもぬけの空だつた。失望した海賊達の耳に不気味な歌声が響いてくる。

死人の箱に一五人

ラム酒一本ヨーホーポー ロバート・L・ステイヴンソンの名作『宝島』を地で行くような大失策をアメリカはアポロ計画で演じた。ところは別な惑星に触手を伸ばすための宇宙基地として月を目標にしたのが、すでに『誰かが』先住していたからである。だがこれは宇宙に対して全く盲目であつた地球人に驚天動地の実を気づかせたという点でそれなりの価値はあつたといえよう。

アポロ計画といえば隠蔽工作はまだある。一九六九年から七二年にかけてアポロ宇宙船が次々と月に着陸していく。当時、ヒューストンの宇宙センターで写真技術者として働いていたドナ・ティーツという男が、一九九五年五月六日にワシントン市のWOLF局のラジ

オインタビューに出演して次のように話した。

「秘密の部屋で自分と一緒に仕事をしていたある同僚は、アポロ宇宙船が月面で撮影した写真を一般に発表する前に、写真中に写っているUFOの姿をエアーブラシで消すのが専門だった」エアーブラシというのは、絵の具を噴霧器にかけて写真に吹きつける工程または噴霧器そのものを意味する。写真修正用に必備の道具である。こんなことをNASAがやっていたのだ!

別な元宇宙飛行士ブライアン・オリリー博士は、一九九四年九月一八日にコロラド州フォートコリーンズの国際ニュースアイエンス会議で公式に次のような宣言をなした。それによると、ほとんどの五〇年間、米政府内のある秘密機関がUFO問題や異星人とのコンタクト事件に関する情報を隠してきたというのだ。彼はきっぱりと述べた。

「我々は異星人の文明と接触してきたのです」

こうした事実の公開についてはどう思うかと聞かれて彼は言つた。

「少なくとも過去四七年間におけるUFOと別な惑星の人間にに関する情報は、たぶんCIA、NSA、DIA部内のあるエリート集団によって調整されつつあると思います。この小グループはこうした信じ難いような秘密事項をきわめて巧みに隠す能力があるようです。あの根絶し難いビースト（米俗語で、

新しく複雑な機械の意味。つまりUFOのこと）を調査してきたその人たちは、UFO、異星人、マインドコント、反重力推進法その他の秘密事を宇宙ウォーターゲートと呼ぶならば、本物のウォーターゲートまたはイランゲートなどは子供だましのようなものだとみていますよ」

ロズウェル事件の「遺体解剖」映画は本物なのか

一九九五年三月五日の金曜日、イギリスのテレビプロデューサー、レイ・サンティリは、ロンドン博物館で記者会見を行なつて、彼は陸軍航空隊による墜落したUFO回収作戦の場面を含む軍情報部撮影の一四巻にわたる一六ミリ記録映画フィルムを所有していると発表したが、この中には数体の異星人の遺体が解剖されている場面を写したものもあるという。

サンティリ氏によると、彼はこのフィルムをジャック・バーネットからもらったという。バーネットというのは八二歳になる軍の専属の写真家で、一九四七年七月のロズウェルUFO墜落回収作戦で彼が撮影した機密のフィルムの個人的なコピーを保管していると

ルムは情報部員のリーク（漏洩）を通じて入つて来た気配があるという。

この墜落UFOと遺体解剖のフィルムが実際に情報部筋から出たという根拠は、次の二つの事件を意味するのである。

一九九五年にロンドンに滞在していた台湾UFO研究会のメンバー達は、同年六月にその記録映画を見たのだが、彼らは二年前の一九九三年に中国のUFOフィルムと交換にCIAから同じ遺体解剖のコピーフィルムを受け取ったというのだ。また元空軍情報部員のディック・ドティー軍曹が言うには、少し前にニューメキシコ州ロスアラモスの国立研究所でロズウェルのフィルムを見せられたというのである。一九九五年六月二八日、ステイーヴン・シフを含む一九名の上下議員団が、彼らの要求に対して異星人遺体の解剖の記録映画を見たのである。

これから二カ月後の一九九五年八月二八日には『異星人遺体の解剖』。事実かウソか?と題する特別番組が世界で放映された。六本指の身長一・五ないし一・八メートルの異星人がテレビ画面に出てきたが、これはサンティリ氏が所有する別な記録映画で見られる四本指の身長約一メートルの異星人とは異なる人種だった（三頁の写真参照）。

うした矛盾が意味するところは次の点だ。

ある巧妙な情報機関がデマ拡張作戦を実施して、疑惑を起こさないサンティリ氏や世界の大衆にニセの映画を押しつけることによって、一九四七年のロズウェルUFO墜落事件に関する証拠が急速に広がる状態から大衆の目をそらさせようとしたのかもしれない。

いずれのフィルムも本物か

二者択一的にみると、この矛盾は巧妙な積極的なデマ作戦を意味しているのかかもしれない。その場合は、各地の墜落UFO回収場面を撮影した本物の軍情報部撮影の記録映画がロズウェルの名のもとにそろつて出回ったとも思われるのだ。その場合はロズウェルとは別な場所で撮影されたものとロズウェルとを見分けるために大衆の側の眼識を必要とするだろう。

この後者の作戦は、調査されたロズウェルの事実と矛盾する映画の場面を見せることによって、結局ロズウェルの事件は発生しなかつたのだと思われて、恐怖心をいだいている不信論者達を安心させる狙いもあつたのかもしれない。

以下、ポニーキャニオン発売のビデオ『宇宙人解剖フィルム完全版』。ロズウェル事件48年目の眞実』の最後に出てくる二〇分間にわたる記録映像の抜

ブラジルのUFO

1978年11月15日午後4時頃、ロベルト・エリソン・ペレス氏が、ゴヤス州イパマリ郊外の自分の牧場上空に出現したUFOを連続4枚撮影した内の1枚。UFOは二重ドームの金属質の物体で、ゆっくり移動した後、上昇して消えた。

©日本GAP



粹は、明るい照明のもとで行なわれて、いる解剖遺体の粒子の荒い画像を見せている。別な方面からの報告によれば、この部分は各種のフィルムに撮影されている三回の死体解剖の二番目だとう。

病院の手術室のような部屋で三人の医師が働いている。そのうち二人はフード付きの病原菌隔離用の服を着ており、他の一人は大きなガラス窓の向こうから観察している。

隔離服を着た二人は黒い死体置き台の上に置かれている人の異星人の遺体にとりついて作業をしている。その遺体の身長は一・五メートルないし一・八メートルぐらいだ。どうやら女性らしい。この女性の頭は人間よりも大きくて、頭蓋骨の後ろが大きく発達しており、異様な形である。両目は大きく黒い。胴は腹部が大きくふくらんでいる。たぶん荒れ地で腐敗したのだろうか。

異様なのは手の指が六本、足の指も六本あることだ。右脚の一部は焼け焦げているが、これは墜落時の衝撃のためだろう。頭髪または腋の下の毛はない。見たところ肋骨もないようだ。耳と鼻は小さいが、人間のものと比較して未発達だ。口には歯がなくて、唇ははつきりしない。耳は極端に低い位置にあり、アゴの関節の下にある。ヘルミーはない事実であったが、遺体としてあるけれども、はつきりとわかる乳

房はない。したがってこの死体は異星人と地球人との混種ではないかと考えている研究家達がいる。というのは応性器があること（これは地球人的なもの）、乳房が存在しないこと（これは異星人的なもの）のためだ。

イギリスUFO研究会の幹部であるフィリップ・マントルがむかし見た別な記録映画の場面によると、身長約一メートルから一メートル二〇センチ、手に四本の指を持つ異星人の遺体解剖（端に着いている挿入部分）を調べたところ一九四七年製であることがわかった。つまりロズウェル事件の発生した年なのだ。

これで大体に見当がつくのは、四本指の方がロズウェル異星人らしいということだ。そうすると六本指の方は別な場所に墜落した異星人で、これを軍がなんらかの意図でロズウェルと称したのか、それとも単なる混同なのかは不明である。

ロズウェル異星人は「ボット」か

筆者がかなり以前にヨーロッパの某国で某研究家から聞いたところによる

ではなくてロボットなのだという。そういうえば、アダムスキーは昔ソ連で製作されたUFOの劇映画を見て、画面に出てくる異星人のスカウト（ソブ（円盤）の中に自分が絶対に洩らしてはならない特殊な「物」があるのを見て、ソ連にも自分と同じようなコントакティーがいることがわかつたと述べているが、あれはロボットを意味するのだと昔アメリカで別人から聞いたことがある。それが真実だとすれば、異星人の科学は物凄い進歩をとげていることになる。

ジム・ラグズデイルという当時のロズウェルの現場を見た唯一の目撃証人が昨年（一九五五年）七月にガンで亡くなつたのだが、その五日前に公証人に對して次のように証言している。

「野原で夜遅く恋人とデートしていたクティーとして名高い秋山眞人氏の見解を聞いてみよう。時は五月下旬、場所は同氏の事務所である。

「今回中国から宇宙人情報が出るところを見越してこの記録フィルムが出来ているのです。ですから、かなり作戦的な感じもするんです。例のミステリーサークルをマスメディアに流したコリー・アンドリュースの所に最初にこのフィルムが匿名で送りつけられたらしいのです。それでアンドリュースからいろいろな所にばらまかれた経緯があります。ただし別なルートでだいぶ前に沖縄の議員の手にこのフィルムが入っているんです。それはアンドリュースではなくて軍関係の資料から出たものだと聞いています。

以上が事実とすればロボットです。ロボットといつてもクローン人間です。つまり生体ロボットです。

これは本物の人間ではない。明らかに人造人間、つまりロボットである。

ただし全くの金属製機械仕掛けのロボットではなくて、有機質の人間に似た内臓を持つロボットらしい。

ラグズデイル氏は現場に散乱している金属片を持ち帰ったが、数日後、恋人が謎の交通事故で死亡し、彼の家には留守中に泥棒が入って金属片は持ち去られていたという。軍の機密保持要員にやられたのだろうか。

秋山眞人氏の見解

ここで超能力者であり、またコンタクティーとして名高い秋山眞人氏の見解を聞いてみよう。時は五月下旬、場所は同氏の事務所である。

「今回中国から宇宙人情報が出るところを見越してこの記録フィルムが出来ているのです。ですから、かなり作戦的な感じもするんです。例のミステリーサークルをマスメディアに流したコリー・アンドリュースの所に最初にこのフィルムが匿名で送りつけられたらしいのです。それでアンドリュースからいろいろな所にばらまかれた経緯があります。ただし別なルートでだいぶ前に沖縄の議員の手にこのフィルムが入っているんです。それはアンドリュースではなくて軍関係の資料から出たものだと聞いています。

以上が事実とすればロボットです。ロボットといつてもクローン人間です。つまり生体ロボットです。

（クローンというのは細胞、DNAなどの一つの個体から無性生殖的に生じた遺伝的に均一な個体群。俗に複製生

物、コピー生物という)これは異星人にとって非常に困難な探索等に使う場合があるんです。

いわゆる小人タイプと言われている宇宙人のなかには、クローンで作ったものと、非常に遠い惑星から来ている原種もあるんです。ですから現在、異星人達にとつてはクローンで作ったロボットのようなものと、それに非常に近い形の原種と二種類の登録がされているわけです。

そこでロズウェルの場合ですが、ロボットの一体を手に入れて解剖した可能性もあります。しかし私があの記録フィルムを見た限りでは、やはり生き物だと思うんです。これ自体はハリボテではないですね。ですから可能性としては一つはクローンを捕まえて解剖したか、もう一つの考え方としては、障害者を使ってかなり精密にやつた死体解剖のフィルムを捏造用に作つたという可能性もあります。

これは指が六本あるんでしよう。ロズウェルの本物といわれるフィルムは指が四本です。中国から出てきたフィルムは指が四本です。

もう一つの可能性は、本当は指が四本だつたけれども、混乱を起させるためにハリボテの指だけ付けておいて、それを撮影させたとも考えられます。

大体、このカメラマンに撮らせた経緯というのが非常に不自然です。だからわざと撮らせていろんなリーグ(漏

洩)をさせたとも思われます。

どちらにしても、この写真(筆者がポニーキヤニオン社から借用した異星人解剖写真)と入手経路やいろんな人間をながめてみますと、まず正しい異星人情報(われらの太陽系の各惑星に住む人間は地球人と全く変わらない体型や知能と運動能力を持つという情報)が流れつつあるので、それが広がらないようにするための作為であると思われます。つまり正しい異星人情報と混乱しやすいような正しいものに近いようなものを流していると思われる

です。ですから一種のクローン的な生体ロボットを実際に捕まえた例は何体があるんでしょうから、その一体を解剖しているフィルムを作った可能性もあります。体自体は本物の生體だと思いますが、一連のフィルムを特殊な編集によって作つていった経過があるんじゃないでしょうか。

しかし(と云つて解剖写真を指さしながら)この写真の「人間」は間違いなく生き物です。ですからハイテク応用によつて、ある程度の機械的な部分と生体の部分が融合された中間的な物

だと思いますね。

このタイプの「宇宙人」というのは、小型の球形のUFOが腹の中に入つて

いるんです。機械的な部分はそれだけ

です。それに対して増殖したそれぞれ

の生体の神経部分を脳につなぐよう

つないであるんです。そして何かの理

由でそのロボットが作動不能になつたときには、証拠を残さないようにするため、UFOの部分は上空に上昇させて待機している宇宙船が押収し、あとの生体の部分は、処分するのであれば、ある波動を放射すると全部ダラダラと寒天状になつて蒸発してしまふん

です。

しかしこの写真を見ると、どつちか

という判定がつきません。いずれにし

ても、正しいUFO情報を混乱させることは間違ひありませんね」

ために作為的なフィルムが流されることは間違ひありませんね」

という判定がつきません。いずれにし

ても、正しいUFO情報を混乱させる

ことは間違ひありませんね」

しかし(と云つて解剖写真を指さ

ながら)この写真の「人間」は間違いなく生き物です。ですからハイテク応

用によつて、ある程度の機械的な部分

と生体の部分が融合された中間的な物

だと思いますね。

このタイプの「宇宙人」というのは、

小型の球形のUFOが腹の中に入つて

いるんです。機械的な部分はそれだけ

です。それに対して増殖したそれぞれ

の生体の神経部分を脳につなぐよう

つないであるんです。そして何かの理

由でそのロボットが作動不能になつた

ときには、証拠を残さないようにする

ため、UFOの部分は上空に上昇さ

せて待機している宇宙船が押収し、あ

との生体の部分は、処分するのであれば、ある波動を放射すると全部ダラダ

ラと寒天状になつて蒸発してしまふん

です。

しかし(と云つて解剖写真を指さ

ながら)この写真の「人間」は間違いなく生き物です。ですからハイテク応

用によつて、ある程度の機械的な部分

と生体の部分が融合された中間的な物

だと思いますね。

このタイプの「宇宙人」というのは、

小型の球形のUFOが腹の中に入つて

いるんです。機械的な部分はそれだけ

です。それに対して増殖したそれぞれ

の生体の神経部分を脳につなぐよう

つないであるんです。そして何かの理

由でそのロボットが作動不能になつた

ときには、証拠を残さないようにする

ため、UFOの部分は上空に上昇さ

せて待機している宇宙船が押収し、あ

との生体の部分は、処分するのであれば、ある波動を放射すると全部ダラダ

ラと寒天状になつて蒸発してしまふん

です。

しかし(と云つて解剖写真を指さ

ながら)この写真の「人間」は間違いなく生き物です。ですからハイテク応

用によつて、ある程度の機械的な部分

と生体の部分が融合された中間的な物

だと思いますね。

このタイプの「宇宙人」というのは、

小型の球形のUFOが腹の中に入つて

いるんです。機械的な部分はそれだけ

です。それに対して増殖したそれぞれ

の生体の神経部分を脳につなぐよう

つないであるんです。そして何かの理

由でそのロボットが作動不能になつた

ときには、証拠を残さないようにする

ため、UFOの部分は上空に上昇さ

せて待機している宇宙船が押収し、あ

との生体の部分は、処分するのであれば、ある波動を放射すると全部ダラダ

ラと寒天状になつて蒸発してしまふん

です。

しかし(と云つて解剖写真を指さ

ながら)この写真の「人間」は間違いなく生き物です。ですからハイテク応

用によつて、ある程度の機械的な部分

と生体の部分が融合された中間的な物

だと思いますね。

このタイプの「宇宙人」というのは、

小型の球形のUFOが腹の中に入つて

いるんです。機械的な部分はそれだけ

です。それに対して増殖したそれぞれ

の生体の神経部分を脳につなぐよう

つないであるんです。そして何かの理

由でそのロボットが作動不能になつた

ときには、証拠を残さないようにする

ため、UFOの部分は上空に上昇さ

せて待機している宇宙船が押収し、あ

との生体の部分は、処分するのであれば、ある波動を放射すると全部ダラダ

ラと寒天状になつて蒸発してしまふん

です。

しかし(と云つて解剖写真を指さ

ながら)この写真の「人間」は間違いなく生き物です。ですからハイテク応

用によつて、ある程度の機械的な部分

と生体の部分が融合された中間的な物

だと思いますね。

このタイプの「宇宙人」というのは、

小型の球形のUFOが腹の中に入つて

いるんです。機械的な部分はそれだけ

です。それに対して増殖したそれぞれ

の生体の神経部分を脳につなぐよう

つないであるんです。そして何かの理

由でそのロボットが作動不能になつた

ときには、証拠を残さないようにする

ため、UFOの部分は上空に上昇さ

せて待機している宇宙船が押収し、あ

との生体の部分は、処分するのであれば、ある波動を放射すると全部ダラダ

ラと寒天状になつて蒸発してしまふん

です。

しかし(と云つて解剖写真を指さ

ながら)この写真の「人間」は間違いなく生き物です。ですからハイテク応

用によつて、ある程度の機械的な部分

と生体の部分が融合された中間的な物

だと思いますね。

このタイプの「宇宙人」というのは、

小型の球形のUFOが腹の中に入つて

いるんです。機械的な部分はそれだけ

です。それに対して増殖したそれぞれ

の生体の神経部分を脳につなぐよう

つないであるんです。そして何かの理

由でそのロボットが作動不能になつた

ときには、証拠を残さないようにする

ため、UFOの部分は上空に上昇さ

せて待機している宇宙船が押収し、あ

との生体の部分は、処分するのであれば、ある波動を放射すると全部ダラダ

ラと寒天状になつて蒸発してしまふん

です。

しかし(と云つて解剖写真を指さ

ながら)この写真の「人間」は間違いなく生き物です。ですからハイテク応

用によつて、ある程度の機械的な部分

と生体の部分が融合された中間的な物

だと思いますね。

このタイプの「宇宙人」というのは、

小型の球形のUFOが腹の中に入つて

いるんです。機械的な部分はそれだけ

です。それに対して増殖したそれぞれ

の生体の神経部分を脳につなぐよう

つないであるんです。そして何かの理

由でそのロボットが作動不能になつた

ときには、証拠を残さないようにする

ため、UFOの部分は上空に上昇さ

せて待機している宇宙船が押収し、あ

との生体の部分は、処分するのであれば、ある波動を放射すると全部ダラダ

ラと寒天状になつて蒸発してしまふん

です。

しかし(と云つて解剖写真を指さ

ながら)この写真の「人間」は間違いなく生き物です。ですからハイテク応

用によつて、ある程度の機械的な部分

と生体の部分が融合された中間的な物

だと思いますね。

このタイプの「宇宙人」というのは、

小型の球形のUFOが腹の中に入つて

いるんです。機械的な部分はそれだけ

です。それに対して増殖したそれぞれ

の生体の神経部分を脳につなぐよう

つないであるんです。そして何かの理

由でそのロボットが作動不能になつた

ときには、証拠を残さないようにする

ため、UFOの部分は上空に上昇さ

せて待機している宇宙船が押収し、あ

との生体の部分は、処分するのであれば、ある波動を放射すると全部ダラダ

ラと寒天状になつて蒸発してしまふん

です。

しかし(と云つて解剖写真を指さ

ながら)この写真の「人間」は間違いなく生き物です。ですからハイテク応

用によつて、ある程度の機械的な部分

と生体の部分が融合された中間的な物

だと思いますね。

このタイプの「宇宙人」というのは、

小型の球形のUFOが腹の中に入つて

いるんです。機械的な部分はそれだけ

です。それに対して増殖したそれぞれ

の生体の神経部分を脳につなぐよう

つないであるんです。そして何かの理

由でそのロボットが作動不能になつた

ときには、証拠を残さないようにする

ため、UFOの部分は上空に上昇さ

せて待機している宇宙船が押収し、あ

との生体の部分は、処分するのであれば、ある波動を放射すると全部ダラダ

ラと寒天状になつて蒸発してしまふん

です。

しかし(と云つて解剖写真を指さ

ながら)この写真の「人間」は間違いなく生き物です。ですからハイテク応

用によつて、ある程度の機械的な部分

と生体の部分が融合された中間的な物

だと思いますね。

このタイプの「宇宙人」というのは、

小型の球形のUFOが腹の中に入つて

いるんです。機械的な部分はそれだけ

です。それに対して増殖したそれぞれ

の生体の神経部分を脳につなぐよう

つないであるんです。そして何かの理

由でそのロボットが作動不能になつた

ときには、証拠を残さないようにする

ため、UFOの部分は上空に上昇さ

せて待機している宇宙船が押収し、あ

との生体の部分は、処分するのであれば、ある波動を放射すると全部ダラダ

ラと寒天状になつて蒸発してしまふん

です。

しかし(と云つて解剖写真を指さ

ながら)この写真の「人間」は間違いなく生き物です。ですからハイテク応

用によつて、ある程度の機械的な部分

と生体の部分が融合された中間的な物

だと思いますね。

このタイプの「宇宙人」というのは、

小型の球形のUFOが腹の中に入つて

いるんです。機械的な部分はそれだけ

です。それに対して増殖したそれぞれ

の生体の神経部分を脳につなぐよう

つないであるんです。そして何かの理

由でそのロボットが作動不能になつた

ときには、証拠を残さないようにする

ため、UFOの部分は上空に上昇さ

せて待機している宇宙船が押収し、あ

との生体の部分は、処分するのであれば、ある波動を放射すると全部ダラダ

ラと寒天状になつて蒸発してしまふん

です。

しかし(と云つて解剖写真を指さ

ながら)この写真の「人間」は間違いなく生き物です。ですからハイテク応

用によつて、ある程度の機械的な部分

と生体の部分が融合された中間的な物

だと思いますね。

このタイプの「宇宙人」というのは、

小型の球形のUFOが腹の中に入つて

いるんです。機械的な部分はそれだけ

です。それに対して増殖したそれぞれ

の生体の神経部分を脳につなぐよう

つないであるんです。そして何かの理

由でそのロボットが作動不能になつた

ときには、証拠を残さないようにする

ため、UFOの部分は上空に上昇さ

せて待機している宇宙船が押収し、あ

との生体の部分は、処分するのであれば、ある波動を放射すると全部ダラダ

ラと寒天状になつて蒸発してしまふん

です。

しかし(と云つて解剖写真を指さ

ながら)この写真の「人間」は間違いなく生き物です。ですからハイテク応

用によつて、ある程度の機械的な部分

と生体

「ほんの間は何んをも宇宙の
彼方の惑星から来た“宇宙人”だと一
般大衆に思い込ませないように細心の
注意を払っていたと考えられるのだ。
彼は一九五二年一月二〇日、米カ
リフォルニア州南部のデザートセンタ
ー砂漠で、着陸した金星のスカウトシ
ップ（探査用円盤）から降り立った金
星人と約一時間会見してテレパシーと
ジェスチュアで語りあつたが、そのと
きに米空軍の数機の偵察機が超低空で
飛来し、会見中のアダムスキーと金星
人の姿や、そばの斜面に一部分着陸し

アダムスキーは正しかつた

だがその前に重要なのは、科学力による地球規模の環境の大改善と、人間の精神の向上によって地球上の波動を根本的に高次元化することにあると思われる。地球社会を絶対平和にして人間が超長寿を保とうと思えばだ。

りつくような水と洗濯板を入れて、素手でゴシゴシと長時間洗つた原始的で難儀な肉体労働の頃から見れば今は夢のような時代になつた。いつかは人間に似た精巧きわまりないロボットが出来て社会に大変革をもたらす時代がくるだろう。

中から撮影した写真が、米空軍のトツプシーケレット（超機密）証拠物件として秘蔵されているという話が昔から伝わっていた。筆者がアメリカで徹底的に調査した結果、これは事実であることが判明した。ただしどこに隠匿してあるのかは不明である。

アダムスキーガ会見したその金星人やその他の異星人は、すべて見かけは地球人と全く変わらないという。このことはコンタクティーである秋山眞人氏の体験談でも強調しておられることがある。したがつて、いわゆる「宇宙人」なるものを奇怪な姿をした妖怪一般の風潮はひどくやがめられた概念にもとづいているのであって、これはなんらかの方法では止されるべきである。友好的な惑星から来る異星人は地球人と同様、全くの人間そのものであり、しかも偉大な英知と高貴な精神の持ち主であることは前述したとおりである。詳細については新アダムスキーエ全集第一巻『第二惑星からの地球訪問者』に述べある。

ここではロズウェル事件が全くの捏造事件だというのではないし、ロボットの存在を否定するものでもない。むしろこの事件はまぎれもない事実であり、驚異的な生体ロボットを製作するほどの科学力を持つ異星人に対して畏敬感さえ生ずるのだ。この背後には本物の異星人が存在して、亡くなつた生体ロボットに対して憐憫の念を送つていたことだろう。

複雑きわまりない地球社会のデマ情報や誤った概念等から脱して眞実を知るのは容易ではないけれども、しかしやはり“眞実”を求めて前進すること

が重要であり、そのためにはあらゆる情報網を駆使して探求の手をゆるめず、に、ひたすら「知る」ことに専念して探求をすすめたいと思う。

戦後世界の耳目を揺るがせながら、信・不信の渦中にあつたUFO問題は、いまや文明の流れを変えるほどの重要な



●ロズウェル宇宙人解剖事件を詳細に記録したビデオが発売されています。83分のカラーとモノクロから成る実写画面は1947年7月の大事件の実情を克明に描写し、見る者を興奮させます。

●ハイファイ、ステレオ、VHS、スタンダードサイズ、1巻。
定価￥9,800 送料￥700
発売元 ポニーキャニオン社
〒104 東京都中央区入船2-1-1
TEL 03-3355-6611

な現象として注視されるようになった。余談ながら、アメリカへ調査に行くたびに筆者が肌で感じるのは、UFOの出現や着陸にアメリカほどに好適な国はないということである。これは雄大な国土もさることながら、アメリカ人のふところの深い人間性、進取の気性、先端をゆく科学力その他が異星人の“好み”に適しているのかもしれない。その証拠に入口に比例してUFOを信ずる人の比率は一九五〇年代から圧倒的に高率を示していた。それも高学歴の人ほど信ずる傾向が強いといわれていた。

眞実であつたアダムスキーノの体験

●ゴードン・クレイトン／久保田八郎訳

クリエイティン氏はイギリスの名高いUFO専門誌「フライング・ソーサー・レビュー」の幹部であった。昔アダムスキーを支持して、アダムスキーパー編集長チャールズ・ボウエン氏らとともに論陣を開いていたが、後に編集者が交替してから同誌は反アダムスキーリー的になつた。この記事は昔の同誌に掲載されたもの。編者（久保田）も昔クリエイティン氏やボウエン氏らと文通していしたが両名とも世を去つた。

ウーゴ・ルヨ・ベガという人が、空中に静止している正体不明の物体をポラロイドカメラで撮影したというもので、これはどう見ても一九五二年一二月一三日に米カリリフォルニア州パロマーラーデンズで、不運な、しかもひどく悪く言われていると思われるあのジヨージ・アダムスキーによって撮影されたという「金星の円盤」にそっくりなのである。

りで、ちょっと停車して、そのオレンジを食べようではないかと誘いかけてきた。

が円盤を見たときは、それが「目の高さ」にあつたという。その場所はペルラ・カルレテラ・セントラルである。氏は新聞記者に次のように語っている。「それは輝く銀色を帶びていた。上部は丸屋根のよう見え、頂上には一定の青い光があつた。

「その後、われわれはほんの数メートルの所に空飛ぶ円盤を見た。息がはずんでくる。二人とも無言のままだ。

一連の考えが心をかすめた。私は騒がずに車へ走りもどつてカメラを取り出した。そして細心の注意を払つて写

氏はたつた一枚だけを写せたといふ
話は続く。

界から消えてしまった。このため一枚
しか写せなかつたのだ。
その瞬間、私は写真がうまく写つて
いるとは思わなかつた。写真の技術は
下手だと自認していたからだ。

ペルーにアダムスキーモード盤が出現！

この素晴らしい目撃事件の新聞記事を送つてくれたのは、かつてパナグラ航空に属していたペルー、リマのジョージ・ミルバーグで、彼の旧友であるデレク・デンプスター（訳注）一九五

この素晴らしい目撃事件の新聞記事を送つてくれたのは、かつてパナグラ航空に属していたペルー、リマのジョージ・ミルバーグで、彼の旧友であるデレク・シンプスター（訳注）一九五五年から五六六年にかけてイギリスのフライング・ソーサー・レビュー誌の編集長であつた人を通じて私に回送されてきたものである。

事件は一九七三年一〇月一九日に発生した。この日、ペルー人技師である

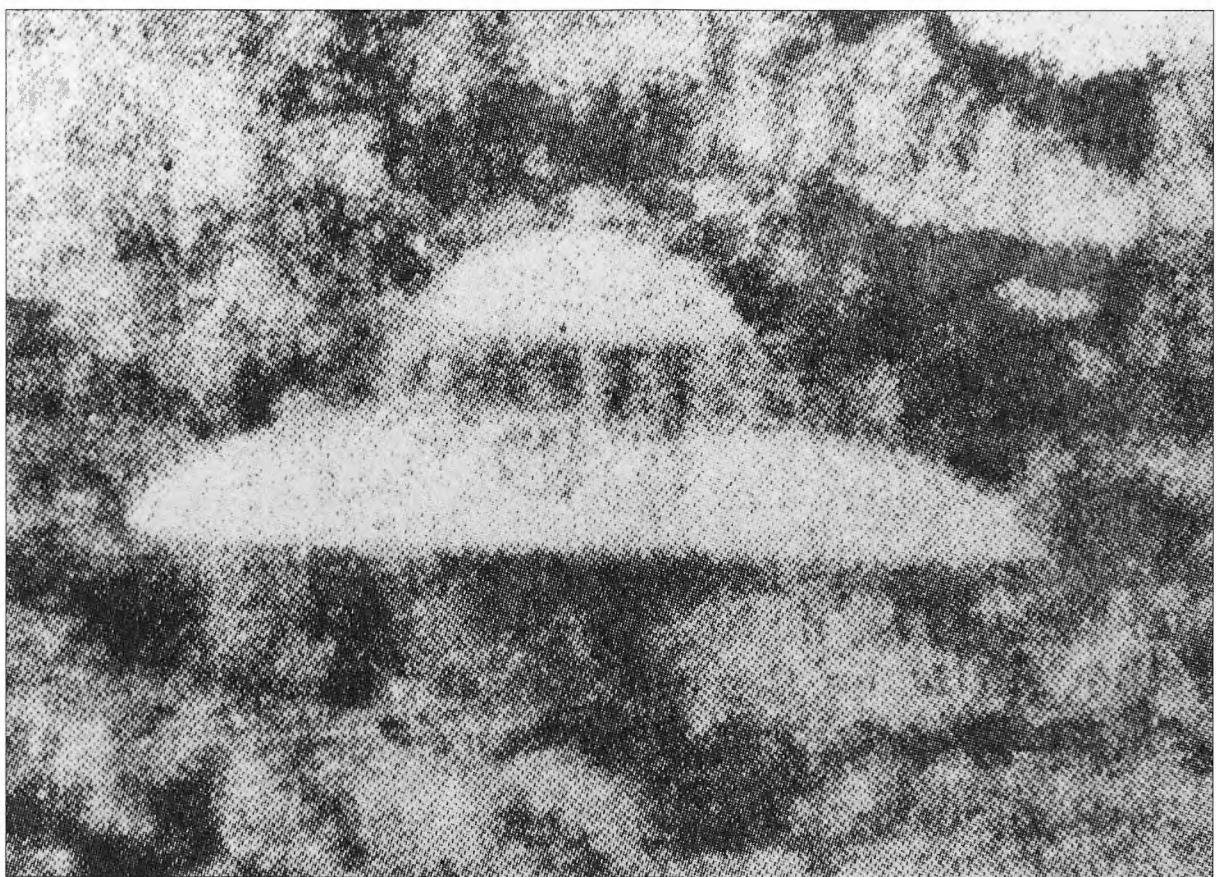
ミルバーグ機長に依頼しておいた。手元にあるリマの新聞「エル・コメルシオ」の一九七三年一〇月二三日付に掲載されたその記事によると次のとおりだ。

一九七三年一〇月一九日、金曜日の午後三時頃、ウーゴ・ルヨ・ベガ氏はリマに向かつて車を走らせていた。これにはマトゥカナの事業関係の客が同乗している。この客は路傍の露店でマンダリン・オレンジを少し買ったばかり

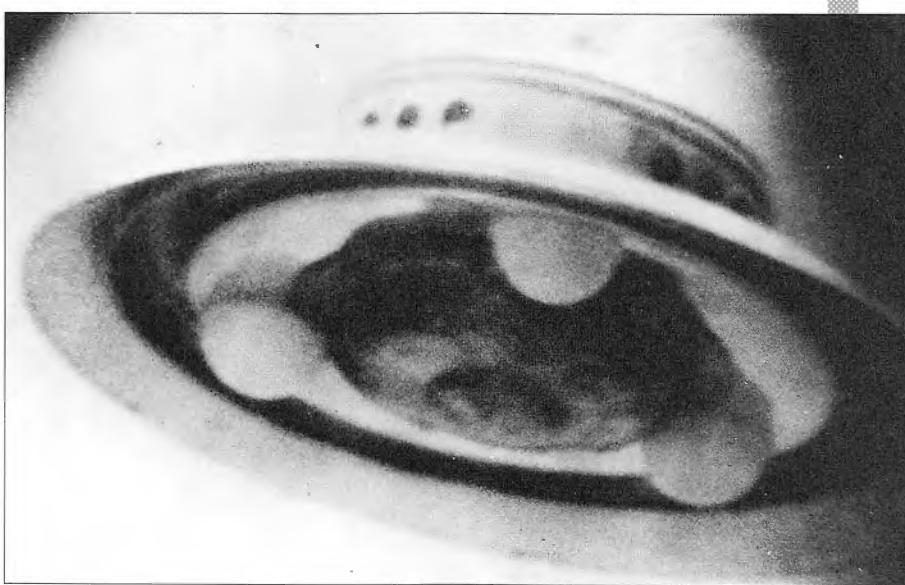
だが像が現われるのを見たときは驚喜した。その物体の形が写っているのだ。とにかくこの一枚の写真はそれが本物のUFOで、心の産物ではないことを証明しているよ」

(アーデン注(2)＝約二〇メートルといふのはUFOを間近に目撃したという人々の話に共通した目測値である。アダムスキーは自分の見た円盤が約二〇フィートあると考えたが、彼は目撃して呆然となつたために、正確な大きさを注意して測れなかつたと言つている)

円盤の底部の中心にはコーン型の物があり、そこには非常に明るい暗赤色の輝きがあつた」



▲ウゴ・ルヨ・ベガが撮影したアダムスキー型円盤。©日本GAP



▲ジョージ・アダムスキーが1952年12月13日、
米カリフォルニア州パロマーハンプの住宅前で
6インチ反射望遠鏡を使用して撮影した金星
の円盤（スカウトシップ）。©日本GAP

(コードン注(3)アダムスキーハ円盤の底部が光っていたとは言っていないが、彼の写真はたしかにベガ氏のスケッチに見える『コーン』と同じ物を示している。しかも他の多くの目撃者もまたくこれと同じコーンについて語つており、多数の円盤写真もはつきりとそれを示しているが、それらしい物を見せており、その上、アダムスキーワ写真とベガのスケッチはドームの下部の側壁を取り巻いている。リングまたはどつしりしたコイルに関してまたく一致している。丸窓のすぐ上のキャビンを取り巻く『リング』といわれるものや、フランジ(スカート状の外縁)、それに半分のぞいた三個の球型着陸装置などもそうである。その他にも私が見逃したものがあるかもしれない)

二人が果然自失の状態から元へもどるのに二〇分ほどかかったが、その後もドライブを続けるまでに、しばらく円盤のことを話し合っていた。

一緒に目撃した客が誰であるかは新聞社が伏せている。「その人は名を知られたくないある金持ちだ」としかベガ氏は言わない。

ベガ氏は新聞社のためにスケッチを提供した。ごらんのようにこれは典型的な『アダムスキーハ円盤』を示している。しかもこのスケッチには見たところ四個ずつの丸窓があるが、これによつてある興味深い話がよみがえつてくるのである。多数の読者はご存じあ

るまいから、ここでひとつ紹介しよう。

ステイーヴン・ダービーシャー少年の驚くべき体験

アダムスキーハパロマーガーデンズの上空に飛来した『スカウトシップ』(偵察用小型円盤)を撮影したと称してから一年二ヶ月ほど後の医師の息子である当時一歳のステイーヴン・ダービーシャーというイギリスの少年が、

一九五四年二月一日の朝一一時に、ランカシャー州レーク地方のコニストン湖の上手にある丘の上で、アダムスキー型の円盤と酷似した二枚の写真を撮影したのである。

この日、ステイーヴンと従弟のエイドリアン・マイヤーの二人は、コニストン・オールドマン山の頂上へ登った。小鳥の観察が二人の趣味だったので、鳥の写真を撮るつもりで安物の小型カメラをさげていた。

そして頂上で地面近くの空中に瞬間に滞空した物体を目撃し、ステイーヴンは二枚ほど写した。うまく撮れてはいなかつたが、ともかく形と大きさはなんとか示していた。

ステイーヴンによれば、その物体は銀色のざらざらした表面を見せており、「光線が透るけれども、中まで見通すことはできないような物」であったといふ。

最初それはじかに太陽の光を受けていたが、上昇し始めるにつれて雲が直

射日光をさえぎつたため、少年達はもつと明瞭に見ることができた。

「それは固い金属状の物体で、ドームと丸窓(複数)があり、底には三つの球体があつた。底の中心部は黒くて、コーンのようによがつっていた。キャビン・ドームの頂上にはハッチのようないわつた」と言つてゐる。

(コードン注(4)これについては一九五五年三月、ロンドンのフレデリック・ミューラー社刊・ウェイヴニー・ガーバン著『空飛ぶ円盤と常識』を参考照)

数日後にはステイーヴン・ダービーシャーが四名の新聞記者の質問攻めにあつたとき、記者達は少年に心変わりを起させようとしたが、些細な点で言葉の食い違いを起こさせようと躍起になつたがだめだった。また彼らはアダムスキーハレスリー共著の『Flying Saucers Have Landed』を読んだと言わせようとしたが、これも少年は否定した。両親も否定している。

(久保田注(5)この書の初版は一九五三年九月にロンドンのワーナー・ローリー社から出た。久保田は一九五四年刊の第八版原書を所有している。日本語版は中央アート出版社刊・新アダムスキーハ全集第一巻『第二惑星からの地球訪問者』の第一部に収録)

(コードン注(5)初版はアメリカではなくてイギリス・ロンドンのワーナー・ローリー社から出た。この出版社

の社長はウェイヴニー・ガーバンである。それでデスマンド・レスリーの原稿と一緒にウェイヴニー・ガーバンが編集して出版したのである。

しかしステイーヴンはアダムスキーハスカウトシップ(偵察用円盤)の写真を見たことはあるという。これはロンドンの雑誌『イラストレーテッド』誌の一九五三年九月三〇日号に掲載されたものである。

しかしステイーヴンは記者達を困惑させるような少年らしい論理をふりかざして、自分が見た物とアダムスキーハ見たと称している物とは「まったく同じ種類の物ではない」と主張した。説明せよとせまられて彼は『イラストレーテッド』誌に出ていた写真の円盤には三個の丸窓が一列に並んでいるが、自分が見た物体には四個の丸窓が一列に並んでいたのだという。

物体が降下してほとんど地面に触れそうになつたときは丸窓が三個しか見えなかつた。これは二人の少年が最初に見た数だった。だが、続いで物体が回転したために四つの丸窓が見えるのを認めた。三個ではなかつたのだ。

(久保田注(5)少年が目撃した光景は、久保田が昔経営していたコズモ出版社(後にユニバース出版社と改称)から

刊行していたUFO専門誌『コズモ』の一九七三年発行第六号六四頁に掲載されたレナード・クランプの『宇宙・引力・空飛ぶ円盤』の『序』に詳述してある。いずれ本誌に再録する予定)

円盤の丸窓は四つだった

翌年の一九五五年にイギリスで『フライング・ソーサー・レビュー誌』が創刊された。

(久保田注)これはUFO専門誌として世界一流であった。私が寄稿した西本奈生ちゃんの驚異的な高松円盤事件の英文記事も掲載してくれたことがある。この高松円盤事件は久保田著「UFO・遭遇と事実」に出てる)

私は(コードン)は多年の海外生活を終えてイギリスへ帰つたばかりだった。私自身は一九四一年に中国のある都市の上空で一機のUFOを見たことがある。ニューオルリーンズでは、一九四四年の一月に連合軍がドイツを空襲したとき、「ファーファイター」が見られたという嚴重な検閲済みのアメリカの新聞記事を読んだことがある。

(コードン注)一九四八年から一九五一年にかけて私がブラジルにいたときに初めてUFO関係の記事が出たのを見た。したがつて当然のことながら私は『フライング・ソーサー・レビュー』誌の創刊号からの読者になつている。そしてまもなく当時の編集長だつ

たデレク・デンプスターや編集長のウェイヴニー・ガーバンと知り合つた。

当時の実業界におけるウェイヴニー・ガーバンの地位は、ロンドンのワーナー・ローリー社の社長であつた。

この出版社は一か八かの社運をかけてアダムスキーリーとデスマンド・レスリー

共著の『Flying Saucers Have Landed (邦訳は『第一惑星からの地球訪問者』)を最初に出版した会社である。

同社が出版に踏み切つたのはまつたくガーバンの先見性によるものである。彼は独自の考えから、急増するUFO出現報告の裏に何か真実の要素があるにちがいないという確信を抱いていたのだ。

(コードン注)ガーバンは『空飛ぶ円盤と常識』の中の一〇頁で次のように述べている。

「一九五三年の始めに私はイギリス、ドーセット州ウェイマスに住む一人の男から手紙を受け取つたが、それによれば空飛ぶ円盤は存在するどころか、その町の背後の丘に着陸した円盤の乗員と彼は実際に話しあつたといふのである。その乗員は『自分達が地球へ来るのは地球の政治指導者がするつくりあげた困つた状態に対して警戒するようになつたからだ』と言つた。

これは二〇年以上も後になつたわれがやつとうなづけるようになつた

洞察力である。ガーバンは続ける。

「私はこの手紙を読んだときには、この手紙を読んだときには、

く考えた。それから衝動的にそれを引き裂いてクズかごの中に投げ入れた。その手紙の差出人を狂人だと思つたからだ。

それから約一カ月後にアダムスキーリーとジョージ・アダムスキーリー共著の『Flying Sucus Hsve Landed』で一

九七〇年にロンドンのネビル・スピアマン社から刊行した新版には、レスリーの追加記事が掲載してある。すでに

指摘したようにアダムスキーリーはやはり弁護されしかるべきだと信ずる。ゆえにこの問題に関心のある人はこの書物を、特にレスリーの記事を注意深く読まれたい。彼のアダムスキーリー問題に対する現在の見解は『フライング・ソーサー・レビュー』誌に述べられてきた見解ときわめて近い。アダムスキーリーの言う謎の『金星人』の性質や由来については特にそうである。

ウエイヴニー・ガーバンとのこの対話のあとしばらくして私はレナード・クランプの『宇宙・引力・空飛ぶ円盤』というすぐれた書物を読んだ。

(久保田注)円盤の推進原理を解明したクランプのこの書については、私の翻訳で昔の『コズモ』誌に連載したこの写真を初版本に掲載するにあたつて、出版社側は写真の右側をカットして、たために、印刷されたものは丸窓が三個しか見えないものになつてしまつた。そういう事実を知らないはずのダービーシャー少年は、『自分』が見た円盤に

は四個の丸窓がついていたと主張したのである。両名が撮影した各円盤には、とにかく丸窓の数に関しては同じだつたのだ!

(コードン注)デスマンド・レスリーとジョージ・アダムスキーリー共著の『Flying Sucus Hsve Landed』で一

九七〇年にロンドンのネビル・スピアマン社から刊行した新版には、レスリーの追加記事が掲載してある。すでに

指摘したようにアダムスキーリーはやはり弁護されしかるべきだと信ずる。ゆえにこの問題に関心のある人はこの書物を、特にレスリーの記事を注意深く読まれたい。彼のアダムスキーリー問題に対する現在の見解は『フライング・ソーサー・レビュー』誌に述べられてきた見解ときわめて近い。アダムスキーリーの言う謎の『金星人』の性質や由来については特にそうである。

ウエイヴニー・ガーバンとのこの対話のあとしばらくして私はレナード・クランプの『宇宙・引力・空飛ぶ円盤』というすぐれた書物を読んだ。

(久保田注)円盤の推進原理を解明したクランプのこの書については、私の翻訳で昔の『コズモ』誌に連載したこの写真を初版本に掲載するにあたつて、出版社側は写真の右側をカットして、たために、印刷されたものは丸窓が三個しか見えないものになつてしまつた。そういう事実を知らないはずのダービーシャー少年は、『自分』が見た円盤に

ことをレスリーが確証していることを知つたのである。レスリーは『Flying Saucers Have Landed』の新版中で「」のことを確証している。

しかもレナード・クランプはその著書の中に正射影法による比較図を掲載し、それによつてアダムスキー写真とダービーシャー写真を厳密に比較し、問題の両物体が何であるか、形に関してもまつたく同じであるとの結論を出したのである。

アダムスキーがとても巧みにでつちあげたインチキ劇をカリフォルニア州からイギリスのレーク地方まで足を伸ばして演じたのか、それとも一歳の少年がそれをやつたのか、いずれにしてもこのインチキ説は次第に影が薄れ始めたのである。

中米でもアダムスキー型の円盤が撮影された

くり返すが、アダムスキー型の円盤写真としてはこの二点だけが唯一のものではない。この種の写真は他にも多数存在するのである。それらの写真の信憑性は他の型のUFO写真と大体に同程度である。特に私はアダムスキー型のある写真を思い出す。

それは一九六三年の春か夏のイタリアのグラビア誌に出ていたものである。解説文はマデイラという米陸軍将校に關するもので、その人が撮影した物体は中米のある共和国の（私はコスタリ

カだと思う）高速道路上かそのそばに立つているときに、円盤が着陸するのを目撃したのだという。私はその物体もこのことを確証している。

訳者（久保田）付記

この記事に掲載したダービーシャーが従弟のマイヤーと二人で写っている写真と、ダービーシャーの説明を聞きながらお父さんが描いたイラストの入手に関しては不思議な経緯があつた。

私は一九七三年の四月からコズモ出版社を設立して商業誌としてUFO専門誌『コズモ』を同年七月より発行し始めた（後に『UFOと宇宙』に改題）。これは当時の日本GAPの貧弱な活動ではアダムスキーキー問題が拡大しないと考へて別個に展開した出版業であつた。

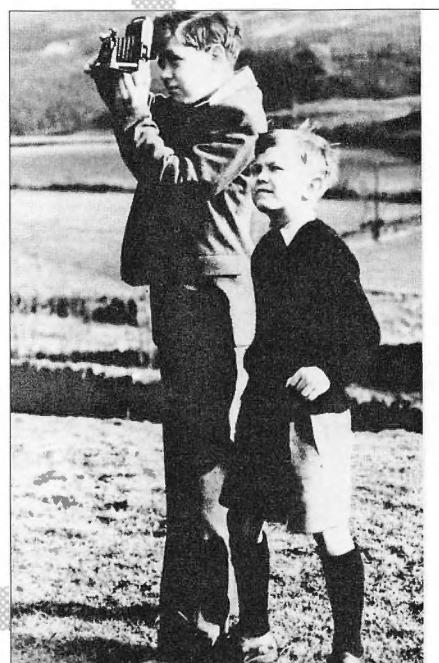
当時、掲載用の写真類は大手の写真提供専門のO社と取引して仕入れており、窓口としてT氏がわが社に出入りしていた。

あるときT氏は「こんなものがありましたが必要ありませんか」と言つて二枚の写真を出して見せた。なんとその一枚はスティーヴン・ダービーシャーがエイドリアン・マイヤーとともに写っている勇姿であり、他の一枚はダービーシャーが撮影した円盤を、息子の説明を聞きながらお父さんが手書きで描いたという説明付きのイラストであつた！ この二枚を夢想していたときなので私は飛び上がらんばかりに驚いた。T氏はこれららの写真の意味を全く知らないで持参したという。普通なら売れもしないようなこんな写真を誰がO社へ持ち込んだのか、全くの謎である。

当時私が経営していた出版社では不思議な事がよく発生していた。



▲1954年2月15日、イギリス・ランカシャー州のコニストンで、当時13歳のスティーヴン・ダービーシャーが撮影したアダムスキーキー型円盤。



▲カメラをかまえたスティーヴン・ダービーシャー。右はいとこのエイドリアン・マイヤー（8歳）。



◀スティーヴン・ダービーシャーが目撃した円盤のスケッチ。

GAP短信

GAP NEWS

●「自然治癒を考える会」で会長講演

本年四月三日、医師団の任意研究団体である「自然治癒を考える会」より久保田会長に講演の依頼がありましたので、当日都内千代田区のニューダイヤモンドビルで、会長はアダムスキーリー問題、宇宙哲学による癒し、ルールドの奇跡その他について三時間熱弁をふるい、多大の感銘を与えました。

このグループは五〇名ほどの医師から成るそうですが、当日の出席者は約二〇名。幹事は横浜の某大病院の耳鼻咽喉科医長で若い女医さんの浦尾弥寿子医学博士。浦尾先生はむかしからアダムスキーの著書を読んでおられて、特に「生命の科学」が素晴らしいとうことから久保田会長を招待されたもので、当時は二時間の予定だったのに、内容があまりに面白いのでもつと話せという要望によって、さらに一時間延長して計三時間に及ぶという大熱演でした。

●東京造形大学でまたも会長講演

かねてから同大学教授で日本GAP会員の佐藤彰先生のご招待により、久保田会長は毎年一回同校でUFO問題と宇宙哲学の講演を行なっていますが、今年も三回目として五月三一日に一年生男女学生計三五〇名を対象にして大教室でアダムスキー問題と宇宙哲学の講演を一時間三〇分行ないました。これは一般教養の正規の授業の一端として実施したもので、一時間を講義、三

〇分をスライド映写にあてて会長が熱弁をふるい、多大の拍手をあびました。今後も毎年同校で講演を行なう予定です。写真入り別掲記事をご参考の程を。

●秋田支部大会、盛況

かねてからの予告どおり、六月八日には秋田支部大会が秋田市の秋田パークホテルで開催され、出席者四一名のもとに盛況でした。秋田支部は一二年前に第一回大会を開催して以来、隔年ごとに(二年に一度)大会を開催する予定になつており、今年は第六回目です。この熱意により東京、静岡、大阪方面から参加した人達もあつて、会場は熱氣に溢れ、素晴らしい雰囲気のもとに進行しました。

夜は同ホテルの別室で夕食会を開催、佐藤晴雄氏の見事な歌と津軽三味線の名手・佐藤裕二氏の素晴らしい演奏等で盛大な拍手が渦巻く一夜でした。この後さらに二次会もあつて徹底的に盛り上がつたようです。

翌日は絶好の晴天下を約三〇名で観光に出発。自さすは鳥海山麓の由利高原。標高五〇〇メートルなるも摄氏二九度の汗ばむ陽気のもとで空を観測。翌日は絶好の晴天下を約三〇名で観光に出発。自さすは鳥海山麓の由利高原。標高五〇〇メートルなるも摄氏二九度の汗ばむ陽気のもとで空を観測。

かねてから同大学教授で日本GAP会員の佐藤彰先生のご招待により、久保田会長は毎年一回同校でUFO問題と宇宙哲学の講演を行なっていますが、今年も三回目として五月三一日に一年生男女学生計三五〇名を対象にして大教室でアダムスキー問題と宇宙哲学の講演を一時間三〇分行ないました。これは一般教養の正規の授業の一端として実施したもので、一時間を講義、三

●今年度秋の日本GAP総会

たびたび予告しましたように、今度の秋の総会は東京都港区の機械振興会館で盛大に開催の予定です。今回は

日本GAP特別会員の九五歳翁・塙谷信男医学博士の「大宇宙の無限の力による長寿健康法」と題する素晴らしい講演が行なわれます。先生はいまだゴルフをされるほど驚異的な体力の持ち主ですが、その秘訣は先生独自で開発された瞑想法にあるとのことで、この指導も合わせて行なわれます。総会翌日は都内観光を実施しますが、今年は三コースに分かれて出発。各自で好きなコースを選べます。詳細予告は本号四七頁に掲載。申込み要領等その他の詳述してありますので早めにお申込み下さい。

●東京本部月例セミナーの講演録音テープの販売元変更

従来、東京本部の月例セミナーにおける久保田会長の「生命の科学」解説講義のテープは松村芳之氏が製作して頒布していましたが、本年八月の解説講義のテープから本部が提携しているテープ製作会社による本格的な製作によって音質やラベル等を良質化して頒布します。そして従来は二巻セットに判紙面にぎっしり印刷された記事が四頁分ある美麗オフセット印刷です。

特別維持会員に加入希望者はハガキに「特別維持会員案内書送付」と書いて日本GAP宛に出せば案内書と専用振替用紙が送られます。ただし普通会員でない人が特別維持会員になることはできません。退会は自由です。日本GAPは絶対に強制や押し売りを致しません。入退会の全く自由な調和に満ちた明るい研究団体です。安心してご参加下さい。

し代金は前払いです。なお解説講義のビデオは従来どおり伊東芳和氏が取扱いますから、そちらへご注文下さい。

●日本GAP特別維持会員制度

日本GAPは普通会員とは別に特別維持会員制度を設けています。これは一種の寄付制度であり、普通会員がさらにはGAPの運営と発展に貢献するための援助活動として、絶大な役割を果たしています。これに加えれば久保田会長が個人で毎月発行している「意識の声」と題する小冊子のエッセイが各維持会員に直送されます。これは本誌に掲載されない秘話、会長独自の宇宙的能力開発法、会長の珍しい体験、行事の速報、その他興味深い記事が載られています。これを綴じて保存している人も多くいます。特徴は常に読者に大いなる信念と勇気と希望を起こさせるための激励に満ちていて点があります。エッセイ「意識の声」はA4判紙面にぎっしり印刷された記事が四頁分ある美しいオフセット印刷です。

特別維持会員に加入希望者はハガキに「特別維持会員案内書送付」と書いて日本GAP宛に出せば案内書と専用振替用紙が送られます。ただし普通会員でない人が特別維持会員になることはできません。退会は自由です。日本GAPは絶対に強制や押し売りを致しません。入退会の全く自由な調和に満ちた明るい研究団体です。安心してご参加下さい。

真の健康を保つ方法

ジョージ・アダムスキーノー久保田八郎訳

いま世界の人口の少なくとも五〇パーセントはなんらかの病気で苦しんでおり、健康そのものだと称している人々さえも、ときには頭痛、風邪、少しばかりの消化不良、その他にかかる病気といふものがここまで蔓延しているのは不思議ではない。というのは、こんなにスピードを競う世界では、人間が生命に関して自分自身を知ろうとする余裕がほとんどないからである。人間の肉体の働きの謎と、形ある物の維持に必要な化学物質の解明に、科学が絶大な役割を演じたのは事実である。

世の中の人々の考え方としては、「病気の原因」の排除を考えるよりも、何がなんでも病気そのものを排除しようとする考え方へ落ち込んでいる。そして今の世の中では時間的余裕のないこの頃は、各人が価値のないゴールを目指しての気遣いじみた競争から離れて、最少の時間を得ようと必死になつてているのである。価値がないというのは、もし本人が自分の達成事を楽しむだけの健康を維持できないならば、それは無価値になるからだ。

治療の科学は古代の古めかしい拷問の方法から、怪しげな治療師が病人の頭蓋骨に穴を開けて簡単な頭痛からひどい噪音に至るあらゆる病気を治そうとする悪魔的な医師が活躍した中世の時代に至るまで、長い段階を経ている。

しかし新しく発見された各種の治療法があるにもかかわらず病気は存在し続けるし、世界の人類の苦痛を引き起こすと

思われる唯物科学の表面的な外観の背後に、もつと何かがあるのではないかといふことに人間は気づき始めているのである。

科学は今や人間の感情が肉体に凄い影響を与えてることを発見し始めており、その角度から病気を研究しているし、科學者はいま現実の人間を扱っているので、本当の達成の道を歩んでいる感じである。彼らはあらゆる原子が物質、力、知性を持つことを証明したが、それは「宇宙の意識」の三つの大きな属性なのである。このようにして、人体の研究は「宇宙の意識」つまり「因」の経路を通じてもたらされねばならない。

最近の実験によつて、科学者は「怒り」の感情が肉体のある器官に影響を与え、血液中に糖分を放出することを示しており、それによって肉体を弱めて、侵入する外来細胞の餌食にしていることを証明している。実際、あらゆる個人は一時的にせよ怒りの感情を体験したことがあり、このような不調和な感情は肉体に不調和な影響を与えることは明白である。怒りばかりか憎悪・貪欲・エゴ・嫉妬・恐怖・姦淫などは、肉体に同じような悪影響を及ぼす。

「心」という大通りを進行することが許されているあらゆる想いは人間の全身に影響を与えている。というのは肉体のあらゆる細胞は意識的な知性を持っており、そのため万物の作り手である意識的な想念に対し受容的であるからだ。

人間の想念は静かな水面に小石を落とす現象にたとえてよい。この場合、波が発生して広がつて行き、ついには池のふちまで達する。想念も全く同じであつて、やはり波の形で全身のあらゆる細胞に影響をおよぼすのである。

恐怖、憎悪等の破壊的な考えはコントロールされない波動なのであつて、肉体内に緊張を生み出すだけである。

一方、「自由」というものは宇宙の偉大な法則であつて、緊張を生じさせる物が何であれ、それは自然の法則に反するのである。我々が怒りの想念を分析するならば、他人または他の物の表現に対する人間の抵抗の結果として発生する緊張の状態であることがわかる。たとえば、誰かがあなたの顔を殴る、あなたはすぐさま相手の行為に対し抵抗心を起こし、怒りだす。そして確実に闘いが始まつて肉体の全細胞群のすさまじい緊張が発生する。

しかしイエスは言つてゐる。「誰かが、あなたの片方の頬を殴つたならば、もう一方の頬を殴らせよ」と。というのは、こうすることによつて、あなたは自分の感情の抑制力を保ち、あなたの全身の細胞群を完全に平静な状態に保つ力があることを立証することになら。

人間が本当に健康を望むのならば、人間は常に完璧にバランスのとれた想念を保つよう努力するべきである。「富裕・名声・名譽」などは「若さ・健康・幸福」などにくらべると、ほとんど意味はない。後者は、生命エネルギーを障害や抵抗なしに肉体と心の中に自由に溢れ出させる」とによつて得られるのである。

すべては、肉体内のアンバランスな化学作用を引き起こす。人間はこれまでに「自然の諸法則に従うならば健康で幸せになれる」と繰り返し聞かされてきた。しかしこの諸法則に関して人間に教えた人はいなかつた。自然の諸法則とは非抵抗の行為であり統一された表現であると

いうことを人間は教えられなかつたのである。つまり自然の法則とは「完全なバランスの原理」にもとづくものなのだ。

人間はこれまで病氣に関しては守勢にまわつており、真の原因を追求してそれは人間の知性の従者なのである。

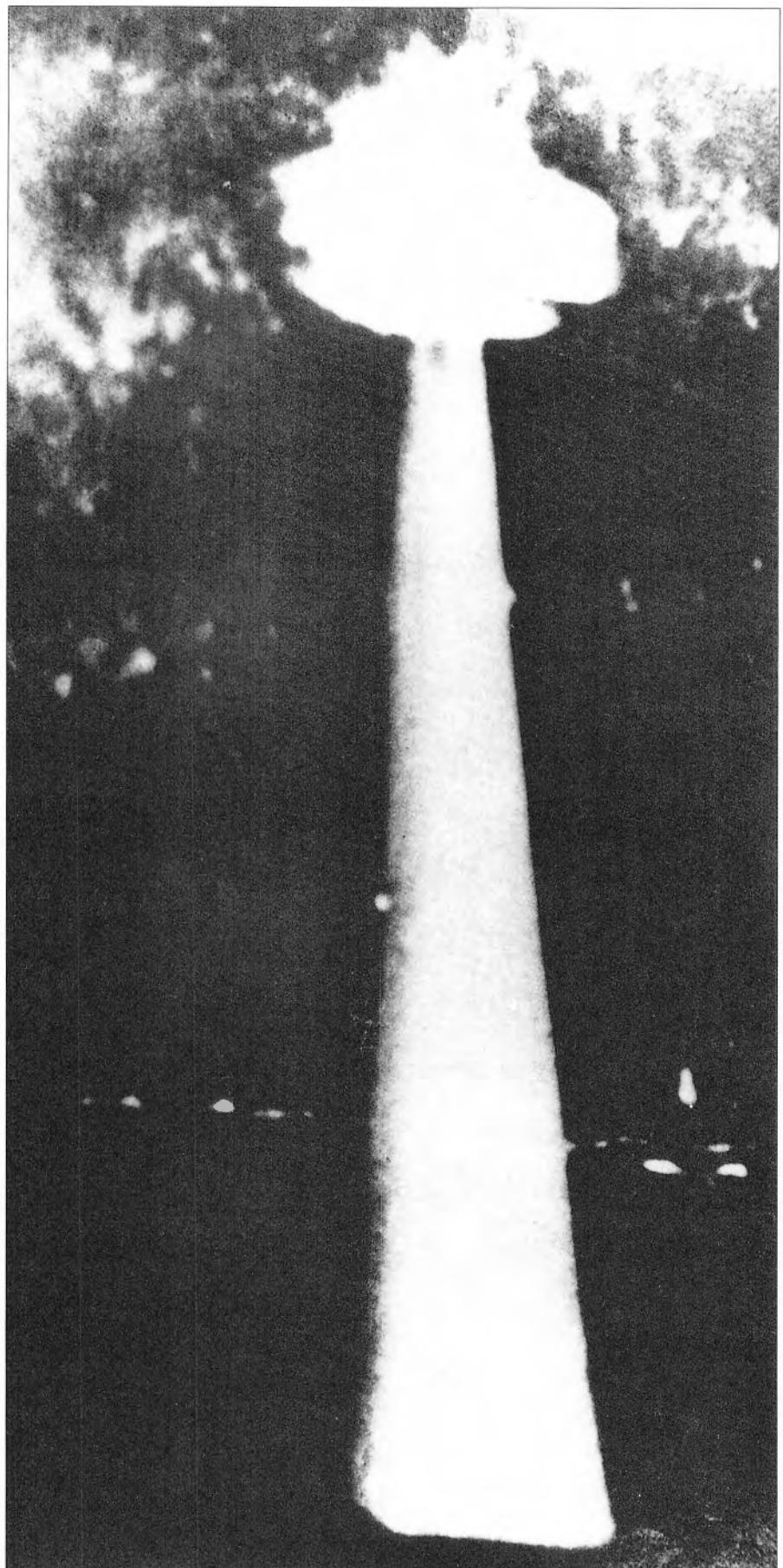
病氣を細菌やウイルスのせいにしてきたが、これらの微生物は多くの場合、人間の「憎悪」「恐怖」「貪欲」から生じた子孫であるという事実を医学はつきとめていらない。肉体の細胞は人間の想念に答えるという事実に疑問の余地はない。細胞は人間の知性の従者なのである。

人間が本当に健康を望むのならば、人間は常に完璧にバランスのとれた想念を保つよう努力するべきである。「富

」の記事は一九三〇年代に書かれた珍しい論文。現代でも燐然たる光芒を放つてゐる。

●ビームを放つ UFO

一九六六年に米ニュージャージー州のワナキューで撮影されたUFO。長いビームが下方に放射されているめずらしい写真。撮影者不詳。





▲左は編者（久保田八郎）、右は加藤純一。米カリフォルニア州南部の山上にて。撮影／田中 淳

秋田で 巨大円盤を目撃!

●加藤純一

I Saw Big Flying Saucers in Akita
by Junichi Kato

去る六月八日を開催された秋田支部大会に出席するため、前日の七日に飛行機で数名の仲間と共に久保田会長のお供をして秋田入りをし、支部の夕食会に出席したあと、私は市内の実家で仲間達とともにゆつくり羽を伸ばしました。

大会当日の朝方、私はUFOとスペース・プラザーズに関するとても心地良い夢を見ました（編注）「スペース・プラザーズ」というのは友好的な異星人のことで、もとはアダムスキーリーの用語）。

こうした夢は目覚めた後にも、その高尚なファーリングが強く残っている場合が多いので、記憶となっていつまでも残ります。特に夢の中でUFOやプラザーズが出現されるとき、それは現実となって私の前に現われます。

大会は大成功裡に終わって、翌日の観光では鳥海山麓の由利原高原でUFOの観測が一同で行なわれましたが、なぜか出現のファーリングが伝わってきません。むしろ現地へマイクロバスで向かう途中に、強烈な出現イメージとファーリングが湧いていたのですが、現地ではそれが薄れてしまいました。

ところが、その帰りがけのバスの中で、またもファーリングがやってきましたので、雄物川を渡る途中に空港の方向に目を向けると、なんと巨大な円盤が二機並んでいるのを発見したのです。我々を乗せたバスはちょうど建物のない橋の上で止りましたので、冷

静に観察することができました。右側の手前の一機は、他の一機に比べて二回りほど大きく、北東の方向に見える低い山並みのすぐ上空（おそらく數十メートル）に静止しているかのようでした。

一方、小型の円盤は我々の進行方向へ移動して行くのが見えましたので、対比しても巨大な円盤の方はやはり静止状態に近かったと思います。

この円盤は文字どおり円盤と呼ぶにふさわしく、見た目も完全に円形であり、その機体はフォースフィールドに包まれていない本体をさらけ出した金属質を思わせる銀色でした。

この日は快晴で太陽の反射のためかギラギラ光っていたのが印象深く、また同型の円盤が仲良く並んでいたのも強く心に残りました。

また、このたびの秋田支部大会は、何もかもが一体感に満ちており、観光のときなどは、まるで子供が遠足に出かけるようなワクワクした楽しさに満ち溢れていました。秋田支部の方々の一致団結した姿を拝見して我々も大変勉強になりました。

その夜、伊藤代表の車で空港へ向かう途中、円盤が出現した山の付近を通りましたが、その一帯には円盤と見間違えるような建物はいつさいありませんでした。さて、翌日会社から帰宅途中、自宅近くの小高い丘の向こうから飛んで来る一機のオレンジ色に脈動するUFOを目撃しました。このとき、ちょうど秋田での目撲のことを考えていましたので、このタイミングの良さに少々驚きました。また、この夜はあいにくの小雨でしたが、この日に限って傘を持ち歩いていなかつたのがよかつたようです。

そしてこのとき、宇宙の意識という言葉を使わなくとも、きちんと伝わるのだなあということに改めて気づかされた次第です。

編者注

加藤君は日本GAP本部役員として活躍する優秀な青年で、また頻繁にUFOを目撃する特殊な宿命を持つ人。テレビシックな直感力が強く、UFOが出現する前には必ず予感がするという。いずれ重要な出来事に遭遇すると思われる前途有望な人物。

同君は多数の人と一緒にいて、なぜか同君だけがUFOや異星人らしき人を目撲することが多く、右の記事の件でもバスの中の同乗者達は見ていない。同君はそのとき何かの見間違いであつてはいけないと思い、黙っていたという。当時、秋田ではナゾの気球が飛ぶ事件があつたらしいが、絶対に気球ではなかつたと同君は断言している。

今度は自宅付近で見る

んでした。

A Gigantic Mother Ship Over Tokyo Tower

by Akinori Endo

東京タワーの母船



▲筆者・遠藤昭則氏

★ 遠藤昭則

ちろん反射もせずに、真っ黒な胴体をした腕を伸ばして約二センチメートルくらいに見える大きなラグビーボール。しかし、その柱の雲はだんだんと細型のUFOや、雲の中にかくれて行く、飛行機よりも巨大な、半透明をした円盤状の物体等々、はつきりとした形のものを見てきたのであるが、そのようなときにも、なぜか目はそちらに引き寄せられていた。

今回も同じである。しかし今回は柱のような雲しか出でていない。それも腕を伸ばして八センチメートルくらいの大きなものである……?

しかし、自分のことはどうであれ、GAPの月例セミナーやその他の催しのときにUFOがよく目撃されることが多い。それは、久保田先生の何らかのお力によるものであろうと思われてならない。

しかし、自分のことはどうであれ、GAPの月例セミナーやその他の催しのときにUFOがよく目撲されることが多い。それは、久保田先生の何らかのお力によるものであろうと思われてならない。

しかし、自分のことはどうであれ、GAPの月例セミナーやその他の催しのときにUFOがよく目撲ること

一九九六年二月四日、日曜日。日本GAP東京月例セミナーが終了して、会場の機械振興会館から外に出たところだつた。

夕食会は五時半から行なわれるので、そこまで他の人よりも先に行き、西川君と会費を集めめる準備をしなければならない。

彼は、もう先にタクシーに乗つたようだつた。機械振興会館の前には、道路をはさんで東京タワーが大きくそびえ立つてゐる。五時を過ぎてゐるのでオレンジ色のライトに照らされて、夕方の青空と対比を成して美しく見える。快晴。たしかに雲はない、と思つて見上げるとあつた。機械振興会館から出すぐのところ、北から天頂に上つていつて約八〇度くらい見上げた位置だろうか。上空の風は強いようで、一つの中心の雲からたくさんの雲が吹き

飛ばされそうにたなびいてゐる。しかしこのときは、そこを見た。いや見上げる程度で、空をよく見るということが、なぜかなつた。

月例セミナー終了後には、東京タワーを見上げる程度で、空をよく見ると力が私に見させたというようであつた。よく、夜に光体としてのUFOを見る人はいるが、私は夜中に出て見る限りを面倒くさがるためかもしないが、どちらかというと、日中の方にUFOを多く見てきたようだ。どうも自分は日中の方がUFOを見る波動を持ちやすいのだと思つてゐる。

また、これまでを振り返つてみると、光体のような小さなUFOというよりも、もつと形のハッキリとしたものを見たことの方が多い。

その中には、光を放たずに、またも見たことの方が多い。

そこでよく見ると、そこから右の方にたなびいて細くなつて消えていく雲には、なんとその柱が動いてきたような節のようないいものがほとんど等間隔にあるではないか。

驚いた。ますます期待は高まつてくる。そうして何とはなしに柱の形をした雲の左下の方を見たときである。

なんとそこには、雲の間から黒に近い灰色の物体の一部がのぞいているのではないか。これはたぶん母船の船体の一部ではないか。六時一五分頃である。私は一人で見ていたので、他の人たちに新宿で喫茶店を経営しておられる

秋山さんなど数名の人たちが会館から出て来るのが見えた。

しかし、その柱の雲はだんだんと細型のUFOや、雲の中にかくれて行く、飛行機よりも巨大な、半透明をした円盤状の物体等々、はつきりとした形のものを見てきたのであるが、そのようなときにも、なぜか目はそちらに引き寄せられていた。

今回も同じである。しかし今は柱のような雲しか出でていない。それも腕を伸ばして八センチメートルくらいの大きなものである……?

柱のような雲?

どうも印象が強いことに気がついた。普通の雲ではない。これはひょっとして母船が中にいるのではないだろうか。そう思った。

そこでよく見ると、そこから右の方にたなびいて細くなつて消えていく雲には、なんとその柱が動いてきたような節のようないいものがほとんど等間隔にあるではないか。

驚いた。ますます期待は高まつてくる。そうして何とはなしに柱の形をした雲の左下の方を見たときである。

なんとそこには、雲の間から黒に近い灰色の物体の一部がのぞいているのではないか。これはたぶん母船の船体の一部ではないか。六時一五分頃である。私は一人で見ていたので、他の人たちに新宿で喫茶店を経営しておられる

編著者

筆者・遠藤君は二〇年以上に及ぶ古い日本GAP会員で、また多年、本部役員をつとめている円満温厚な人柄。

オーラ透視、過去世透視等の超能力を有する特殊な人物で（日本GAPにはこうした人が多い）、UFOをよく目撲する特殊なタイプの人。オーラ透視に関する著書を数種類出している。UFOを頻繁に目撲する人に超能力的な人が多いという事実である。人の関連があるのだろうか。深い意味がひそんでいるようだ。



►機械振興会館の右横の出入り口の外から見た東京タワー。大母船が見えた位置に、ペンでその形を描き込んだもの。

撮影／久保田八郎

▼日本GAP月例セミナーを毎月開催している機械振興会館の右側の出入り口（矢印）。＊印の位置から筆者が大母船を見た。

撮影／久保田八郎

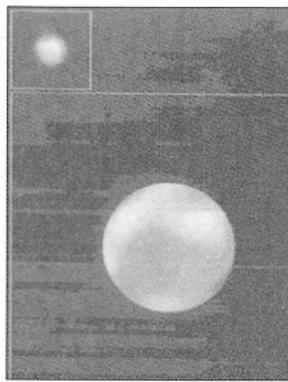


科学

SCIENCE

冥王星—ハップル望遠鏡で鮮明に

太陽系の惑星で地球から最も遠く冷た
い冥王星の鮮明な姿をハップル宇宙望遠
鏡が初めてとらえた。米航空宇宙局(NASA)が発表したもので、撮影した冥
王星の画像をコンピューター処理した。黒い縞で分断された極冠や明るい白斑
黒斑などが見られる(3・8読)



▲撮影／三島孝博（日本GAP会員）

百武すい星接近
鹿児島県のアマチュア天文家・百武裕
司さん（四五）が発見したこのすい星は
今年三月一五日午後四時頃、地球に最接
近した。距離は地球から月までの四〇倍。
これだけ明るいすい星の地球接近は四四
〇年ぶり。すい星は一万年から二万年の
周期で太陽の周りを回っている（3・16
朝）

新千年計画では、最先端技術を積極的に
応用し、技術検証を目的とする飛行計
画を実施。今世紀中には①小惑星と彗星
への接近飛行②微小衛星による火星探査
③衛星三個を使った宇宙望遠鏡の三計画
を行なう。

最初の飛行計画である小惑星と彗星へ
の接近飛行の担当はレイマン博士。一九
九八年の一月か二月に探査機を打ち上げ、
六ヶ月から一五ヶ月後に小惑星に、二年
以内に彗星に近づける（5・18読）

〈自然〉
異常電波 海底でキャッチー巨大地震余
地に新装置（郵政省研初の試み）
郵政省通信総合研究所（東京・小金井
市）が、巨大地震の震源になりそうな海
底に受信機を設置、異常電波を直接キャ
ッチするという新手の地震予知研究に乗
り出した。大地震発生前後に波長が長い
電波が出ることを利用したもので、世界
初の試み。数年後には東海地震の震源域
に設置することを目指している。

同研究所では一九八九年から東海や関
東地方の計一〇カ所の深井戸に受信機を
設置することを目指している。

現在の二倍になると、地球全体の熱帶
性低気圧の発生数は現在より三四パーセ
ント減少、わが国を襲う台風の発生数も

「米国」に限らず費用がかかりすぎる」と
が最近の宇宙開発の大きな問題」と、同
プログラムの飛行計画の責任者、NASA
アジェット推進研究所（米カリフォルニア
州）のマーク・レイマン博士が言う。
このため研究者は失敗を極力避けようと、
すでに確立された技術を使いたがるとい
う。

地下一〇キロまで深い井戸を掘り、関
東以西の太平洋側で巨大地震を引き起こ
すフイリピン海ブレー（地球の表面を
覆う岩板の一つ）の動きを直接監視する
世界最初の構想が、通産省の地質調査所
(茨城県つくば市)によって進められて
いる。次の関東大地震など巨大地震の発
生場所やメカニズムなどを探るのが目的
で、総事業費一千億円。今世紀中に掘り
始め、二〇一〇年頃の観測開始を目指
している。

地質調査所の構想、「超深度掘削計画」
では、陸のブレーを突き抜ける深さ一
〇キロの井戸を一本掘る。そしてフリ
ッピング海ブレー（中に、直接地震計な
ど観測機器を入れたり、試料採取したり
して、フレート境界や同ブレー沈み込
みの実態を解明する。天然ガスなどの地
下資源開発なども行なう（5・15読）

二酸化炭素二倍で台風激減
大気中の二酸化炭素（CO₂）濃度が
約三分の一に激減する。茨城県つくば市
の防災科学技術研究所と気象研究所の共
同研究でこのような予測結果が明らかに
なり、五月一日から始まつた日本気象
学会で発表された。

杉正人・気象研気候研究部第一研究室
三年後をめどに東海地震が予想される駿
河湾や遠州灘に、長さ三〇〇キロの海底
ケーブルを施設する計画。ケーブルには
五〇キロ間隔で受信機を五台設置する。
総事業費は約四〇億円（5・6読）

■大地震探る深井戸
地下一〇キロまで深い井戸を掘り、関
東以西の太平洋側で巨大地震を引き起こ
すフイリピン海ブレー（地球の表面を
覆う岩板の一つ）の動きを直接監視する
世界最初の構想が、通産省の地質調査所
(茨城県つくば市)によって進められて
いる。次の関東大地震など巨大地震の発
生場所やメカニズムなどを探るのが目的
で、総事業費一千億円。今世紀中に掘り
始め、二〇一〇年頃の観測開始を目指
している。

地質調査所の構想、「超深度掘削計画」
では、陸のブレーを突き抜ける深さ一
〇キロの井戸を一本掘る。そしてフリ
ッピング海ブレー（中に、直接地震計な
ど観測機器を入れたり、試料採取したり
して、フレート境界や同ブレー沈み込
みの実態を解明する。天然ガスなどの地
下資源開発なども行なう（5・15読）

六割増えるといつ。台風が発生するためには湿った大気が
周囲から集まる「対流の収束現象」が必要だが、温暖化が進むと「現在の熱帯性
低気圧の発生海域に比べて、その周囲の
海域での水温上昇の方が大きいため、対
流の収束が起きにくくなり、発生数が減
少する」と杉室長は言つ。ドイツのマツ
クス・フランク研究所でも、杉室長など
同様の減少予測をしている（5・18読）

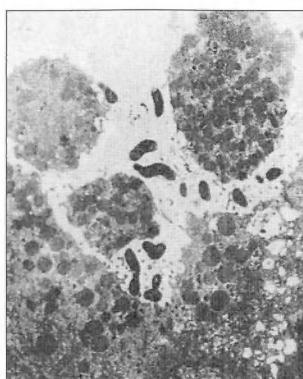
〈医学〉

胃の粘膜をビロリ菌
胃かいようや十二指腸かいようを発症
させる「犯人」とみられるヘリコバクタ
ー・ビロリ菌が胃の粘膜細胞を傷つけつい

て、胃の粘膜をビロリ菌

る“証拠写真”を高知医科大学の緒方卓郎名誉教授が世界で初めて撮影した。五月二日から東京で開かれた日本電子顕微鏡学会で発表された。

緒方名誉教授は切除した胃を電子顕微鏡で観察した。その結果、ピロリ菌が胃の粘液分泌細胞の表層を食いつき、表層を失った細胞の露出した粘膜が、強い酸の影響で炎症や細胞壞死を起こしている様子を撮影することに成功した。緒方名誉教授は「ピロリ菌が直接かいよう形に関係していることが証明された」と成に関係していることが証明された」と



マイクロウェーブは頭蓋骨部分に集中し、健康に害を及ぼす可能性が浮上。

携帯電話レベルのマイクロウェーブにさらされ続けたネズミのDNA（デオキシリボ核酸）分子が寸断された実験結果もあるという。DNAの寸断はアルツハイマー病やパーキンソン病、癌などとの関連性が指摘されている。

欧洲連合（EU）の専門委員会のカメリア・ガブリエル博士は同紙に「長時間の通話は勧められない」と語り、現在一般的に出回っている携帯電話の一〇〇一六〇〇ミリワットのマイクロウェーブ放出量を、一〇〇ミリワット程度に抑えることを提案する方向だという（4・15読）

白血病治療に造血幹細胞移植

血液の癌と呼ばれる白血病や骨髄などの造血器しづようにたいして、血液を作り出す細胞の移植が有効な治療法として注目を集めている。これまで知られている移植に加え、最近はヘンの緒・胎盤の

血液（臍帯血）や、末梢血に含まれる造血細胞も移植の対象となり、治療の幅が広がってきた。

神奈川県立こども医療センターでは昨年七月、三歳の男児に造血幹細胞移植を行なった。九ヵ月たつた現在も順調に経過している。国内では二例目だったが、生存例としては最長。

四月一日付イギリス日曜紙サンデー

ー・タイムズは、携帯電話が放つマイクロウェーブが頭部に集中するため、長時間の通話は使用者の健康障害をもたらす恐れがあると報じた。

ピロリ菌はらせん状のベン毛を持つ約三三ミクロンの細菌。消化性かいようの患者の大半がピロリ菌に感染していることや、除菌すると再発予防効果が高いことから、かいようを起こす具体的な仕組みはわかつていなかつた（5・13毎）

携帯電話、長時間は体に毒?

この坊やは九四年六月に急性骨髄白血病を発症、抗ガン剤治療を受けたが、半年後には再発した。白血病治療で成果をあげている同センターのことを母親が知つ

て受診入院した（4・15読）

おとり役遺伝子で炎症抑えて治療

大阪大学医学部第四内科（萩原俊男教授）の森下竜一研究員は、おとり役の人工遺伝子を作り、炎症を起こす有害物質の合成を治療に役立てる方法を開発した。ネズミを使った実験で、腎炎を抑えられた。ネズミを使った実験で、腎炎を抑えられた。このほど大阪で開かれた遺伝子治療シンポジウムで発表した。

森下さんはNFKB1という蛋白質が細胞内の特定の遺伝子にくつついて炎症を悪化させる有害物質を作ることに注目。

特定の遺伝子の一部とよく似た塩基配列の人工遺伝子を作った。これをおとり役にしてNFKB1とくつかせ、NFKB1が特定の遺伝子にくつつく率を低くして有害物質の抑制を図ることにした。人工遺伝子は人工の脂質膜で包み、安定して目的の細胞内に送り込むように工夫した。ネズミを使つた実験では、腎炎を起こす刺激物質だけを注射したネズミはすべて腎炎を起こしたが、一緒に人工遺伝子を注射したネズミは腎炎を起さなかつた。（3・15朝）

エイズ発症のカギ蛋白質解明

エイズウイルス（HIV）の中で、発症のカギを握るとみられている特殊な蛋白質の構造を、米国立保険研究所（NIH）のポール・ワインガード博士らが突き止め、米医学誌「ネイチャーストラクチャーリ・バイオロジー」四月号に発表した。HIVに感染しながら長期間発症しない人は、この蛋白質に変異があることが知られている。構造がわかつたことで治療薬やワクチンの開発にはすみがつきそうだ。

この蛋白質は「Nef」と呼ばれ、核磁気共鳴（NMR）分光法という技術で構造を調べたところ、分子量二万七千でいたが、未発表の英米の研究結果では、Nefは正常な人の免疫細胞に作用、細胞の情報伝達経路を遮断して、HIVの増殖を促す情報を細胞に伝える働きをすることが判明。この作用を阻止すれば、HIVに感染しても発症を防止できる可能性があり、治療薬などの開発もつながりそうだ。

古代文明

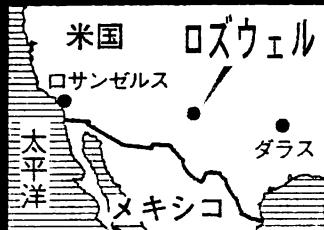
一万一千年前のアマゾンの文明

一万一千年前も昔南米アマゾンの密林に装飾した武器や道具を持つ独自の文明が繁栄していたと、米イリノイ大学のアン・ルーズベルト博士らが米科学誌「サイエンス」四月一九日号に発表した。ル博士らはアマゾンの洞窟から槍の先端のとがった石器や、赤や黄色の染料を使つた壁画を放射性炭素の存在比率を使って年代測定。一万一千年前のものと計算した。またこの文明は約千一百年間続いた。またこの文明は約千一百年間続いたといい、北米の古代文明とは異なつていていう（4・18毎）

一万一千年前の壁画



ロズウェル事件の真相はこれだ



月一三日に編者が同新聞社に赴いて事情を説明し、同社の転載許可を得たのでここに掲載した。読者に裨益するところあれば幸いである（編者）。

★円盤から気球へ

物体がロズウェル郊外の荒れ地に落としたのは一九四七年七月四日夜。地元紙「ロズウェル・デーリー・レコード」は八日付一面トップで「軍が空飛ぶ円盤を捕まる」と軍発表を報じた。ロズウェル陸軍航空隊第五〇九爆撃隊の情報担当少佐が「落下現場で円盤を確保した」と発表したのだ。

ところが同航空隊は半日後「あれは気象観測用気球だった」と訂正し、残骸の写真を発表した。当時の同航空隊情報担当中尉、ウォルター・ホート氏（七四歳）は、こう証言する。

「最初の発表は上官から言われて私が作成した。その後、上官が『あれは訂正する。気球だ』と言った。しかし、現場一帯を軍が何日も封鎖し、数百人が捜索するのを見て、気球にしてはおかしいと思つた」

★目撃者は消えた

本号冒頭の記事で述べたように世界で最も有名なUFO事件の一つとしてロズウェルの円盤落下事件がある。これについては去る五月一五日付毎日新聞夕刊に現地（ロズウェル）からのレポートが大々的に報道されたので、六

月一二日付毎日新聞夕刊によると、ロズウェルで葬儀店をしていたグレン・デニス氏（七〇歳）は、軍から「死体防腐剤と子供用ひつぎ四個を用意せよ」と言われた。

看護婦はその二日後、英國の米軍基地に転属になり、デニス氏が出した手紙の返事は「死亡した」だった、といふ。地元選出下院議員が求めた真相究明に対し、会計検査院は昨年、こう回答した。

「ロズウェル航空隊の記録は一九四五年から四九年分が破棄されている。軍や中央情報局（CIA）、連邦捜査局（FBI）、国立公文書館にもない」

政府と軍、 真相隠した

★新証言

当時現場を見た唯一の生き残り民間人、ジム・ラグスデイル氏は昨年七月、

「夜一時半頃、恋人とデートしていた。閃光と爆発音がして、何かが落下した。そばへ行くと円盤があり、一・

アラーは今年一月「政府は真相を隠している」との特ダネ記事を掲載。それによると、当時のトルーマン大統領は

二×〇・六メートルほどの穴があいていた。中に玉座のような椅子が一つと四、五個の小さな椅子があり、壁のパネルには多数の装置があった」「そして死体が四つ。身長一・二メートルほど。肌は灰色で、触るとヘビのような感じがした。まもなくサイレンが聞こえ、破片を幾つかポケットに入れた。数日後、恋人が原因不明の交通事故で死に、私の家には泥棒が入り、問題の金属片は持ち去られていた。怖くて今まで黙っていた」

★物証？

当時現場を捜索した軍人の一人からこの春「あの時、破片を持ち去つていた」とホート氏に破片が届けられた。

五×三センチ大の二等辺三角形をしており、ニューメキシコ州鉱山鉱物資源局に鑑定を依頼した。

その結果は「当該物質は銀と銅で構成されている。少量のナトリウム、アルミニウム、ケイ素、鉄、クロムなども検出されたが、これは土壤や人間の手による汚染の可能性もある」

「ロズウェル事件」に関する特別調査委員会を設置。同委は五年後、アイゼンハワー大統領に報告書を提出した。

報告書は「人類とは異なる地球外生物（E・T）四体」が、いかなる理由で地球にやつてきたか分からぬと結論。大統領は、国民のパニックを避けるためカバー・アップ（真相隠し）を命じたという。

米国プレスなどの追跡で、「落下物の多数の破片をオハイオ州のライトパターン基地に運んだ」との軍人証言や、「妙な物が落下したと父が首をかしげていたが、絶対に口外無用と念を押された」との航空隊情報担当少佐の子供の証言などが判明。真相は今もつて霧の中だ。

ロズウェルは、この事件を町おこしに利用。二つの「UFO博物館」には、全米や世界各地から八万人の観光客が訪れる。（ロズウェルで観堂義憲）

編注II以上であるが、この記事では小人の死体をあくまでも「宇宙人」すなわち「人間」とみなしており、ロボットという概念はみられない。しかしロズウェルの事件がまぎれもなく真実であつたことはこれで首肯できる。

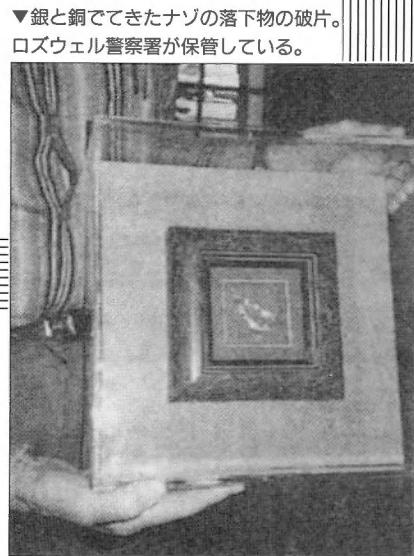
ロボット説については本号冒頭の記事「米政府が隠すUFO問題の驚異的真相」を参照されたい。右の記事では四本指遺体が主役となつてゐる。六本指は別な事件に関連するものだらう。



▲「政府と軍が真相を隠した」と話す元ロズウェル航空隊情報担当中尉のウオルター・ホート氏。右は宇宙人の模型。（ロズウェルUFO博物館にて）



▲「軍が空飛ぶ円盤を捕まえた」と大見出しが報じている当時のロズウェル・デーリー・レコード新聞。



▼銀と銅でできたナゾの落下物の破片。ロズウェル警察署が保管している。

コンピューターによる UFO写真鑑定への疑問

遠藤昭則

A Faker Using A Computer?
by Akinori Endo

□とももの発端

「UFO写真をコンピューターで鑑定する！」

そんなことが今から約二〇年前に日本に紹介されたことがある。コンピューターといえば科学の最先端を行くものとして考へる風潮にあつた当時は、それを使って鑑定するということになれば、それは文句を差し挟む余地もないような、かなりショッキングなものであつた。

では、それはどのようなものだつたのだろうか。
当時の日本で唯一のUFO専門誌であつた「UFOと宇宙」一九七七年四月号から、その内容を探つてみると

はなく、そのもの引き伸ばし機の中でランプに照らされているネガファイルを調べることも必要となつてきました。

撮影したカメラのシャッタースピードやレンズの具合、絞りなどを調べる

のは当然であるが、さらに、撮影された物体の位置や太陽光線の当たり具合、の数は当時は約五〇〇人以下というも

のよう投げ上げたり、フリスピー

ーのないように投げ上げたりしたものではないかといふことも調べなくてはならなかつた。

しかし、糸が見えないというよりも糸のない物であり、また、小さな物体を投げ上げたものではないということを判断するのは容易なことではなかつたようである。

□せひにそれ以上に

□UFO写真の鑑定

現代でもそうだが、当時もたくさんのがUFO写真が、それこそたくさんの人によつて撮影されていた。

しかし、そのどれもが本当のUFOを撮影したものであるかといふと、そ

うではなかつたようだ。中にはいかがわしいものや、見間違えた物体を撮影したものもあつたといふことである。したがつてそれらの写真をなんとか

うまく鑑定しようということは当然必要となつてきて、当時も定着液を通して引き伸ばし作業を終えた写真だけで

出でたものではなかつた。なんど、UFOの研究団体からであつた。

アメリカのアリゾナ州に本部を置く

G S W (Ground Saucer Watch) は科学的にUFOを研究する団体として、現在はどうかわからないが、メンバーの数は当時は約五〇〇人以下というも

のであつたという。

そのメンバーについては、技術者はもちろんのこと、科学者や各分野の専門家などの厳選された人々であつたと

いうことだ。しかし、そこに「科学的」という言葉によつてUFO問題を否定しようとするキナ臭さが感じられるのは、私だけではないだろう。

代表者はフェニックス市の Air Research Manufacturing Company という航空宇宙工学会社の品質管理技術者であったビル・スパールディング

という人物であつた。

しかし、それだけでは、機械的に鑑定して（といふよりも、直感力やその写真からの印象を正しく得ようとすることに欠ける、頭の固い唯物論的にいつもよいかもしねないが）、論理的に納得したり納得させたりするには限界があつた。

そこで彗星のように突然現われてきたのが、先ほどのコンピューターによるUFO写真鑑定技術であつた。

□NASAとG S Wとの言葉の権威

この技術は、NASA（米航空宇宙局）のアポロ計画や火星探査機などで

ある。

撮影された写真を調べるものと同じであると彼は述べている。そうだが、詳しいことはわからない。

しかし、「NASA」という言葉には権威があった。「NASA」が使っているから正しいものだという考え方をする人は現在でもいる。

確かにその機器は、各時代の最先端を行くものではあるが、それをどう使うかといふことが問題になることだろう。それが誤って使われれば、何にもなりはしないのだ。

□どのようなコンピュータ技術なのか

では、その技術についてみていくことにしよう。GSWでは、次にあげるよう、幾つかの方法を使っている。

(1) 輪郭強調

これは写真の中の植物や人物、また建物などの画像の輪郭線をはっきりとさせるものである。

コンピューターで写真からの映像を取り込んできて、暗い所は黒く、また明るい所は白くと、それらをはっきりとさせる操作である。

そしてまたこれは、強調したい輪郭線の太さも自由に変えられる。この操作によって、撮影されたUFO写真を鮮明な画像にして調べるわけである。

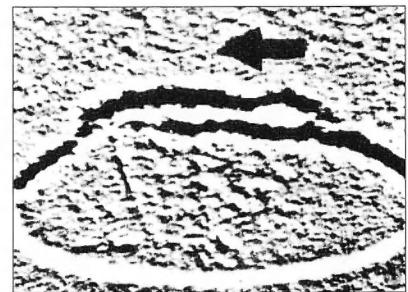
それによつて拡大鏡や引き伸ばし機ではわからなかつた、細かい点や線ができる。



▲1952年12月13日、アダムスキーがパロマー山から6インチ反射望遠鏡で撮影した金星の円盤（スカウトシップ）。これをGSWはコンピューターで分析し、糸で吊り下げる模型と称して葬り去ろうとした。

©日本GAP

そこでGSWでは一例として一九六五年にアメリカ、カリフォルニア州でレックス・ヘフリンが撮影したUFOについての判定をあげている。それに付けて撮影したものについても、その上には糸があつたとGSWは述べて、その輪郭強調写真を発表していた。



▲レックス・ヘフリンが撮影したUFO写真をコンピューターで分析した結果、上部に糸が現われたと称する写真（矢印）。

うのである！

そして、ジョージ・アダムスキーが

取り込み用スキャナーであれば、必ずその操作は付いている。

たとえそれが不完全でも、それを支授するソフトも現在ではできて安価で販売されている。

まず、アダムスキー撮影の写真をス

キャナーでプレビューして、大まかな全体像をパソコンの画面に映し出した。

それから頂上のドームから磁気柱の上の球、そしてその上の空間を拡大していく。

□自分で試してみて

なぜ、アダムスキーの撮影した写真是偽物だといわれたのだろうか。それはどういうことなのだろうか。そこで私は自分でコンピューターとスキャナを使って検査を行なうこととした。

問題の第一段階としての輪郭強調といふものであるが、これは現在の画像

をして明るさ、その他の調整から輪郭線を強調したり、画像の値を上げていくことで白黒をはつきりとさせる操作を行なつてみた。

その操作を何度も行ない、写真を持ち上げては、それを乗せる台をきれいにし、また、髪の毛、その他のものが紛れこまないようにした。

何度も行なつたのは、乗せる台に写真が密着することによって、ドームの上の空間にできる影が変わつて映るだろうとคาดめたからである。

しかし、ドームの上に出る映像は同じものだつた。

いつも、ドームの上の左半分やや下が濃い影となるだけであり、それ以外はまったく何の映像も出でこなかつた。ましてや、頂上の糸など、画面いっぱいになるくらいに、いくら拡大しても出てこない。

□ 専門家の意見

どうもおかしいので、コンピュータの専門家に尋ねてみた。私のパソコンとスキャナーではまだ未熟なもののかと思い、尋ねたのである。

しかし、彼はばりと言った。彼はある大手の電気会社に勤めている人なのだが、それは、私の持っている機器で出てこないものを、いくら、もつと精度のよいもので調べても同じことだというのである。

しかし、GSWでは糸が見えたそうだから、変ではないのかと尋ねたら、意外な、しかし納得できる意見が返ってきた。

それは、個人にしろ団体にしろ、NASAが使っているような最先端の機器であれ、何であれ、現代では、それはどうということではなく、そこにわざと誤差を入れることはたやすいことだというのである。

つまり、空間に糸を作り出すのは、コンピューターの映像の中では簡単なことであるというのだ。

それは、ほんの少しの誤差を入ればよいという。

または、写真もともと糸のような傷を入れることも可能であるという。それには、その傷をつけたものを再度印刷してから映像として取り込めばよいというのである。

しかし、その映像を見ても、現代の人でも、それが本物か故意に作られたもののがよくわからないという。ましてや、当時のことであるから、それだけではわからなかつただろうということだ。

さらに、実際の写真を拡大したものではなく、その極端な輪郭線強調画像にしたのであるから、その映像が本物かトリックかということは、ただ見せられた側にとつては、まつたくわからぬことだというのである。

そして、そこに権威をつけるために、NASAという言葉が入れられたのではないだろうか。

なぜなら、その誤差を入れた人の企みは隠され、NASAの使っている機械が悪いはずはないという、なんだか稚拙な考案が生ずるようになるからである。

□ 彼の発見したこと

その彼がある発見をした。それは、GSWが発表している、アダムスキーオ撮影した写真、つまり糸が見えるという輪郭線強調画像の写真だが、それをさらに拡大したのである。

そして、もう一つは、糸がついているであろう風上げをしている写真を拡大したのである。これを輪郭線強調画像にしてみた。

そして、その両者を比べたのである。

すると、どうだろう。風上げの方の糸は、糸が所々に出てくるが、そのものはのがよくわからないという。そこで、GSWの発表した糸の映像には太陽光線や電球その他の光源の陰影がなく、また、風上げの方の糸は、糸としての振じれによる不完全なところとぎれのものとして出ており、それにはつきりと太陽光線の陰影が見られない。

そこまでくると、GSWが、かなりムスキュー撮影の写真のように、不完全な糸作りの操作を、本物のアダムスキュー撮影の写真の上の空間に施したことかがわかつてくる！

そうして彼は言った。

「このGSWの糸の線つて、雑誌の写真に折り目をつけただけでも簡単にできるものだよ」

そういえば、発表された写真の上の空間の画像は、その糸を境目にして切られている。

もしそこに本物の糸があれば、それは切られるはずはないものであるのだ。

しかし、GSWは、さらに次の段階で追い打ちをかけてくる。それは、色調整といふものである。

GSWのコンピューター操作の第二段階にあつたものは、色調整というものである。それはコンピューターに取

り込んだ白黒映像の各濃度を細かい段階に分け、それから格段階に色を着けていく。それによつてUFOの形状がはつきりとわかってくるということなのである。

しかし、ここでは、はつきりとアダムスキュー撮影の写真にはふれていない。ただ、スカウトシップが小さな模型か、厚紙で作られた物ではないかとおわれる程度で終わつてゐる。

それは次の第三段階への序章として使つてゐるようである。

□ 模型などよつもすゞじの発見

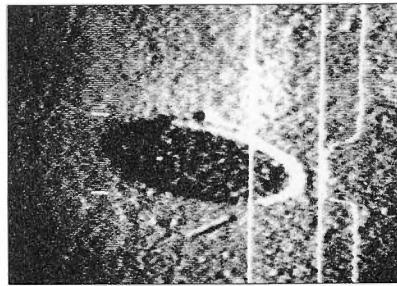
この段階もパソコンで行なうことにして、アダムスキューの写真を比べても、そこで画像のシャドウのレベルをいくら調整しても、それはボール紙のようにならなものなのか、または立体なのかといふ区別はできなかつた。

ところが、いろいろと調べていくうちに、それよりも、もつとすごいことがわかつた。

円盤のフランジの左下部から見えている球形着陸装置を拡大して、その操作を緩めに行なつたときのことである。それまで気付かなかつたのであるが、その着陸装置を通して、向こうにある



▲1950年5月11日、米オレゴン州マクミンビルで、農民のポール・トレントが妻とともに目撃したUFOを2枚撮影した写真の1枚。コンピューター分析の結果、これは本物としている。



▲左のUFOをコンピューターで分析したという写真。

中心部の膨らみがはつきりと姿を現わし、また、着陸ギアの内部もうつすらと見えているのである。

球型着陸装置の中には、一部の人たちがとなえているような反重力装置などはなかつた。それは真空のカップに支えられているようなコンデンサーなのである。

球型着陸装置の中には、一部の人たちがとなえているような反重力装置などはなかつた。それは真空のカップに支えられているようなコンデンサーなのである。

つまりこれは立体の物体を撮影したものだということである。そして、アダムスキーが撮影するときにはパワーを弱めていたとはいえ、そのパワーが着陸装置やフランジの辺りでははつきりと作用しており、それらが透明化しかかっていたのである。

ここまで、GSWでも、分からなかつたと思われる。

しかし、さらに次の段階が登場してくるのである。

□縦断面図の作成

これは第三段階ということで、撮影されたUFO写真の縦断面図を作成するものである。

当時はまだ磁気テープ式のコンピューターであったが、GSWのものは最先端をいくデジタル式のコンピューターを使うものであった。

しかしそれは現在では、パソコンと呼ばれて家庭でたやすく扱うことのできる時代になっている。

とにかく、この操作によって、厚紙で作られた物かがわかるのである。それは第二段階の方法とは異なり、物体の断面図を作ることができるのである。

そして、本物の円盤写真的断面図として、ポール・トレント撮影の円盤写真的断面図を発表しているが、それは円盤を斜め下から撮影したものである。

その写真に真上から切り込みを入れて、その断面図として長方形の映像が公表されている。

しかしこれについても、どうもおかしいので、実際にその円盤の模型を作り、GSW発表と同じように切ってみた。

その断面図を作つてみたのだが、それは長方形ではなくて、なんといびつな長方形と橒円とを組み合わせた形のものになつた。

つまり、公表された断面図映像も正しくないのである。

そして、アダムスキー撮影の写真についてはどうかといえば、彼らは「厚紙をはりつけて撮影したものであり、コンピューターによる切断面画像では、あの細長い、単なる厚紙の形状しか出てこなかつた」というのである。

この縦断面図操作は、果たして信用できるものなのだろうか。厚紙の物体が、いつたいどうして、金星文字の写つていたネガホルダーを落とすことができたのだろう。それよりも、どうしてカリフォルニアのデザートセンター砂漠に着陸して、アダムスキーとオーリソンとが会見することができたのだろうか。六名の目撃者の前で。

このGSWの縦断面図操作段階においても、まったく都合のよいように操作されたことは疑いようのないものである。しかし、それでもひるむことなく、彼らは最後の段階をつきつけてく

る。ところが、それこそ、まさに企みを暴露する結果になつてゐるのである。

□ 映像の拡大

これは単に写真を映像として取り込み、それを拡大する操作である。写真の引き伸ばし機などよりも精度が上がることは確かであるし、また小さなUFOなら、そのはつきりとした形も現われてくる。したがつて、小さな円盤写真を拡大すると、その形がよくわかるようになり、なんと、それがアダムスキーリー型の円盤だったということも多い。

そこで、アダムスキーリー撮影のさまざまな角度から写っているスカウトショットの写真をそれぞれ拡大してみると、粒子の荒さやコントラストの不鮮明さによつて見にくかつたものが、うまく解消されてしまつてはつきりとその形がわかるようになる。

したがつて、コンピューター操作によつて、逆に、スカウトショットが立体的であるということが明らかになつてくるのである。

さらに、そのドームから上の空間に糸などは見られない。

先ほどの専門家の話によると、拡大映像によつて、どんなに調整しても糸が見えないときは、他の輪郭線強調などをしても、糸など、出てくるものではないといふのである。これはGSW

が糸があると発表しておきながら、糸がないということを証明していることになる。

□ 現代のパソコンの進歩

現在では、GSWの使つた機能以上のことだが、家庭でたやすくできるようになってきている。

二〇年の差といふものは大きい。当時は糸があるなどと言われても、時代を経ることにアダムスキーリーの撮影したUFO写真は一つずつ立証されていくことだらう。そして彼は進歩した惑星の人々と接していたといふことがわかる日がくることだらう。なぜなら、写真に写された円盤は、はるかに高度な科学を駆使したものなのであるといふことがわかつてくるのであらうから。

したがつて、なぜ当時は糸があつたのか?

そして最も大きな疑問が出てくる。では、なぜ糸は故意に仕組まれたのだろうかといふことである。

そしてなぜそうする必要があつたのかという疑問が再び頭をもたげてくるのである。

そしてまた、なぜ人々はそれを信じたのかといふことも大きな問題である。

□ 本物と偽物がまざられる。両方が偽物といわれる。

糸が写っていたとしてGSWが偽物と鑑定して発表したものの中には、アダムスキーリーのスカウトショット以外にもう一つ、ある者が撮影したUFO写真が入つてゐる。

それはスイスのある人物が撮影した鮮明なUFO写真であるが、そのUFOは太陽系外のはるかな宇宙からやつてきたといわれている。

しかし、その人物が異星人と会見したという事件について疑問を投げかけられる人々がいる。なぜなら、写真に写された円盤は、はるかに高度な書物が最近アメリカで発売された。なぜアダムスキーリーの写真とその人物が撮影した写真と同じように鑑定されたのか?

そのようなことは、最近フリー・エンジニア装置を研究している人からも聞いた。

それは、例えば誰かが本当の物を発見か発明したとする。そうするといふに、もそれに近いような偽物が発表され、て、両者によつて大衆は混乱させられ、やがて両方に興味を失わせる手法がとられることがあるといふのだ。

今回のUFOのこの件についてはどうなのだろうか。

□ レックス・ヘフリンの驚くべき体験

GSWが偽物として鑑定したレックス・ヘフリンの写真はどうやって撮影されたのだろうか。

一九六五年八月三日、カリリフォルニアの太陽の下、レックス・ヘフリンはオレンジ郡の道路管理局員として、フードのキャラバン車でパトロールに向かうところだつた。

途中、午前一時三〇分頃にメイプオード・ロードで停車して、カー無線で交信を始めた。しかし突然に無線は使用不可能の状態になつてしまつた。彼の無線を聞いていた道路管理局長も、それに気がついていた。

どうしたものかとヘフリンがいぶかつてみると、彼の車の左側に軍用機が近づいてくるのが見えた。しかしそれが軍用機でないことはすぐにわかつた。なんとその飛行物体は空中に停止したのだ。直径は約九メートル、ドームのついた円盤状である（後の米空軍の計算では、直径が約三

年前のコンピューター鑑定からの脱却が必要であると考える。

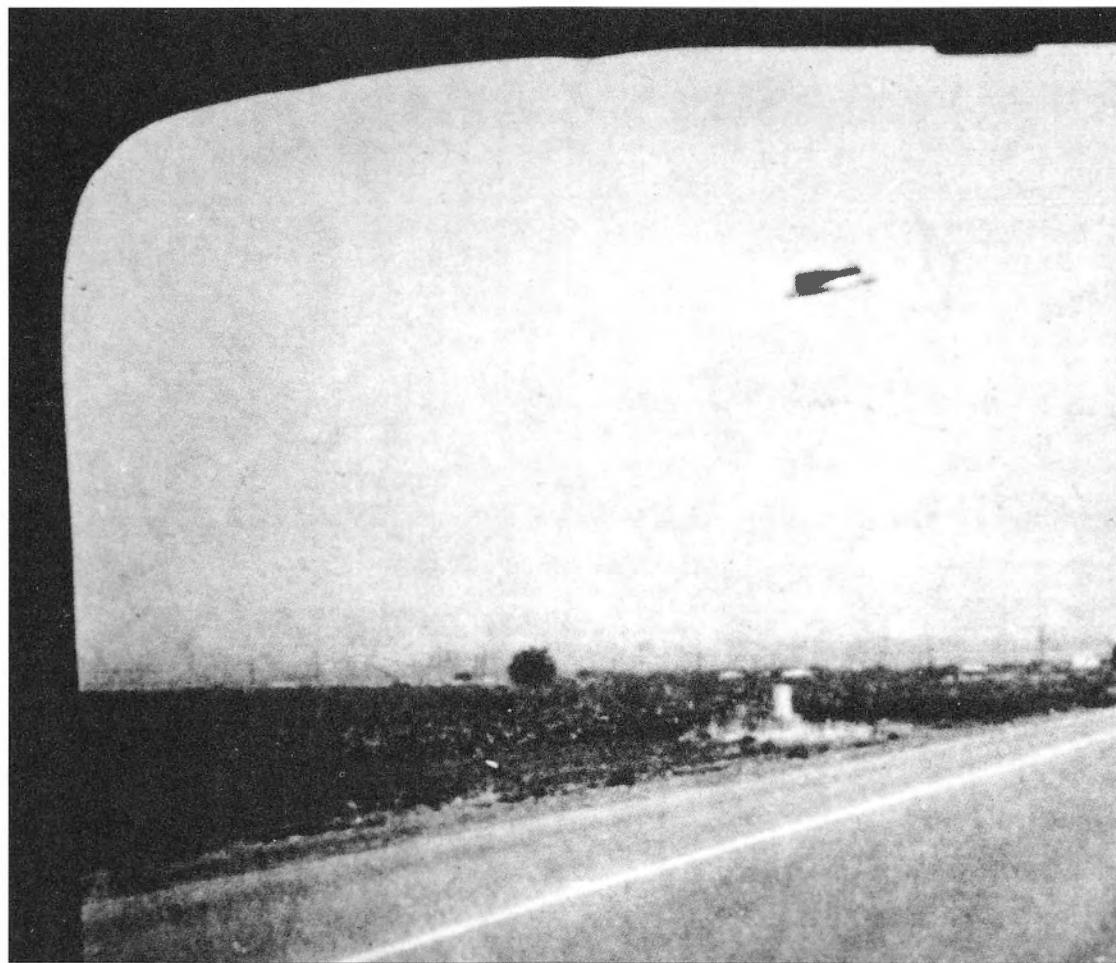
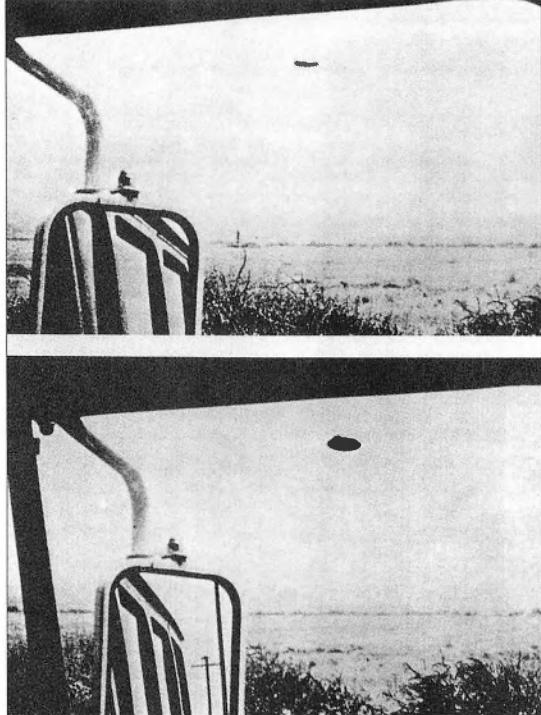
二〇年前に心が作り出した誤った鑑定を取り外し、より新たな気持ちで自分の力、内奥の力を扱う時代になつてしまつたのではないだろうか。なぜなら、現実に円盤型UFOのスカウトショットは存在するのだから。

○センチメートル／一メートル、高度は約一二メートルとしているが、それはどうもおかしい）。

彼がしばらく見ていると、それはやがてゆっくりと左右に動きだした。慌てて座席においてあつたポラロイド一〇一カメラで三枚撮影することに成功した。

最初の一枚目には、道路脇に砂ぼこりが三〇センチメートルほど舞い上がつて写っている。それはUFOによるものではないかといわれている。これが、糸が見えるとして、GSWが偽物と鑑定したものである。

次の二枚目になると、UFOはゆつ



▲1965年8月3日12時頃、米カリフォルニア州オレンジ郡の住民レックス・ヘフリン（37歳）が自動車で走行中、前方に出現したUFOをポラロイドカメラで連続4枚撮影した写真の内の3枚。GSWはコンピューター分析で偽物だとしたが、ヘフリンは絶対に本物だと主張していた。

くりと道路の反対側に移動している。このときに彼は、UFOの底部から円形に回転する白い光線が出ていているのを目撃している。

そして三枚目ではその白い光線がわずかではあるが写真に写っているといふ。こうして UFO は写真にあたから自分から写させるようにして道路に平行に進み、わずかな揺れを起こしてから、上空に驚くべき速さで加速していく、やがて消えていったということだ。

ところが、UFO が飛び去った後には、空に青い輪が生じていた。

そこでその真下に急いで車で行き、撮影することに成功している（また、この写真に似た輪郭だけの写真是、一九六九年六月一八日に、イギリス・バーミンガム近くでカール・ロビンズという人が撮影しており、さらに、輪郭だけで地上側にわずかにフォースフィールドのある写真是、日本でも最近撮影されている）。

やがて我に戻つた感のある彼は、サンタ・アナの無線局に交信をとることができたが、撮影したことについては一切話さなかつた。

彼が三枚のUFO写真を撮影するのには約二〇秒しか経っていないようだということだ。そんな短時間のうちにさまざまなことが起つたのである。

彼は用心深かつた。もしもそれが空軍の新兵器であれば大変なことになるだろうと考え、写真を約一ヶ月公表し

なかつたのである。

しかし後にサンタ・アナの新聞「レジスター」に紹介されることになる。

ところが、これが公表されるや、北米防空軍将校と名のる二人の男がやって来て、彼の写真を持っていってしまったのである。そして彼が軍に連絡をとると、そんな防空軍など存在しないという素つ気ない返事が返ってきたのであった。

また、一九六七年一〇月一日には、米空軍の一将校がやってきて、まだあの写真に興味はあるのかといふようなことを尋ねたというのである。しかし彼は賢明に、もうそんなことはないという返答をしたということである。

その後、彼の撮影したUFOは「ライフ」という有名な雑誌に一九五〇年六月に公表されることになる。アメリカでコンドン教授を中心に結成された科学的UFO研究機関による「コンドン報告」でさえも、約一ページに渡ってこの事件の調査分析を行ない、それが本物であるという見解を出しているのである。

写真

□ポール・トレントのUFO

そしてGSWは、一九五〇年五月一日にアメリカ、オレゴン州マクミンビル近くでポール・トレントによつて撮影されたUFOは本物であるとしている。

まずトレント夫人がその異変に気付いたという。その日の夜午後七時三〇分、家畜にエサをやつていたときに、不思議な物体が北東の空にいることに気がついた。

夫人は驚いて主人のポール・トレントを呼び、カメラで撮るように促した。そこで彼は二枚撮影することに成功した（三一頁の写真）。

そのUFOは青銅色がかった銀色を

しており、西へとゆっくりと動いていたという。それは円盤状をしており、その上に塔のようなものが突き出ている。

その後、彼の撮影したUFOは「ライフ」という有名な雑誌に一九五〇年六月に公表されることになる。アメリカでコンドン教授を中心に結成された科学的UFO研究機関による「コンドン報告」でさえも、約一ページに渡ってこの事件の調査分析を行ない、それが本物であるという見解を出しているのである。

しかしコンドン教授を中心とした活動は、UFOの調査研究というよりも、UFOということから大衆の目を引き離すことが目的であつたようにならぬ

のである。

なぜなら、教授はコンドン報告の中で、「UFO研究は科学的に何も得られることはなく、そのような研究をすることは無意味である」というようなことを述べているのである。

なぜなら、教授はコンドン報告の中

で、「UFO研究は科学的に何も得られることはなく、そのような研究をすることは無意味である」というよりも、

UFOといふことから大衆の目を引き離すことがあつたようにならぬのである。

なぜなら、教授はコンドン報告の中

で、「UFO研究は科学的に何も得られることはなく、そのような研究をすることは無意味である」というよりも、

UFOといふことから大衆の目を引き離すことがあつたようにならぬのである。

なぜなら、教授はコンドン報告の中

で、「UFO研究は科学的に何も得られることはなく、そのような研究をするこ

とは無意味である」というよりも、

UFOといふことから大衆の目を引き離すことがあつたようにならぬのである。

なぜなら、教授はコンドン報告の中

で、「UFO研究は科学的に何も得られることはなく、そのような研究をすることは無意味である」というよりも、

「自然治癒を考える会」で会長講演

今年四月三日、医師先生方の研究会である「自然治癒を考える会」の定期会合で、久保田会長に講演の依頼があった。このグループは約五〇名からなる。そのうち、当日は都合によって約二〇名の先生方が集合。幹事は若い女医さんの浦尾弥寿子医学博士。この方はかねてからアダムスキーの「生命の科学」等を読んでおられて、その素晴らしさに感動し、アダムスキー問題専門家の久保田会長に連絡してこられたのである。当日の会場は都内千代田区、郵政省横のニューグレイヤモンドビルの一室。七時三〇分から九時三〇分までの二時間の予定で、会長は講演を開始した。スライド映写その他の助手として本部役員の加藤純一が同行した。以下は会長の手記。

★

西洋医学に限界を感じて難病治癒に精神的な面からのアプローチを試みながらホリスティック医学の先端を行こうと探求を続けるこのグループの先生方はまさに真剣そのものであった。まことに驚いたのは、私が話を始めるやいなや先生方はいつせいにノートを取り始めたことである。過去に無数の講演を行なつたけれども、こんな光景は初めてなので「これはウカツなことはしゃべれないぞ」と自戒し、慎重に言葉を選びながらアダムスキー問題や宇宙哲學的な問題について話し始めた。

当初は雑談的な会合だと思っていた

ので、まとまつた原稿を用意しておらず、手帳に重要人物五、六名の名前を記していくだけだが、これが大いに役立つた。名前を見れば、それに関連しめらかに出てこなくなつたりする。

原稿なしで雄弁に話す人として秋山眞人氏の右に出る人はいないだろう。記憶力が物凄いのだ。私はそれを見習つているのだが足元に寄れない。

私は医者ではないので、精神世界探求的な面からの話と超能力の開発、超能力的な治癒の実例等を展開したが、



▲講演中の久保田会長。左端の人が浦尾弥寿子医博。(ビデオ画面より)

このような席では、ある程度の医学的な知識を見につけることの重要性をイヤというほど感じた。しかし私はユーモラスな話を大いに好むので、これもふんだんに応用した。

講演のあと質疑応答で意外にもフランスの名高いルールドの聖泉に関する質問が出たときには驚いた。そこで学研から出しているけれども、しばらく無縁になっていたので詳細を忘れていた。しかし話し始めると不思議なことに昔訪れたルールドの光景や事件の筋や有名詞などが洪水のように溢ってきて滔々と解説することができた。私の話が面白いのだそうで、時間を超過したのもっと話せという要求から、さらに一時間ほど補足して計三時間を使やした。これほど時間がアツというまに過ぎた経験はこれが最初である。時間の経過は気分によることを痛感した一夜であった。ご招待頂いた浦尾博士、その他の方々に深謝致したい。

現在、アダムスキーの「生命の科学」に説かれている諸理論は次第に医学の面で応用されつつあり、各種の書物が出版つつある。あらためてアダムスキーの偉大さを認識するとともに、自分自身の生き方に応用することの重要性を再確認した次第である。浦尾先生から、また来てくれとの話があつた。

東京造形大学でまたも講演

Kubota Makes A Speech On
Adamski At Tokyo University
of Art And Design

36

（体育）の佐藤彰先生が熱心な日本GAP会員で、その関係から先生の持つ時間を割いて私を招待して下さるわけである。したがって私としては、きちんととした原稿と資料等を用意して時間の割り振りを考慮の上、万全の態勢で臨むことになる。

今年は三回目なので、すでに慣れており、学生の興味を引き付けるコツも把握しているから、気軽な気持ちで出席した。むかしと違つて今の大手は授業時間中に私語を交わすことが多いが問題となつてきているけれども、今年は

入学してまもない一年生ばかりなのでわりと静謐だった。女子学生がやたら多い。芸術系の学校だからだろう。

東京造形大学はデザインで名門の桑沢デザイン研究所の創立者、故桑沢洋子女士の設立による桑沢学園の一環をなす。森の中の寺院ともいべきストリックな感じのするモダンな校舎へ横浜線の相原駅から徒歩十五分で行ける。

GAPから岡田茂が同行した。

午後三時より指定された大教室へ出る。約三五〇名の学生が階段教室を埋めつくしているのは壮観。私は聴衆が多いほど度胸が出るタチなので気分爽快だ。

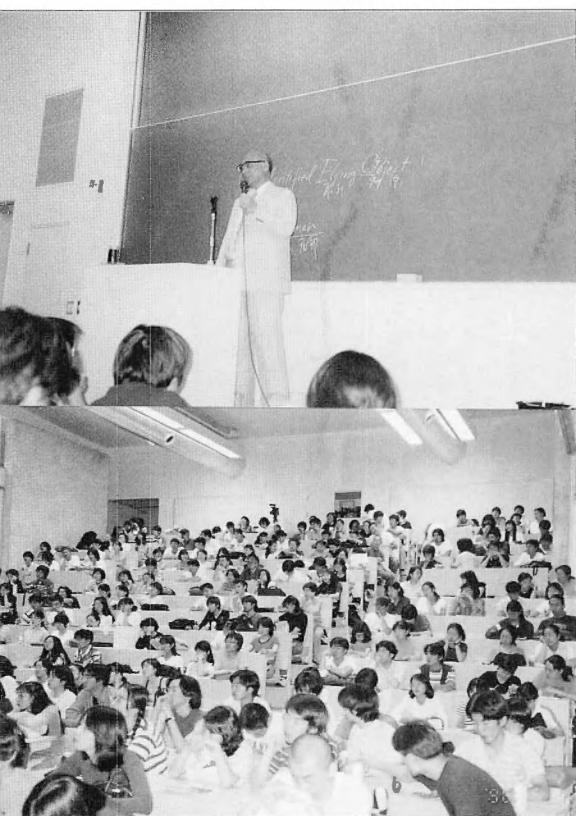
まず一時間を講演、それもUFO問題を四〇分、宇宙哲学で二〇分と割り振りし、残り三〇分でスライド映写を

行なう。昔の暗黒時代の戦時中の若者と比較すれば、まるで別な惑星の人間かと思うほどに違う現代の二〇歳前の男女学生達は徹底的に自由を満喫しているのだろうから天真爛漫そのものだ。前方の方の席に陣取つた十数名の男子学生達は、しきりにノートをとつたりして熱意を示していた。

ここでも一時間半はアツというまに過ぎてしまった。やはり二時間以上はほしいところだが、そもそもゆかない。後ろ髪を引かれる思いで教壇を降りると意外にも盛大な拍手が響いてきた。胸が熱くなつてくる。一生懸命にしゃべつた甲斐があつたと安堵する。

一昨年、ここで第一回の講演を行なつた件を、アメリカのニューヨーク州ロチエスターに住むUFO研究家で、昨年ワシントン市でアダムスキーハウスを開催したウイリアム・シャーワッドに知らせたら、ひどくたまげたらしく、アメリカの大学でUFO問題、特にアダムスキーハー問題について講演をするとなぬことだといわぬばかりの表現で伝えてきた。アメリカどころか日本でさえもこんな講座を持つ大学はないだろう。佐藤先生によれば、今後毎年一回は必ず来校して講演を行なえということなので私も満を持している。

先生は同校の体育専門の教授で、日



本体育大学卒後、ドイツに留学され、帰国後スポーツ整体協会会长として難病の治療にも専念しておられる方。すでにスポーツ整体に関する著書を出しておられるが、今年七月には「巻いて貼るだけ」を題する著書を成美堂出版から出される予定である（左の写真は表紙カバー）。定価八八〇円。

先生はきわめて男性的で豪快な気性を発揮される反面、愛の精神に徹した方で、研究室には有益な標語があちこちに取り付けてある。だいいち入口のドアには「太陽の心を持つ」と大書したポスターが貼りつけてあるほど精神世界探求者なのだ。したがつて全学生の敬愛の的になつてている。

巻いて貼るだけ

こりと痛みがとれる

驚異のテープ療法

腰痛、肩こり、神経痛、冷え症をスッキリ治す

キネシオテープ&リンパテープ療法

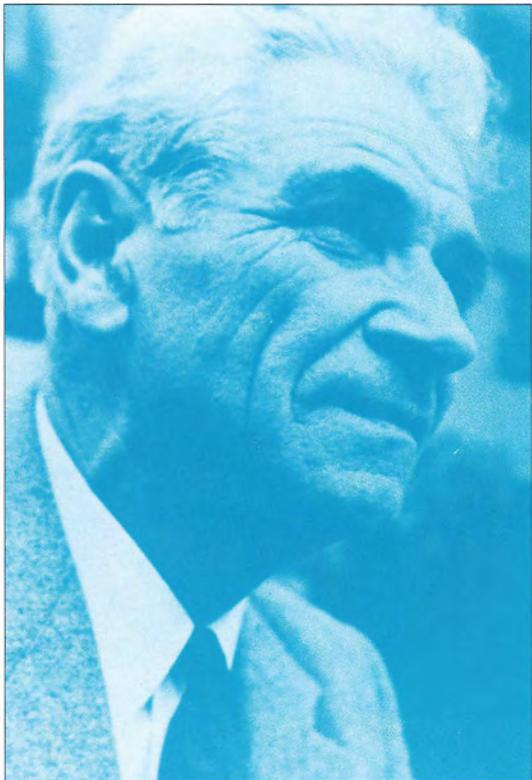
佐藤 彰
加瀬建造

本商品は日本製
日本製紙・大日本インキ・大日本油墨
日本キニコラーピング協会会員

肉体を超えて大宇宙と一体化する方法(2)

ジョージ・アダムスキーノー久保田八郎訳

〈アダムスキーノー講演集連載14〉



▲ジョージ・アダムスキーノー ©日本GAP

この記事はアダムスキーノーが一九六〇年代ニューヨーク州ビンガムトン市の小集会で行なった質疑応答集の前半部分。人間の実体と大宇宙との関係を説いた宇宙哲学の凝縮であり、人間の到達すべき最高の真理を開拓。個人の向上と至福化に不可欠な方法が述べられている。前半部分は前号に掲載(文中の傍点の部分はママロイ女史の原文の指定に準拠した)。

物質も英知も永遠に不滅

しかし人間のエゴが宇宙の魂と一体化することは決して容易なことではありません。それなのに多くの人はそのための努力を払おうともしていません。人間は一般に、あまり努力を必要としない生き方を好む傾向にあるからです。何も努力せずにただ生きているだけで進歩したいと考えているんです。

しかし、ときには泥のボールでさえ

も努力を始めねばなりません。どこかに到達するための努力です。我々の問題のすべてがここにあります。

(訳注)泥のボールの例え話は本誌前号に詳述してある)

一部の教会が煉獄、地獄、または魂の消滅という考え方を起こしたのもここからです。皆さんは「あなた方は何かを畏れねばならない」と教えられており、そのことを知っています。私も知っています。それは一つの法則がかかわっているのです。しかし一般大衆はそれを完全にゆがめています。

(訳注)人間の実体は永遠に生きると結局、科学はすでにいかなる宗教でもさえも証明できないことを証明しているわけです。眞の皆さんほどのようにしても死ぬことはありません。

眞の人間は不死

たとえば多くの人は物事を物質性かまたは靈性に分ける傾向があります。しかしこの両者は一つなのです。現代の科学が次のように証明しています。「物質は本質的には破壊され得ない」と。我々は形あるものを破壊することはできます。しかしその形を作りあげている物質の本質は決して破壊できません。それを破壊することは誰にもできないんです。それ自体は永遠に存在します。

そして物質を用いて形を铸造または創造する「徵知」が存在します。それは常に形あるものに先行します。といふことは、それもまた当然のことく永遠だということになります。

いう意味)

しかしこれを持つて物質の法則と靈性とのあいだにあるもの、つまり現象は、一時的に存在する現象にすぎません。ただそれも、それ自身が両側の法則、つまり靈性と物質の法則に吸収されることを許したならば、その二つの法則の一部となり、永遠に存在し続けることになります。

(訳注)ここで言う靈性というのは波動性というほどの意味であって、心靈とは無関係)

この種のことを人々に話すのは容易なことはありません。なぜならば、ほとんどの人々はきわめて利己的であるからです。つまりエゴの支配下にあります。占い師達が皆さん過去生について話すときには、皆さんが過去生で洗濯女だったとかミソジ堀り人夫だったなどと決して言わないのでそのためです。彼らはいつも皆さんに「あなたはどこかの王だった、または女王だった」というたぐいのことを言つて、皆さんのエゴをくすぐろうとするはずです。それが皆さんに聞きたいことであり、こうして占い師達が皆さん求めているものを提供しているわけです。

人間は常に土台からスタートする

(客席からの質問)過去生で王だった人が今生で何をしようというのですか。

答 面白い質問です。王であるからと

いつて決して進歩した人間であるとは限りません。人間はどんな環境に生まってきたとしても常に土台からスタートします。もしあなたがイエスの言った「父」(創造主)の仕事につくしたら、彼は決してあなたを頂上からスタートさせたりはしません。「父」はあなたを必ず土台からスタートさせるはずです。

もしもあなたが自分の息子に自分の仕事を継がせるとしたら、おそらく息子にその仕事を一番下のレベルからやらせるでしょう。それと同じことです。

それによつて彼は後になつて仕事がうまくゆかなくなつたときに問題を正しく発見し、それを正しく解決する方法を学ぶことになります。

ところがもし彼が頂上からスタートして仕事に関する詳細を学ぶ機会が得られなかつたとしたら、あとで仕事がおかしくなつたときに、「なす術がない」ということになつてしまします。あなたはそんなことは決してしないはずです。

あなたの「父」(創造主)の仕事に関しても全く同じことが言えます。あなたは(転生、つまり生まれかわりによって)あらゆる種類の生涯を体験しながら、生命の階段を一步ずつ登つてゆかねばならないのです。

シーザーの生まれかわりの意味

ところで、皆さんもご存じのよう、「私はシーザーの生まれかわりだ」と称する人がときおり現われます。

(訳注)シーザーは古代ローマの偉大な武将で政治家。前六〇年に第一次三頭政治を開始し、ガリアその他を制霸して大帝国を築いたが、反抗者の謀略によって暗殺された)

これは本当のことかもしれません。

これは眞面目な話です。その可能性は充分にあります。というのは次のとおりです。

我々の肉体は土のようなものですが、たとえばあなたの方の誰かが死んで埋葬されたとしましょう。その人は亡くなり、本人の遺体は土の中に埋められました。まもなくその肉体は崩壊し始め、それ自身をガスや液体やらさまざまの形で土の中に浸透させてゆきます。シーザーの肉体も同じようにして崩壊しました。

そしてある人物が誕生しました。この人の肉体は、かつてシーザーの肉体を構成していた原子の一つを吸収してしまいました。

あなたは(転生、つまり生まれかわりによって)あらゆる種類の生涯を体験しながら、生命の階段を一步ずつ登つてゆかねばならないのです。

（このあいだ、それ自身を表現することなくありません。肉体の一部として）

シーザーの肉体を構成していた先ほどの一つの原子にも同じようなことが言つてよいでしょう。

静かに眠り続けます。

しかしあるとき、彼がシーザーの一代表を何かで読み、それに強い興味をもつたとしたらどうでしよう。その想念がシーザーの肉体の一部であつた原子を振り起こすかもしれません。振り起されたその原子はそれ自身をふたたび表現し始めます。

すると、それに従つて彼の心には極めて自然に「自分はシーザーだったのだ」という認識が芽生えることになります。それは確かにそのとおりなのであります。それがたつた一つの原子であったのです。それは一つの想念のようになります。それは一つの想念のよ

うです。

そのままその人生を生きることになります。彼はシーザーの想念が自分の想念を圧倒することを許します。そしてその想念が、彼がシーザーになりきつて見事な演技を披露することを可能にするわけです。

シーザーの肉体を構成していた先ほどの一つの原子にも同じようなことが言つてよいです。

我々はまだ自分の心や、それがどのよううに機能するかをほとんど知らない

靈界は存在しない

この話を聞いて、今、私は自分のある体験を思い出しました。それほど前のことではありません。

あれは私の家内が死んだ一九五四年のことでした。

その前にことわっておきますが、私はいかなる宗教的教えも、オカルトの角度からは全く信じていません。それが全く論理的でないからです。私はいかに宗教的な教えであっても、他の理論を吟味するときと全く同じような感覚で吟味しています。常に真実を知りたいからです。

たとえば、ある教えによれば、人間は死んだ後に土に埋められてから、およそ六フィートほどの深さの所で、天使ガブリエルがラッパを吹くまでのがだ横たわっているということになっています。そして彼がラッパを吹いたら死人は野ウサギのように墓から飛び出してふたたび地上を走りまわるといわれています。

でも考えてみて下さい。もし誰もが次々と肉体に戻ったとしたらどうなるでしょう。人間の体重は平均五〇キロもあるんです。その一方で地球がたくわえている土の量には限度があります。そのうち皆さんの肉体を構成するための土が足りなくなつてしまつて。また、たとえ土が充分にあつ

たとしても、地球が作られてもしない限り、人間は地球上から溢れてしまうことになります。

また、別のオカルト信者達はこんなことを言っています。

「あんたは死んだら空間つまり靈界内を漂う靈になるんだ」

そこにはいかなる樹木も生えていません。ということは、そこに行つたとき、皆さんは木の枝にとまってひと休みすることもできないんです（笑い）。

これは大変なことです。ずっと飛び回つていなくてはならないんです。たとえ靈であつても、ときには一休みして周囲をゆっくりと見回したりすることが必要ですからね。

いずれにせよ、人間が死んだら靈になつてただようという考え方には全く理解出来ません。全く非論理的なことであるからです。

自然は常に活動を続けています。その活動は決して止まることはあります。

「意識」は絶対に停止しないんですね。「意識」は夜間に休息をとるのは「心」だけです。それは眠り、それ自身と肉体と一緒に休息を与えます。

しかし「意識」は決して眠りません。それは絶対に停止しません。もしそれが睡眠中に停止したならば、次の日朝、肉体は死体に変わっていることになります。結局、「意識」すなわち我々の本質は決して疲れず、決して眠らず、常にあらゆる場所に存在しているんで

す。そして私はこれまでにその「意識」を通じてさまざまなことを探求していました。

妻メリーラーの転生の「予言」

さて、先ほど言いかけた話にもどります。私は一九一九年に初めて妻と知り合いました。最初のデートの場所はイエローストーン国立公園でした。

続けましょう。妻と私はイエローストーン国立公園で初めてデートしました。そこで、先ほど言いかけた話にもどります。私は一九一九年に初めて妻と知り合いました。最初のデートの場所はイエローストーン国立公園でした。

（訳注）イエローストーン国立公園はワイオミング州とモンタナ州にまたがる最大の国立公園）

美しい夜空が広がっていました。無数の星がきらめいていました。それらはまるでぐるぐるにあるかのようでした。

妻のメリーラーが言いました。

「実はね、私はもう、この次に生まれかかる場所を知っている。私が今まで生まれる場所は、あの明るい星。そう、金星なのよ」

私はその話にあまり注意を払いませんでした。たんなる夢物語を語つているだけだ——私はそう考えて、それを聞き流しました。

その後結婚してからも彼女はそれと同様ことを何度も口にしました。彼女のその話には宗教的な意味合いは全く

ありませんでした。

そして一九五四年に彼女は突然、旅行先（ロサンゼルス）で亡くなりました。私達は彼女を埋葬しました。そしてその後で私は考えたのです。メリーラーの願いはかなつたのだろうか？ 私はそれを、もはや夢物語ではなくて

「願い」と言つていました。彼女がそのことを妙に確信して言つていたからです。そしてそれは見事に実現しました。

（訳注）一説によれば、彼女はもともとアダムスキーオを助けるために金星から地球へ転生ってきて、ふたたび金星へ帰つたと言われる。アダムスキーも没後、金星へ転生したという

靈媒師達への講演

彼女の埋葬から三週間後に、私はカリフォルニア州アナハイムで靈媒達を前にして講演を行ないました。

（訳注）現在のアナハイムはディズニーランドのある町として有名

それはメリーラーが亡くなる前から企画されていたものですから、私にはそれを行なう義務がありました。それでそこへ行つたのです。私は彼らがどんなことを信じているのかを全く聞かされませんでした。彼らから私は講演を依頼してきたのです。彼らは私に宇宙に関することを聞きたいといつてきました。もちろん何を知ろうとも知る



▲1953年、パロマー山腹にパロマーガーデンズのアリス・ウェルズが経営していた軽食堂に集まったアダムスキーと助手達。中央奥がアダムスキー、その右隣りがメリーフー夫人、手前右方の年配の女性がアリス・ウェルズ女史。珍しい写真である。 ©日本GAP

権利は誰にもあります。

聴衆は一五〇名ほどでした。うちの一〇〇名は靈媒師でした。彼らは当時のアメリカで最も優れた靈媒だということでした。しかし私は彼らが靈媒だということを全く知りませんでした。私がそれを知ったのは講演を終えてからのことです。

それは妻が死んでからわずか三週間後のことでした。私達夫婦は三五年間、とても親密な間柄を保ち続けました。ですからなおさらのこと私は彼女のことをとても頻繁に思い出していました。

彼女に関する追憶を心の中から一挙に追い出すことなどは到底不可能なことでした。その追憶はいわば習慣的想念として私から決して離れることはなかつたんです。

真の直感力を持たぬ靈媒達

さて、私が講演を終えると、主催者側は聴衆に対して何らかのメッセージを送り始めました。彼らにとっては恒例の行事です。ただし私はいかなるメッセージも受け取りませんでしたが――。

まあ、それはいいんですが、そのあとで私達は会話を交わす機会をもちました。

彼らの一人が私にたずねたのです。

「ところで、奥様はお元気ですか？」

たずねたのはアメリカでも最も優秀な靈媒の一人でした。

そこで私が「彼女は三週間前に亡くなりました」と答えると、彼は「え、亡くなられたのですか！」と言つて目を丸くしました。

そこで私は言いました。

「ええ。でも奇妙ですね。私のまわりに浮遊している彼女の靈がみえませんか？」（訳注）これはアダムスキーが冗談で言つたもの）

そうなんです。彼らは私の追憶の想念をチャツチしていなかつたのです。私の家内はもちろんそこに靈として存在してはいません。彼女は私の追憶の想念、つまり後々までとどまり続ける私の習慣的想念の中にのみ存在しているんです。

靈媒達は彼らがキヤツチしているものが何なのかを知つていません。人間の本質つまり「意識」はすでにどこか他の場所で別な肉体を得ているのですから残っているものは他人の追憶という習慣的想念の波動にすぎません。それは例えれば、

「私は以前にニューヨークに住んでいた。私達はそこでこれこれこういうような家で暮らしていた。私はよくあの木の下に座っていた。あの木は私の一部だった。なぜなら私は毎日少なくとも一、二時間は過ごしていたからだ。やがて私は西海岸へ引っ越した」と考えるようなものです。

あの木の下で座っている私をもはや見ることのできない人々にとっては、

私は死んでいるのと同じことです。私はもうそこに存在していないからです。

しかし私としては、三〇〇〇マイルも離れましたけれども、折にふれてあの木のことや何人かの隣人達のことを思い出します。すると私の想念波動はそこに戻るのです。

残留想念をキャッチする人間

またたとえそれが戻らなかつたとしても、私のその種の想念波動は、そのあたりにただよい続けています。なぜなら、それは私が多年あの木の下に座つていた間に作り出された習慣的な想念であるからです。もし敏感な人があの木の下に行つてそれを感知したとしたら、その人は言うでしょう。

「あの人だ！ アダムスキーだ！」と。でもそれは違うんです。その時私はおそらく他の場所で忙しく働いています。その木のことなどは全く考えていないかもしません。敏感な人がキャッチしたのは、「**残留想念波動**」つまり印象なのです。そこに残つていた習慣的想念の波動です。幽霊屋敷などで発生する現象もこれと全く同じことです。

想念感知機が完成している

今アメリカではある機械装置が出来ています。まだ一般には知られていませんが、いづれはおおやけになるでしょう。

（客席より質問） 犯罪が行なわれたあとでですか？

答　ええ、そのとおりです。犯人はすでにその場所から逃げていますが、彼はその場に「**印象**」を残して行きました。彼の人格的、性格的特徴、さらに犯行時の具体的な想念波動などを。それらのすべてが犯行現場にいつまでも残ります。そして今お話しした装置を用いると、たとえ一〇ヵ月後であつても、そのときの様子をしつかりと写真に収めることができます。

人間の心にもそれと同じ事を行なう能力があります。ただし、ある人々はそれ（映像）を見て靈だと言つたりするわけです。本物の靈はすでにそこに存在するには残留想念波動あるいは追憶です。靈はすでにそこにはいません。あるのは人物自身ではなく、その人物に関するさまざまな情報が印象として残つているだけです。

答　政府が管理しています。あなたがいくらお金を積んでも、現時点ではまだ買うことはできません。しかしいずれにしても、我々はすでに人間の想念内容をキャッチできる装置の開発に成功しているんです。

存在するには残留想念波動あるいは追憶です。靈はすでにそこにはいません。あるのは人物自身ではなく、その人物に関するさまざまな情報が印象として残つているだけです。

金星に転生したメリー

（客席より質問） その装置はどこにありますか。

さて、私の妻の話に戻りましよう。私は実に奇妙なことだと感じました。妻が亡くなつたのは、わずか三週間前

（訳注）この会見の詳細は新アダムスキー全集第一巻『第二惑星からの地球訪問者』に収録

彼は私の所（パロマー山のアダムスキーの住居）へやつて来るなりたずねました。

「なぜ疑つているんですか？」

よう。その装置が実用化されると殺人者がそこのハイウェーで人を殺してすぐには逃げたとします。目撃者は誰一人としていません。しかし警察がその装置を利用したならば、その犯行のすべてを確実に写真に撮ることができるのでです。

（客席より質問） 犯罪が行なわれたあとでですか？

答　ええ、そのとおりです。犯人はすでにその場所から逃げていますが、彼はその場に「**印象**」を残して行きました。彼の人格的、性格的特徴、さらに犯行時の具体的な想念波動などを。それらのすべてが犯行現場にいつまでも残ります。そして今お話しした装置を用いると、たとえ一〇ヵ月後であつても、そのときの様子をしつかりと写真に収めることができます。



▲1952年11月20日、米カリフォルニア州南部の、デザートセンター砂漠で円盤から出てきた金星人。アダムスキーがこの人と会見しているあいだ遠くから目撃していた6名の証人の1人、アリス・ウェルズ女史が双眼鏡で観察しながら描いたもの。このときの詳細は新アダムスキー全集第1巻『第2惑星からの地球訪問者』に出ている。

(C)

▲1952年5月1日、午前7時58分、アダムスキーがパロマー山の自宅前から6インチ反射望遠鏡で撮影した金星の大母船。大きいのになると長さ数キロに及ぶのがあるという。いずれも重力場推進機関で宇宙を航行する。アダムスキーが金星人の少女と会見したのはこの写真の大母船の内部であったと思われる。この会見の詳細については新アダムスキー全集第5巻『金星・土星探訪記』(中央アート出版刊)に詳述してある。 ©日本GAP

(訳注)これは妻のメリーガ生前に金星に転生すると言つていたことが実現したかどうかを考えていたことを意味する)

「いや、疑つてゐるわけじゃないんです。妻の願いが実現したかどうか、気になつてゐるだけですよ」

すると彼は次のように言いました。「あれは願いなんかじやなくて、法則の一部ですよ」

そうです。彼女は肉体の目を閉じると同時に金星世界の他の肉体(新生児)の中に生まれていきました。その間にはいかなる停滞もありません。二つの「生」のあいだでさまよつたりすることもありませんでした。

(訳注)靈界というような所へ行ったのではないの意。メリーグ転生に関する詳細は新アダムスキー全集第五巻『金星・土星探訪記』に出てゐる。アダムスキーは大母船の中で、金星の少女に生まれかわつた、かつてのメリーゲ劇的な対面をする)

そうなんです。彼女は肉体の目を閉じると同時に金星上の他の肉体の中に生まれていました。その間にはいかなる停滞もありませんでした。

(訳注)人間が他の新生児に生まれ変わるのは平均三秒間を要するだけだとアダムスキーは説明している)
それはイエスの言葉を確証するもの

でもありました。

あれはイエスが実際に口に出したことなのです。メリーゲ話を聞いた瞬間、私はそのことを思い出しました。イエスは磔にされたとき、隣の十字架につけられていた盜賊に向かつて言いました、「あんたは、今日、私と一緒に樂園にいるだろう」と。

この意味は、我々は死んでから靈となつてあちこちを浮遊したり、土の中で横たわつたりしないで、急速に次の肉体の中に移動するということです。

その日オーソンは「彼女がもう少し成長したら宇宙船の中で会わせてあげますよ」と言いました。

それから二年が過ぎて、私がパサデナで講演をしていると、そこに一人の異星人がやって来て言いました。

「いま宇宙船が来ています。その仕事が終わつたら一緒に行きましょう」
我々は一緒に出かけました。そしてスカウトシップで地球から飛びたつて宇宙空間の大母船に乗り移ると、そこに私の亡き妻メリーゲ生まれかわりである少女がいました。ちょうど、これくらいの背の高さでした(とアダムスキーは手で示す)。

彼女は地球上いた当時の面影をとて
前生の事をすべて記憶して
いる少女

おもかげ

もよく残していました。ずっと若いと
いうだけで、相手は間違いなくメリーアー
でした。

(訳注)金星の幼兒は地球の子供よりも
はるかに急速に成長するという。死後
数年なのに、この金星人の少女は一
歳前後に見えたとアダムスキーハ
べている)

彼女は地球での体験をあまり思い出
したくないと思っているようでした。死
相手は次のように言つたからです。

「私は今ここで（金星で）学んでいる
んです。それで地球から来るどんな想
念波動も私を混乱させて、私のここで
の学習を妨げてしまいがちなのです」

このあと私は大母船で金星へ行つて
そこで五時間すごしました。そこでは
彼女の両親にも会っています。彼ら
はとても若い夫婦で、彼女は彼らの初
めての子供でした。メリーアーまだ少女
でしたが、相変わらず美しい女性でし
た。

最初私は彼女が（過去世の記憶では
なくて）テレパシーで私の心を読み取
っているのかと思いました。私達夫婦
がイエローストーン国立公園で初めて
デートした時に、「ある事」があつた
んです。つまり私がある事を言つたの
ですが、私自身はその時以来、そのこ
とを完全に忘れていました。ですから、
そのことは私の心の中には存在しなか
ったのです。したがって、当然、彼女
はそのことを私の心の中では見つけら
れなかつたはずです。

彼女は言いました。

「あなたは私があなたの心の中を読ん
でいると思つていてるでしょう？でも
それは間違いです。私は、あなたに対
して私が知つてゐる事を話しているだ
けです」

そう言つてから彼女はあの日に起
つた、私が完全に忘れてしまつたこと
を思い出させてくれましたが、それは
彼女がメリーアーであることの完璧な証明
でした。

その後で彼女は、もうすこし大きくな
つて心をうまく管理できるようにな
つたら、私に彼女の写真を撮らせてく
れるとも言いました。

「その写真を（地球の）人々に見せた
ら、私が少なくとも表情に関しても、と
んどり変わつていないので知つて、み
んなきっと驚くでしようね」

実際、そななんです。転生（生まれ
かわり）というのは、全く異次元なも
のへの突然の変化などではありません。
それは皆さんのがちょうど毎日少しづつ
成長してゆくのと同じようなものなん
です。

テレパシックな予感力が重要

いうことをどうやつて知つたのですか。

答 我々の誰でも「予感」を感じるこ
とがあります。でも我々はそれに注意

を払いません。彼女はこの次にどこへ
転生するのかを予感で知りました。

しかし我々はその種類の事を無視し
てしまします。そうするように教育さ
れてきたからです。

メリーアーは地球にいた頃には多くの旅
を経験した女性でした。彼女は北アメ
リカ鉄道のあらゆるホテルに関連があ
りました（訳注）それらのホテルで働
いていたという意味か）。彼女はまさ
にあらゆる種類の人々と出会い続けま
した。そしてそのため人々と観察に
関する広範な理解を得るとともに、と
ても鋭い知覚力と素晴らしい高度な精
神性を身につけていました。

また彼女は人間の心がどんなことを
行なえるかを知つていました。そして
その知識をもとに自分で自身を管理
していました。彼女が身につけていた
知識のほとんどは、人々との接触を含
む彼女自身の経験から学ばれたもので
す。

あるとき彼女は、「自分は金星に転
生するのだ」というフィーリングを起
こして、それを大切に保つていました
が、ついにそのとおりの事が起つた
のです。

ここで質問を出しますか。皆さ
んはたとえ自分の今の配偶者をどん
なに愛していようと、もし、今後も永遠
にその人物と夫婦であり続けねばなら
ない宣告されたとしたら、どうでし
ょうか。それを喜んで受け入れるでし
ょうか（会場はシンとなる）。

そんなことをすれば、いかなる進歩
もありません。そのとき皆さんには、言
わば全くの手詰まりの状態に陥ること
になります。それは次の理由によつて
も決してうまくゆきません。

皆さんは常に知人とはめぐり会うで
しょう。事実、皆さん一度会つた人
にはいつか別の場所でからず再会す
ることになります。我々はその種の再
会をこの生涯の中で何度も体験してき
ました。初めて会つた人なのに、以前
にどこかで会つたことがあるというフ
ィーリングを皆さんも何度か体験した

このことはまたイエスが言つたもう
一つの事とも関連しています。彼は言
いました。「天国ではいかなる結婚も
行なわれない」と。

ここで天国というのは宇宙を意味し
ます。たとえば我々はみな配偶者が亡
くなると彼あるいは彼女にとても会い
たくなります。相手が生きていたとき
には、ひどい悪かれをついていたとし
ても、亡くなつていなくなつたとたん
に、強く愛し、会いたくてまらなく
なります（笑い）。実におかしな話で
あります。

ここでは質問を出しますか。皆さ
んはたとえ自分の今の配偶者をどん
なに愛していようと、もし、今後も永遠
にその人物と夫婦であり続けねばなら
ない宣言されたとしたら、どうでし
ょうか。それを喜んで受け入れるでし
ょうか（会場はシンとなる）。

そんなことをすれば、いかなる進歩
もありません。そのとき皆さんには、言
わば全くの手詰まりの状態に陥ること
になります。それは次の理由によつて
も決してうまくゆきません。

皆さんは常に知人とはめぐり会うで
しょう。事実、皆さん一度会つた人
にはいつか別の場所でからず再会す
ることになります。我々はその種の再
会をこの生涯の中で何度も体験してき
ました。初めて会つた人なのに、以前
にどこかで会つたことがあるというフ
ィーリングを皆さんも何度か体験した

（客席からの質問）メリーアーさんは地球
にいた当時に自分が金星に転生すると
は過去世での親密な関係の結果

はずです。皆さんはすでにその種のフイーリングを起こすために必要な感知力を充分に身につけているんです。

さて、ポイントは次のとおりです。

ここに私の妻がいます。もし私がもう一〇年、あるいは一五年生きたとしたら、我々の時間を採用した場合、そのときメリーは二〇歳になります。そのとき私は死んで赤ちゃんとして誕生します。そんな赤ん坊を彼女がどうして夫になどできるでしょうか（笑い）。

それゆえにイエスは「天国では、地上で慣れ親しんだ結婚は行なわれない」と言つたんです。人間同士は永遠に知人として存在できますが、永遠に夫婦であり続けることは到底不可能なのです（訳注）各生涯で配偶者は変わるのであって、そのためには人間の進歩があるの意）。

宇宙は一つの肉体

前にも言いましたように、皆さんが創造主を愛しているときには、創造主が造りあげている万物を愛しているということになります。

創造主は何で作られているのでしょうか。ちなみに我々の肉体は九千億個の細胞で作られています（訳注）現在は六〇兆の細胞から成っていると言わっている）。あらゆる形あるものと、あらゆる形あるものの成長を可能にしている空間が、宇宙という一つの肉体

を形成しています。その肉体すなわち宇宙が、我々が神と名づけているもの、そのものだと言うこともできます。それは同時に神あるいは創造主によつて作られているということもできます。

そして我々は皆その壮大な一つのもの一部なんです。我々は決してそれと分離した存在ではありません。

ただし我々は同時に常に同じ形で結びつきあつているわけでもありません。基本的にには先ほどお話しした二つの原理の接触によって、あらゆるもののが変化を続けています。その二つのものが接觸するたびに新しい現象、あたらしいアイデア、新しい想念が発生します。そしてその持続的な変化は、限界を持たない持続的な進歩と言い換えることができます。

地球人の知性は七パーセン

我々が今後身に付けうる知識には、いかなる限界もありません。これだけ

の文明を築きあげている現時点では、我々はまだ自分達の知性を七パーセントしか発達させていないんです。しか

もそれは地球人のなかで最高のレベルにある人々の数値です。我々が開発しうる知性は、まだ九三パーセントも残っているんです。

我々人類はこの地球上に四〇～六〇億年も前から住んでいます。その間に我々が発達させた知性はわずか七パ

所有物の奴隸になつてはいけない

さて、我々人類はさまざまなものを作っていますが、あります。

創造し、それらを所有していますが、我々がそれらに支配権を与えたならば、それらに使われることになります。

たとえば皆さんの自動車は皆さんをここへつれてきました。その点では自動車は皆さんにとってもよく奉仕したわけです。しかし我々の社会体制の中では皆さんは自分の自動車の奴隸でもあるんです。なぜなら、皆さんはそれを所有するため汗をたらして働かねばならないからです。我々は自分が達の創造物の奴隸になつてはいけません。それらが常に我々に奉仕するべきなのです。しかし我々はほとんどあらゆる所有物の奴隸になることを強いています。それらを所持するために働くかねばならないからです。

（訳注）以上の説明によれば、進歩し

た惑星は貨幣のない完全な共有財産制であることがわかるが、これは地球の共産主義とは根本的に異なることを意味する。地球の共産主義は人間のもう

一つの社会しか存在しません。そしてあらゆる物が公平に分配されています。そのため彼らはいかなる所有物もも奉仕しません。逆にあらゆる所有物が彼らに常に奉仕しているのです。彼らは所有物の絶対的な主人であり、決して奴隸などではありません。

しかしこの地球世界の貨幣経済の機構の中では、我々はいやでもその経済機構や、ひいては自分達の所有物の奴隸とならざるを得ないわけです。この点が他の進んだ惑星の社会と地球社会の間に存在する最も大きな違いの一つです。

（訳注）以上の説明によれば、進歩した惑星は貨幣のない完全な共有財産制であることがわかるが、これは地球の共産主義とは根本的に異なることを意味する。地球の共産主義は人間のもうエゴの欲望を温存させて物質的財産のみを権力で共有させようとするためには挫折するけれども、金星人は個人的な欲望をもたぬために天国のような平和な社会に発達したという。したがって共有財産制による平等社会の実現にはまず個人のエゴの消滅が前提となるようだ。

しかし遠い未来には地球社会もエゴの欲望をなくして金星のような共有財産制による天国のような平和な世界に発達すると、訳者はある方面から聞いている。したがつて地球が破滅することもあり得ないと思われる。

また金星には惑星社会と呼ばれる一

盛況!秋田支部大会

1996年6月8日／秋田パークホテル



このたび第六回日本GAP秋田支部大会を開催し、大盛況裡に終了することができまして、ご参加下さった四名の方々に衷心より御礼を申し上げます。久保田先生におかれましては多忙な中をご来秋の上、高遠なるご講演をいただきましてまことに有難うございました。また東京より加藤純一さんを始めとする黎明会の皆様の応援をいただき、心からお礼を申し上げます。

今回の久保田先生のご講演は従来とは多少異なつて、科学的な面と哲学的な面を織り交ぜた広範多岐にわたる興味深い深遠なお話でした。UFO問題ではアポロ計画のエピソード、ロズウェル事件の真相その他が展開し、哲学面では転生の法則をアダムスキーワー夫妻の実例で説かれ、宇宙的な生き方として大宇宙思念法の重要性とその実習に

いただきました。また東京より加藤純一さんを始めとする黎明会の皆様の応援をいただき、心からお礼を申し上げます。

大会後の大食会では楽しく談笑する中を民謡の大家である副支部代表の佐藤春雄氏の素晴らしい歌声に拍手喝采が鳴りやまず、続いて福引き大会で大いに盛り上がり、閉会となり、その後二次会でカラオケ大会を開いて一同歌いまくりました。

翌日は快晴下でマイクロバスを利用して鳥海山の由利原高原へ観光に行き、ここで観測を開始しました。ところ、早速田村勝利氏と松岡圭一氏がUFOを目撃して一同氣をよくしました。今回の秋田支部大会は

ついて指導がなされました。ビデオで映写されたワシントン市のアダムスキーワーク大会後のニューヨーク上空を飛ぶUFOには本当に感動しました。異星人は常に久保田先生をマークしているのだなと感じたしだいです。

大会後の大食会では楽しく談笑する中を民謡の大家である副支部代表の佐藤春雄氏の素晴らしい歌声に拍手喝采が鳴りやまず、続いて福引き大会で大いに盛り上がり、閉会となり、その後二次会でカラオケ大会を開いて一同歌いまくりました。

早いもので今回の秋田支部大会は二年間の第六回目になるが、いつ来ても市は清楚なストイックな感じがして東京のような猥雑さがない。これは他の東北の街々も同じである。快適な会場での講演では少ししゃべり過ぎた感があるが、まあいいだろう。素晴らしい大会だった。支部の方々に深謝したい。

夜の大食会では民謡の大家・佐藤春雄氏と津軽三味線の名手・佐藤裕二氏の名演に場内は感動の嵐が渦巻いた。

かつてないほどに大成功裡に終了して、これもひとえにご参加いただいた皆様のおかげであると、支部一同心から感謝しております。再来年にまた大会を開催しますので、その節はよろしくお願い致します。支部代表・伊藤正治

※

涙で聴く人々を前にしたこの大熱演にワーズワースの「Sailor (水夫)」と題する詩を思い出す。誰も人生の大海上で孤立してはいないのだ。
翌日は快晴に恵まれて観光。鳥海山の標高五〇〇メートルの由利原高原で田村、松岡の両君がUFOを目撃したという。良かつたね！ 久保田八郎



UFO contacteeバックナンバー主要記事

★在庫は101号105号以降全部(100号以前と102, 103, 104号品切れ絶版)。96年4月よりバックナンバーのみ1冊¥700に値下げ断行。代金後払い可。ハガキに号数、冊数、住所、氏名、電話番号を明記して日本GAP宛気軽にご注文下さい。バックナンバーの送料は本会でサービス。

No.133

1996年(平成8年)4月25日発行 ¥700

- | | |
|----------------------------|---------|
| 月は異星人の基地だった | 久保田八郎 |
| 私の宇宙哲学実践とUFO目撃 | 加藤純一 |
| 懷疑論者から支持者に転向 | J・ローリーノ |
| アダムスキー・哲学と波動感知法 | 林 国宣 |
| 創造のための宇宙哲学 | 佐藤 彰 |
| 宇宙の夢とUFO目撃 | 吉川美香 |
| カルナの意味 | 林寺正俊 |
| 東京大地震は近未来に発生しない | 秋山眞人 |
| 肉体を超えて大宇宙と一体化する方法—G・アダムスキー | |

No.132

1996年(平成8年)1月25日発行 ¥700

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 別な惑星の文明と創造性 | 秋山眞人 |
| イエスの時代を透視する | 遠藤昭則 |
| 奇跡を起こすイメージ療法 | 原 永倉 |
| 宇宙船の形態に関する一考察 | 遠藤昭則 |
| アダムスキーの思い出と彼の宇宙哲学—アリス・ポマロイ好評、名古屋市の講演 | アリス・ポマロイ |
| 東京造形大学で講演 | |

No.131

1995年(平成7年)10月25日発行 ¥700

- | | |
|----------------------------------|-------|
| アダムスキー問題と日本GAP | 久保田八郎 |
| ワシントン、ニューヨーク両市でUFOがひんぱんに出現!—加藤淳一 | 加藤淳一 |
| 私もワシントン市でUFOを見た! | 清水 正 |
| カイバーベルトはアダムスキーの主張を立証するか—植木淳一 | 植木淳一 |
| アダムスキー大会を思う—岡田茂/西川太/大根田匡史/加藤路徳 | 岡田茂 |
| 熱烈な呼びかけに応えたUFO | 石井一江 |
| 私のUFO目撃と宇宙的な生き方 | 忍田裕昭 |
| 宇宙時代の夜明け | 村上博一 |
| 人間の実体・意識・テレパシー原理—G・アダムスキー | |

No.130

1995年(平成7年)7月25日発行 ¥700

- | | |
|--------------------|----------|
| M氏の「UFOと異星人」体験 | 久保田八郎 |
| アダムスキー型UFOの飛行原理を解明 | 遠藤昭則 |
| 超能力者ティナの驚異的パワー | 久保田八郎 |
| 異星人女性との出会い | 佐々木八郎 |
| スペースピープルを見かける私 | 原垣内良子 |
| 透視・臨死体験・不思議な女性 | 千葉福造 |
| 白山のUFO | 沼倉孝彦 |
| 父と從兄が「UFO」目撃 | 高橋克彦 |
| 人間の実体・意識・テレパシー原理 | G・アダムスキー |

No.129

1995年(平成7年)4月25日発行 ¥700

- | | |
|--------------------|----------|
| 地獄の大地震からの奇跡の脱出 | 平塚和義 |
| 大地震を前夜予感した私 | 西村悠子 |
| 偉大な教訓となった大地震 | 田辺健司 |
| ロスで見かけた異星人女性 | 加藤純一 |
| アダムスキーの大穴を訪れて | 黎明会明会 |
| 巨大母船、安比高原に出現! | 秋山和広 |
| サイコメトリーによる書物の質の感知法 | 林 国宣 |
| UFOの速度・肉体と魂。 | |
| 真の科学・長寿法 | G・アダムスキー |

No.128

1995年(平成7年)1月25日発行 ¥700

- | | |
|-----------------|-----------|
| アダムスキー・永遠の真実と栄光 | ダニエル・ロス |
| わが母の驚異のUFO目撃 | ミシェル・ジルガー |
| 総会の日にUFO出現 | |
| 那須高原で巨大母船出現! | 堀江健一 |
| ダニエル・ロス氏宅訪問記 | 久保田八郎 |
| あなたもオーラが見える | 遠藤昭則 |
| 予知能力を持つ土星人女性の援助 | G・アダムスキー |

No.127

平成6年10月25日発行 ¥700

- | | |
|-----------------|----------|
| UFO出現の国—メキシコ | 久保田八郎 |
| ロズウェル事件とMJ12文書 | 坂本寅一 |
| UFO目撃と不思議体験の旅 | 4名執筆 |
| 私もアダムスキー型円盤を見た! | 田口邦雄 |
| UFOとオーラと想念 | 山崎和子 |
| 奇跡的に難病を治す方法 | 久保田八郎 |
| 異星人とUFOの真相(2) | G・アダムスキー |

No.126

平成6年7月25日発行 ¥700

- | | |
|-------------------|----------|
| 驚異の瞬間移動とUFOの超低空降下 | 久保田八郎 |
| UFOを頻繁に見る私のカルマ(2) | 溜池みゆき |
| 私も母船を見た! | 津田篤孝 |
| ムー大陸から見た原日本人 | 澤入達男 |
| 昔のUFO目撃の思い出 | 橋本恵一 |
| 異星人とUFOの真相(1) | G・アダムスキー |

No.125

平成6年4月25日発行 ¥700

- | | |
|---------------------|----------|
| UFO、デザートセンター上空を飛ぶ | 久保田八郎 |
| 私はアダムスキー型円盤を至近距離で見た | 大野義和 |
| UFOを頻繁に見る私のカルマ | 溜池みゆき |
| 不思議な予知透視 | 米川宣雄 |
| 突然出現した不思議な人間 | 千葉敏江 |
| 生命と物質と超能力 | 伊藤睦史 |
| 異星人はなぜ地球へ来るのか | G・アダムスキー |

No.124

平成6年1月25日発行 ¥700

- | | |
|--------------------------|------------|
| 信念の力、希望の力、絶対に諦めない力を起こす方法 | 久保田八郎 |
| 今世紀末、大変動発生なし! | 秋山眞人 |
| 私を助けてくれる異星人達 | 上原則子 |
| アダムスキー型円盤、長時間出現 | 石井佳子 |
| 浅草上空に出現したUFO | 堀江健一 |
| UFO・宇宙・人間 | - G・アダムスキー |

No.123

平成5年10月25日発行 ¥700

- | | |
|-------------------|----------|
| 凄い超能力者のUFO目撃と遠隔透視 | 編集部 |
| 私を助けてくれる異星人(1) | 上原則子 |
| 山梨県に出現した巨大UFO | 編集部 |
| エゼキエルはUFOを見た? | 久保田八郎 |
| 私はアダムスキー型円盤を見た | 海瀬宏子 |
| UFOと異星人の実態 | G・アダムスキー |
| 謎の古代マヤ遺跡とUFO | 久保田八郎 |

No.122

平成5年7月25日発行 ¥700

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 金星文字を解説してUFOの推進原理を解明! | パシル・パン・デン・バーグ |
| 星々への切符 | 遠藤昭則 |
| オメ教授が発見した金星?文字 | 久保田八郎 |
| 不思議な体験連続の人生 | 千葉福造 |
| オーラで異星人を見分ける | 紙屋光孝 |
| 私だけが見る UFO | 須山有美子/宮本浩子 |
| 万物は人間の想念に感應する | 塩谷信男 |
| 四感・生命の息・転生 | G・アダムスキー |

日本GAP創立35周年記念 1996 GAP-JAPAN GENERAL ASSEMBLY

1996年度 日本GAP総会開催

全国の日本GAP会員の皆様ご待望の総会を今年も下記の要領で開催致します。今回は日本GAPに対する古くからの支持者で久保田会長の導師である医学博士・塩谷信男先生をご招待して超健康法の秘訣をお話し頂きます。先生は今年95歳になられますですが、いまだにゴルフをなさる驚異的な体力の持ち主であらせられ、宇宙的な哲学の実践によって不思議な奇跡を起こしておられます。めったにないこの機会をお見逃しなく、多数ご出席下さい。

日本GAP本部役員幹事 加藤純一

機械振興会館
(左は東京タワー)



講演

医学博士

塩谷信男先生

「大宇宙の無限の力による長寿健康法」

日本GAP総会 (予約不要)

- 日 時=9月22日（2日連休の初日）12時受付開始／1:00開会
- 会 場=機械振興会館 地下2階大ホール
東京都港区芝公園 東京タワー前（芝公園は本物の公園ではなく、単なる地名）
- 交 通=都内JR山の手線電車で浜松町駅下車（東京駅より3つ目）。降りたホームを有楽町方向（東京駅方向）の端まで歩き、階段を降りると同駅の北口へ出る（注意=この駅から羽田空港へ行く大勢の人と同じホームの昇り階段を登るが、これにつられて一緒に登らないように）。改札を出て駅隣の超高層「貿易センタービル」の正面まで数10メートル行くと東京タワー行きバス停がある。タワーまで約8分。料金￥200。貿易センタービル手前横にはタクシー乗り場もあり、タワーまで約5分。料金￥650。徒歩約20分。タワー前の道路をへだてた斜め向かいに機械振興会館がある。休日は正面玄関が閉じられているので、右へ回って右側面入口から入り、エレベーターで地下2階で降りてすぐそこ。
- 会 費=￥4500 中高生￥2000 小学生以下は無料。受付で納入。

—プログラム—

- | | | |
|------|-------------------------|--------|
| 1:00 | 会長挨拶 | 久保田八郎 |
| 1:10 | 講演「大宇宙の無限の力による長寿健康法」 | 塩谷信男先生 |
| 3:10 | 休憩 | |
| 3:25 | 質疑応答 | 塩谷信男先生 |
| 3:35 | 米アダムスキー関係、ロドファー円盤等の映画上映 | |
| 5:00 | 閉会 | |

*ご注意=総会中のストロボ付カメラ、ビデオカメラ等による撮影、テープレコーダーによる録音は自由ですが、講演その他の発言内容の著作権は日本GAPに帰属しますから、個人または日本GAP以外の他の団体が印刷使用することはできません。
◎主催者に無断で印刷物を会場で配布することは厳禁します。

予約申込

- (1) 大夕食会=ハガキに「総会後の大夕食会出席予約」と書いて住所・氏名・電話番号を明記の上、9月20日までに（必着）日本GAP宛お申込み下さい。
- (2) ホテル=ハガキに「日本GAP総会ホテル予約」と書いて氏名・住所・電話番号・宿泊日・シングル/ツインの別を明記し、9月5日までに下記へ（締切り厳守）お申込み下さい。
(注意=日本GAP宛ではありません)
〒150 東京都渋谷区神宮前3-22-9
満月ビル 3F
スバルツーリスト 小林様（宛）
※宿泊費は各自ホテルで支払って下さい。
- (3) 観光=ハガキに「観光参加希望」と書いて、住所・氏名電話番号・希望コースを明記の上、9月20日までに（必着）日本GAP宛お送り下さい。
観光コースについては右の欄を参考のこと。



大夕食会 (要予約)

- 日 時=総会終了後 6:00→8:00（時間厳守）
 - 会 場=機械振興会館 6階65+66号室大ホール
 - 受 付=入場受付5:30
 - 会 費=￥7,500会場受付で納入（中高生割引なし。小学生以下は保護者同伴で無料）飲物（ビール・酒・ウィスキー・ソフトドリンク等）は飲み放題。
 - プログラム=6:00開会、会長挨拶。乾杯（音頭は大阪支部代表・平塚和義氏）、食事、歓談
- *ご注意=大夕食会は立食形式のため自由に移動可能。愉快に歓談して楽しくすごして下さい。ただし塩谷先生に質問することは一切ご遠慮下さい。出席者はある程度きちんとした服装をお願いします。椅子は多数あります。
- 2次会=8:30→10:30 会費￥3,000程度。多少の変動をお含みあさ下さい。会場は銀座8丁目のギンザナイン地下「天狗」奥座敷。希望者はタワー前からタクシーで「新橋の土橋（どばし）交番前」と告げて直行すれば早いし数人でワリカンで乗れば安くできます。タクシー料金￥800。

ホテル (要予約)

- ホテル=銀座キャピタルホテル（昨年と同じ）
〒104 東京都中央区築地（つきじ）3-1-5
☎03-3543-8211
 - 料 金=シングル ￥7,500（朝食・サービス料込み・税別）
ツイン ￥15,000（同）
(—昨年度より約￥3000 安くなりました！現在、シングル60室、ツイン10室を確保)
- *ご注意=ホテルは団体予約なので必ずスバルツーリストへお申込み下さい。

都内観光 (要予約)

- 日 時=9月23日（連休2日目）雨天決行
- コース=今回は観光コースを3種類に分けるので、各自希望するコースに参加して下さい。交通は電車利用の団体行動。観光申込みハガキに希望コースを明記して下さい。
- Aコース=都心方面。東京駅→皇居前→日本橋→銀座で自由行動（デパートで買物その他）→東京駅。
- Bコース=横浜方面。東京駅→横浜ランドマークタワー→山下公園等。
- Cコース=上野方面。東京駅→上野公園→上野動物園→アメヤ横丁等。

Letters

理想を実現する力

伊豆支部代表 高梨十光

久保田先生、いつもありがとうございます。先生にはますますご健在のこと、お喜び申し上げます。壮健をしのぐ激励たるご活躍ぶりに感嘆申し上げる次第です。

先般は「意識の声」をお贈り下さい、ありがとうございました。ご厚情に感謝申しあげます。「意識の声」の意と力溢れる文章を拝読するたびに意欲づけられます。「意識の声」ばかりでなく、久保田先生のご書簡やご講演にはいつも希望が溢れていて、次の体力と気力が沸き起こつてくるのを感じます。

大体において、天才的な久保田先生の最も魅力的な個性のひとつは、「理想的イメージを描いて未来を創造する」という壮大大胆なる法則を、終止一貫主張されて実践されている点があります。久保田先生の宇宙的なパワーがほとばしるような今後の内容をご期待申し上げます。

また久保田先生の著書「UFO」と「宇宙哲学の行方」にはじめ、アダムスキーフィー氏、スペー・ブレザーズの思想はもとより、久保田先生の「理想を実現する」力

投稿歓迎字数を問わず、匿名発表可なるも住所氏名明記のこと。

久保田先生にはどうぞ今後とも御身大切に、いつまでもご健在でいらっしゃれますようお祈り申し上げます。

(編注)「意識の声」というのは日本GAP維持会員のみに久保田会長が毎月贈つてあるエッセイの小冊子。

これには会長のふだんの行動、宇宙哲學的思索、秘話、能力開発法、良書紹介、会の動向と行事速報等、ユーロン誌に掲載されないめずらしい記事が満載してある。維持会員に入会希望者は日本GAP宛にハガキで申し込まれれば案内書が送られる)

充実した大阪支部で研鑽

福井県 津田朝美

新緑の風薫る季節となりました。先生には益々御健勝のことと御慶び申し上げます。

先頃は素晴らしい内容のユーロン誌一三三号を御送り下さいまして誠にありがとうございました。私は大阪支部の平塚氏のもとでセミナーへ出席させていただいて一年を過ぎたところですが、支部の充実した内容と、すばらしい会員の方々との交流ができます、出席するたびに心身と

遅れていの日本

北海道 大寺 勉

地球人は宇宙へ出ることによって真に宇宙の理にかなう生活ができるのではないかと考えております。

地球上の精神性は高まってきているものと思います。戦争をおこすことが戦争犯罪となり、経済、政治面で統一されております。

先般、図書券を送つていただきたいながら、お礼が遅れてすみません。

有難く使わせて貰います。誠にありがとうございました。

私が先程気づいたのですが、まだ

やりを持つことは良いことだと思います。

超高度に進化した別な惑星の文明とかG・アダムスキーフィー哲學にこだわることは自分にとっても地球社会にとっても良いことだと思います。

ます。宇宙生活を考えているのをみますと、日本はどうも意識が低いと

思います。欧米に比べると宇宙については全く一九世紀の西洋科学です。

去年の一月に初めてアダムスキーフィーを読んで初めて意識と心の違いがわかったという次第です。意識に自分の心を從わせることがわかつたとき、ふだん道を歩きながら眺めている花や草が目の前に飛び込んで見えて、まるで「私達もこうして一生懸命に生きているんですよ」という草花の声が聞こえてくるかのよ

うでした。輝くばかりに美しく生き生きと見える草花に、きっとこのと

き私は心の目ではなく意識の目で見ていたということになるでしょう。

そして次に聞こえてきた声は「人間だけがわがものの顔で生きていますが、私達もこうして精神一杯に生きてい

いるんです。そのことを忘れないで下さい」というものでした。恥ずかしながら私はやつとアダムスキーフィーの宇宙哲學の意味がわかつたという次第です。有難うございました。

先生、お元気でいらっしゃいますか。アスパラガスを少しお送り致します。お召し上がり下さいませ。

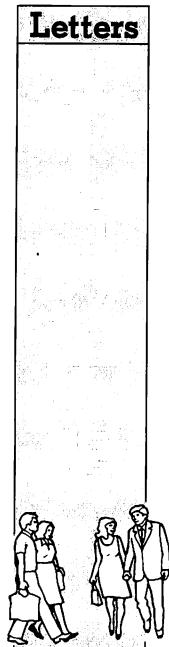
今年はブルックナー没後一〇〇年

ということで、特集記事や演奏会も

多く、時間が許せば先生としまして

は、かけつけたくなるような九年六六年のクラシック音楽界の状況です。

私は今のところピアノ曲中心です



もりにフレッシュしております。
今後も久保田先生の御指導のもと、
先輩会員の方々とともに宇宙哲学、
生命の科学を学び、近く到来する二
一世紀に向けて、宇宙時代に目覚め
た人間になれるよう頑張りたいと思
います。

現在は対処しにくい危機の時代だ
と思います。だからこそ日本GAP
の活動と久保田先生の存在は大いな
るものだと確信しております。
今日は万物の創造主様からいただ
いた日本海の幸(若狭カレイ)を御
賞味いただきました。わずかですが
贈らせていただきました。久保田先
生もお体を大切にして下さい。そし
て今後ともどうぞよろしく御指導下
さいますようお願い致します。

(編注)福来友吉博士は昔の東大教
授。超能力の科学的研究の大先駆者。
心の中で何かのイメージを描きながら
らその想念波を写真の未使用ネガフ
イルムに放射するとイメージどおり
の写真が写るのを『念写』というが、
実験で念写が事実であることを証明
したのに、物理学の法則から逸脱し
ていると他の学者やマスコミから猛
烈に非難されて大学を追わられ、仙台
で不運の生涯を終えた人)

二世紀にはほど遠い状態です。福
来博士の名譽を挽回できるのは、い
うことやらず考えます。マスコミ
に踊らされない真実があるものと思
います。どうぞこれからもよろしく
お願い致します。

去年の一月に初めてアダムスキーフ
ィーを読んで初めて意識と心の

違いがわかったという次第です。意
識に自分の心を従わせることがわか
ったとき、ふだん道を歩きながら眺
めている花や草が目の前に飛び込ん
で見えて、まるで「私達もこうして

一生懸命に生きているんですよ」と
いう草花の声が聞こえてくるかのよ
うでした。輝くばかりに美しく生き
生きと見える草花に、きっとこのと
き私は心の目ではなく意識の目で見
ていたということになるでしょう。

そして次に聞こえてきた声は「人
間だけがわがものの顔で生きています
が、私達もこうして精神一杯に生き
ているんです。そのことを忘れないで
下さい」というものでした。恥ずか
しながら私はやつとアダムスキーフ
ィーの宇宙哲學の意味がわかつたという
次第です。有難うございました。

先生、お元気でいらっしゃいます
か。アスパラガスを少しお送り致
ます。お召し上がり下さいませ。

今年はブルックナー没後一〇〇年

ということで、特集記事や演奏会も

多く、時間が許せば先生としまして

は、かけつけたくなるような九年六
六年のクラシック音楽界の状況です。

私は今のところピアノ曲中心です

実感致しております。

意識と心の相違に気づく

東京都 早川真智子

が、もちろん交響曲も聴いていくつもりです。家にいるときはいつもFMラジオ(CDも)からクラシックをBGMとして流しています。聴く気で聴いているときも多いのですが、でもしょっちゅう聴覚と心を「人工的」な音で満たしていることは、あまり好ましいことではないかもしないと思っています。先生のご意見をお聞かせ下さい。

お答え

音楽は人間の心を慰めて平安をもたらし、悲痛な感情を消失させて生氣を復活させる妙薬です。したがって誰しも西洋音楽にこだわる必要はない、自分の好みの音楽なら何を愛好してもよいでしょう。日本の俗謡でも演歌でもいつこうにかまいません。沈んでいた心が明るくなればそれでよいのです。他人に憎悪の想念を放射し続けるよりも音楽で平穏な明るい心を持ち続けるならば、そのほうがはるかに良いでしょう。

しかし酒と同様、度を越せば良くないでしょうが、たまに酔く程度、ならば一向に差し支えないどころか、荒れた心をしずめる良薬になります。昔から「音楽を好む人は悪い人ではない」と言われています。美しい音楽を聴いて心が平安になるならば、下手な説教を聞くよりもはるかに良いことです。

超常現象番組の制作への提言

東京都 浜田敏博

昨年は某教団事件の影響もあってか、いわゆる超常現象番組はほとんど影をひそめていたようですが、九六年になつてふたたび超能力やUFOの特別番組がちらほらと見られる

ようになりました。

私は超常現象などに関心を持つ視聴者なのですが、そうした番組を組むに、その番組の企画・制作にあたる方々に申し述べたいことがあります。特に「透視」について述べます。

（たとえばO教授）が、何か文字を書いた紙をおりたたんで、テープでくるんでクリッピング箱のようなものの中に入れて、超能力者がそれを手探りで読み取るような実験をされていました。

しかしこのとき、番組制作にあたった方々が超能力者が紙に書かれた文字を手ざぐりで当てる場合があるといって、それを「手あるいは

指」で読み取っていると考えることは、全くの唯物的発想というかナセンスだと思います。

私が考えるには、超能力者は答えるを当てるとき、その文字なり图形なりのイメージが頭の中のキャンバスに浮かんてくると述べているのですから、これはいわゆるテレビジョン現象だと思います。

それでは、テレビジョンとはどういう現象を指しているかといえば、例えば自分の思いが相手に伝わることを指していると思います。

ただしこの場合、O教授が言うようないふたつの現象を超能力者が読み取つていています。一つは情報伝達による現象ではなくて、あくまでもエネルギー伝達型の現象を指して述べています。

そうすると、例えO教授が紙に書いた文字を超能力者が読み取つているとき能者は手ざぐりをしてい

い』あるいは『考へてること』を、

そうとは自分でも気づかず読み取ろうとしているのですから、O教授が例え、「彼女は当つてることがで

きるだろうか」などと、答えとは違う全ての雑念を放つていて、能力者のほうも雑念しか読み取ることができず、その結果、失敗に終わるのだと思います。

そこで必要なことは、文字を書いた人にその文字を頭の中で思つてもううこと、あるいは実験準備終了後、別室に入つてもらい、モニターを見ながら壁にでもその答えを書いてらつて、その答え（文字や記号）をじつと見続けてもらうことを条件とするべきでしょう。

そうなれば、実験は否定論者の目前でも成功することが予想されます

が、大切なことは、透視とはいわゆるテレビジョン現象であり、テレビジョン現象の「想い」が相手の被

験者にエネルギー伝達現象として伝わる現象である、ということを念頭においた上で、実験の計画・制作をして頂きたいということです。

- (1) 現在までの出席人数
一月五、九六年一月八、二月七、三月十一、四月六。
- (2) 支部でのイベント
今年の四月七日に福山市の春日池

公園でUFO観測会を実施するも、雨のため参加者三名。ほとんど中止状態なるも強行。

(3) 支部でのイベント

福山支部では久保田先生を福山にお招きすべく、今年の三月より「久保田先生を福山にお招きしよう！」と題する基金を作り、支部内に展開

中。来年五月二五日に第一回支部大会を開催の予定。

(4) 総会に参加しよう運動
今年も福山支部は秋の東京総会に参加すべく団体旅行参加者を募つて

いる。九月に先生とお会いできることを一同楽しみにしている。

以上です。なんとか頑張つていままでの安心下さい。



▼福山支部1996年1月月例セミナー。

素晴らしい会合へどうぞ！ 「日本GAP東京月例セミナー」

日本GAP東京本部は下記の要領で毎月月例セミナーを開催しています。久保田会長の「生命の科学」解説講義を主体に会員の講演・テレパシー練習・質疑応答などで、きわめて高次元な宇宙の雰囲気に満ちた素晴らしい研究会にご参加下さい。ビデオ映写します。GAP会員外の方でも参加できますのでお気軽にしてください。

日時 每月第1曜日午後1時～5時。
参加費 ¥2,500(終了後別な場所で夕食会。実費)
会場 都内各区東京タワー前「機械振興会館」6階67号室(本年5月より地下3階から部屋を変更)。詳細は本誌巻末「月例セミナー案内」の東京本部の欄をご参照下さい。

そうすると、例えO教授が紙に書いた文字を超能力者が読み取つていています。能者は手ざぐりをしていて

George Adamski 新アダムスキー全集

ジョージ・アダムスキー=著／久保田八郎=訳

全面改訂・改訳／全10巻／各 四六判



超絶した文明を持つ、太陽系の他の惑星群の人々とコンタクトしたアダムスキーを米政府機関は密かにマークしていた！UFOや惑星群の驚異的実態と深遠な宇宙思想を伝える本全集は、地球人類に宇宙的覚醒の必要性と真の生き方を示す永遠の古典。UFOと宇宙哲学の研究者にとって必読の名著。旧全集を全面改訂した最新決定版。世界に類書なき金字塔！

① 第2惑星からの地球訪問者 ●352頁●定価=1,980円

UFO研究家として世界的に著名なジョージ・アダムスキーの、1952年11月20日、米カリフォルニア州の砂漠に着陸した円盤から出てきた金星人ととの会見から始まる驚異的なコンタクト実録。著者自ら円盤や母船に乗り込み、他の惑星の超絶的大文明の実態を明かにする。本全集の中心の書。写真多数収録。

② 超能力開発法 (テレパシー、遠隔透視その他) ●192頁●定価=1,300円

世間に氾濫する通俗的な超能力開発法とは根本から異なる宇宙的能力の発現法を説いたもの。目、耳、鼻、口、の四官をコントロールして、肉体内部の宇宙の意識から来るメッセージを感じ、真の意味でのテレパシー、遠隔透視その他の超能力を身につける方法を具体的に詳述。類書皆無の重要文献。

③ 21世紀／生命の科学 ●208頁●定価=1,300円

アダムスキーが他界する前年に出した12冊分の講座を一冊にまとめたもの。アダムスキー宇宙哲学の総括的な一大金字塔。特に人体細胞の実態と真実のテレパシー、及び霊界通信の誤り等を科学的に解説した超能力開発指揮書。心電現象への接近を警告する画期的な理論を明快に説く、第5巻の続編として必読のテキスト。

④ UFO問答100 ●216頁●定価=1,300円

1958年にアダムスキーは、世界中から来る質問の洪流を分類して質疑応答集を出した。全部で100問のUFO関係の質問に懇切な回答を与えている。現在の混迷した世界のUFO研究界に的確な示唆と回答を示すものとして、内容は今も驚くほど新鮮で有用である。UFO研究者の素晴らしいガイドブック。

⑤ 金星・土星探訪記 ●380頁●定価=2,400円

アダムスキーが大母船に乗せられて、想像を絶する進歩をとげた金星と木星を訪れた体験記。特に金星人の少女として生まれかわった亡き妻メリーとの劇的な対面が圧巻。第2部には1958年以来、日本におけるアダムスキーの代理人として啓蒙活動に専念している久保田八郎宛の多数の書簡を収録。

⑥ UFOの謎 ●262頁●定価=1,980円

UFOの推進原理をはじめ、聖書とUFOとの関連などを詳述して様々なミステリーを解明した重要な文献。第2部はアダムスキーの世界講演旅行記で、各国GAP網の活動状況が明確に描寫されていて1960年代のUFO研究界の実情と一般人の宇宙観がよく理解できる。第1巻の続編。

⑦ 21世紀の宇宙哲学 ●148頁●定価=1,030円

地球上が眞に宇宙的な成長をとげるための基本的思想として、マインド（心）と肉体内部に宿る宇宙の意識との一体化を説いた書。既成のあらゆる宗教や哲学では理解し得なかつた人間の意識と万物との関係を説いて21世紀の思想を先取りした。第5巻、6巻と合わせてアダムスキー哲学の三部作をなす。

⑧ UFO・人間・宇宙 ●370頁●定価=2,400円

アダムスキー支持活動団体として世界のトップクラスをゆく日本GAPの機関誌に掲載された、アダムスキーのUFOと宇宙哲学関係の論文、講演録等を編集。他界する直前の最後の講演が圧巻。第2部には訳者・久保田八郎が再三渡米してアダムスキーの今は生き高弟たちと接したインタビュー記事を収録。

⑨ UFOの真相 ●320頁●定価=1,980円

アダムスキーの熏陶を受けた人々の論説、講演録等を収録。宇宙的実像と人間味豊かな庶民性をあわせもつ偉人の素顔を多角的に描写。アダムスキー氏の高弟アリス・ボマロイ、キース・フリットクロフト、ハンス・ピーターセン、金星文字を解説して画期的な永久モーターを開発したバジル・バン・デン・バーグらの証言が白眉。「サンビエトロ大寺院の異星人」と題する久保田八郎の体験記も興味深い。

⑩ 超人ジョージ・アダムスキー ●232頁●定価=1,300円

膨大な新アダムスキー全集の最後をしめくくる完結篇。アダムスキーの宇宙的な活動と深遠な哲学を集約して伝えるとともに、彼の伝記をも加えてこの巨人の人間像を克明に描写。これ一冊でアダムスキー問題の何たるかが理解できる全集のコンパクト版。豊富な写真入り。国際的なアダムスキー研究家・久保田八郎が書き下ろし執筆。

別巻 UFO-宇宙からの完全な証拠 ●480頁●定価=2,800円

ダニエル・ロス=著／久保田八郎=訳

アメリカの気鋭UFO研究家ダニエル・ロス氏が全力で展開したUFO問題の真相。月・惑星探査結果に関するNASA（米航空宇宙局）の隠蔽工作を暴露し、アダムスキーの体験の真実性を科学的に実証した画期的な内容の本書は、UFOの研究者のみならず、宇宙科学に关心ある人にきわめて有益な知識情報の源泉となる。写真多枚掲載。



中央アート出版社

〒104 東京都中央区京橋3-7-13

TEL=03-3561-7017 / 郵便振替=00180-5-66324

*新アダムスキー全集全巻をまとめてご注文頂きますと定価の10%引き+送料がサービスとなります。

*定価は、全て税込みです。

UFOと宇宙哲学の行方(ゆくえ)

●久保田八郎著 定価1650円 送料310円 四六判・288頁

本書はわが国UFO研究界の第一人者・久保田八郎が「UFO contactee」に長年にわたって掲載してきた記事や講演から選りすぐって編纂したもので、UFO問題とアダムスキーフィロソフィーに関する著者の研究の集大成ともいえる内容になっています。2部構成になっている本書は、まず第1部でUFOと異星人に関する様々な問題について著者の見解を示し、続いて第2部では、アダムスキーフィロソフィーを人生に生かしたり、難病の治療に応用する実践法を明らかにしていきます。UFOを研究する人のガイドブックとしても最適の書です。



UFOと異星人の真相

●久保田八郎著 定価1650円 送料310円

四六判・256頁



UFO研究の第一人者・久保田八郎が書き下ろした本書は、別な惑星へ行ってきた青年の驚異の体験をもとにUFOの内部の様子や作動原理、異星人の文明の実態等を明らかにしていきます。加えて超能力等の問題や、氾濫するUFO関連情報の真偽にも迫るUFOを研究する人の必携の書です。

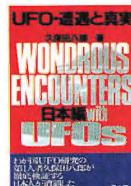
※上記の書籍は日本GAPでも取扱います。著者の署名捺印入り。

ハガキでご注文下されば代金後払いで直送します。

UFO・遭遇と真実—日本編—

●久保田八郎著 定価1500円 送料310円

四六判・264頁



日本で発生した驚異的なUFO事件を8件選び、わが国UFO研究界の第一人者・久保田八郎が書き下ろして読みやすく編纂した本書は、実証主義をつらぬく著者が徹底的に調査した結果、真実そのものであると確認した事件のみを流麗な筆致で活写。読者を大気圏外の世界へ誘います。



中央アート出版社

〒104 東京都中央区京橋3-7-13

TEL=03-3561-7017 郵便振替=00180-5-66324

英文版「UFO contactee」No.11 日本GAP

B5版／12頁／コート紙使用／¥500 送料¥190／5冊まで¥270／6冊以上¥390 (NO. 1~3は品切れ)

日本GAP発行英文版「UFO contactee」誌は、たんなる興味本位や獣奇趣味を排した理想主義的なUFO専門誌として、世界のUFO研究団体や個人研究家から絶賛をあびています。多数のUFO専門誌はオバケ宇宙人、誘拐事件、その他恐怖心をあおるような記事に終始していますが、日本GAPは日本語版、英文版とも地球世界の未来に大いなる希望をもち、人間の無限の可能性を引き出すための指針に満ちた記事を満載しています。英文版第11号には1994年度総会におけるミシェル・ジルガーフィルの英語講演の全文を主体に、きわめて有益な記事と写真を充実した英文で掲載。ご注文は代金後払いで結構です。



細
集
後
記
888

日本GAP専門誌・季刊	UFO contactee	編集発行人	久保田八郎	134号	秋季号
元	千葉県柏市	〒299-0001	日本	03-3661-121A	日本
一九九六年七月二五日発行	振替	03-3661-121A	久	10958511	久
※本誌掲載の全記事・写真共、他の印刷物への無断引用転載を禁じます。	定価九二七円(本体九〇〇円・送料二四〇円)	(00140-2-35912)	久	10958511	久

●本誌掲載のUFO写真類を無断で複写して使用すれば違法行為ですからご注意下さい。

●UFOの目撃報告、UFO写真、超能力開発体験、宇宙哲学研究実践体験、宇宙科学等の原稿や資料等を募集しています。掲載分には感謝を呈します。

●本誌は多数のボランティアにより全国の主要書店に直販で卸されています。この活動に参加希望の方はハガキでお申込み下さい。説明書をお送りします。

●和のための警察官を自負しているようですが、UFOのごとき重大問題の真相を簡単に洩らすわけはありませんが、本号では海外から殺到する最新の資料をもとに可能な限りの探索を試みました。その成果が「米政府が隠すUFO問題の驚異的真相」です。それにしてもUFO問題の驚異的問題は、遠からず権威筋から出でてしまう。その兆候はほのかに見えていました。

世界語になるでしょう。アダムスキーフィロソフィー問題は、真実以外の何物でもないという結論は遠からず権威筋から出でてしまう。その兆候はほのかに見えていました。アダムスキーフィロソフィー問題は、英語の重要さと言語としての英語の難解さを身にしみて感じます。しかしやはり英語は一般に出回らない極秘情報類でそれがわかるのです。

●アダムスキーフィロソフィー問題は、真実以外の何物でもないという結論は遠からず権威筋から出でてしまう。その兆候はほのかに見えていました。

世界語になるでしょう。

アダムスキーフィロソフィー問題は、真実以外の何物でもないという結論は遠からず権威筋から出でてしまう。その兆候はほのかに見えていました。

世界語になるでしょう。

日本GAP全国月例セミナー案内

支部名	日 時	会 場	会 費	プログラム・テキスト
東京本部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00 ※8月より毎回UFO関係その他のビデオまたはスライドを映写。 ※9月は総会なるも9月1日に月例セミナー開催。 ※10月の月例セミナー会場は6階66号室に臨時変更。	港区芝公園3丁目5-8「機械振興会館」地下3F第2研究室。 ☎03-3434-8216。JR浜松町駅下車。東京タワーの正面前。 浜松駅から東京タワー行きバスで約8分。 連絡先=日本GAP本部 ☎03-3651-0958 ※日曜日は正面玄関が閉じられているので、右へ回って建物の右側の入口から入る。	会場費 ¥1000 セミナー受講料 ¥1500 計¥2500	1:00→1:30 会員による講演。 1:30→3:00 久保田会長による講義。 テキスト=「生命の科学」 3:10→5:00 超能力開発練習／近況報告／質疑応答。
大阪支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	大阪府吹田市出口町4丁目「吹田市民会館」 ☎388-7351。JRまたは阪急電車吹田駅下車。 連絡先=平塚和義 ☎06-411-2367	¥500	東京月例セミナーにおける久保田会長の講義のビデオまたは録音テープを公開。テキストは上記と同じ。
新潟支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00 ※本年9月の月例セミナーは中止。	新潟市東万代町9「新潟市青年の家」(万代市民会館と同じ建物) ☎025-246-7711。JR新潟駅より徒歩5分。 連絡先=星 富治夫 ☎02579-2-5562	¥500	同上
名古屋支部	毎月第2日曜日 午後1:00→4:30 ※本年9月は1日(日)に臨時変更。	名古屋市中区金山1丁目5番1号「名古屋市民会館」特別会議室。 ☎052-331-2141(代) JR東海・名鉄・地下鉄の金山駅より徒歩5分。 連絡先=林 国宣 ☎0586-45-6468	¥300	同上
山形支部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00 ※日時は変更があるため、毎月事前に柴田宛電話で問い合わせること。	山形県天童市老野森1丁目1-1「天童市中央公民館」 ☎0236-54-1511。天童駅から徒歩10分、タクシー4分。天童市役所の裏側。 連絡先=柴田光明 ☎0233-25-3261	¥500	同上
札幌支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:30 ※日時と会場は不定につき、事前に高野宛問い合わせること。	中央区北一条西13丁目「札幌市教育文化会館」会議室。 ☎011-271-5821 連絡先=高野省志 ☎011-783-6393	¥500	同上
旭川支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	旭川市五条4丁目「旭川ときわ市民ホール」3F 302研修室 ☎0166-23-5577 連絡先=川上三秀 ☎166-61-0044	¥500	同上
沖縄支部	毎月第4日曜日 午後1:00→4:30	宜野湾市嘉数1-6-5早川宅 ☎098-890-1324 連絡先=里 孝人 ☎098-869-9964	¥500	同上
秋田支部	毎月第2日曜日 午後1:00→5:00	秋田市八橋運動公園1-2「中央公民館」趣味の間。 ☎0188-24-5377 連絡先=伊藤正治 ☎0188-62-2831	¥500	同上
横浜支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※7月は移動月例会のため中止。 ※8月から毎月第4日曜日に変更。 ※9月は東京総会のため第3日曜日に変更。	横浜市中区万代町2-4-7「横浜市技能文化会館」 ☎045-681-6551 JR関内駅、地下鉄・伊勢崎長者町駅より徒歩3分。 連絡先=清水 正 ☎03-5995-6038	¥500	同上
茨城支部	毎月第4日曜日 午後1:20→5:00	水戸市梅香1-2みと好文カレッジ小集会室。 ☎029-224-6602。水戸駅北口より徒歩10分。 連絡先=清水勝一 ☎029-273-1903	¥300	同上
長野支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	塩尻市大門7番地「塩尻総合文化センター」第1会議室。 ☎0263-54-1253 連絡先=博田文喜 ☎0264-24-3012	¥500	同上
紀南会	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※日時については事前に松口に問い合わせること。	和歌山県新宮市春日1番35号 「新宮地域職業訓練センター」工業コーナー ☎0735-23-0005 JR新宮駅下車、徒歩5分。新宮市役所隣。 連絡先=松口幸之助 ☎0735-34-0384	¥300	同上
南九州支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	鹿児島市与次郎2-3-1「鹿児島市民文化ホール」 ☎0992-57-8111 連絡先=曾我部勇人 ☎0992-53-2315	¥500	同上
高松支部	毎月第3日曜日 午後1:30→4:30 ※日時は変更があるため事前に電話。	香川県坂出市寿町1-3-5「坂出勤労福祉センター」 ☎0877-46-2463 JR坂出駅より徒歩10分。 連絡先=関 高明 ☎0875-72-2698	¥500	同上
伊豆支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:30 ※日時に変更があるため事前に高梨宛電話。	静岡県三島市一番町20-5「三島市民文化会館」第3会議室。 ☎0559-76-4455 三島駅より徒歩3分。 連絡先=高梨十光 ☎0558-72-7832	¥500	同上
福山支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:00 ※日時は変更があるため事前に電話。	広島県福山市丸の内1-3「びんご荘」 ☎0849-25-3977 福山駅から徒歩3分。 連絡先=糸田(なつめだ) 雅則 ☎0847-52-6306	¥500	同上

※本年7月より仙台支部と栃木支部を廃止。



オーソン肖像写真

1952年11月20日、アダムスキーガー米カリフォルニア州のデザートセンターで会見した金星人を、自撮者の一人アリス・ウェルズ女史が双眼鏡で観察しながら描いたスケッチをもとにして女流画家ガイ・ベツツが油絵に仕上げた絵画の写真。10.5cm×17cm(不許複製転載)

¥1,000 送料¥130



金星のシンボルマーク

中央の眼は万物を見透す宇宙の意識、つまり人体を生かす生命パワーと叡知をあらわし、周囲の4層の放射状ゾーンは人間のマインド(心)の発達状態をあらわしています。人間のマインド(心)は眼・耳・鼻・口の四つから形成されるので4層になっているのです。

¥500 送料¥80



ESPカード〈超能力開発用〉

テレパシー、遠隔透視等の能力開発用としてアメリカのデューク大学で開発されたカード。5種類の图形カードが各5枚ずつあり、計25枚のセット。堅牢な厚紙製。重さ40g、5.7cm×8.9cm。携帯に便利なポケット用。どこでも気軽に練習できます。使用説明書付き。

¥1,500 送料¥130 (2~5個)¥190



テレフォンカード

日本GAP特製テレフォンカードの第8弾。1954年2月15日、イギリスのランカシャー州のコニストンで、当時13歳のスティーヴン・ダービシャー少年が撮影したアダムスキーモードル。詳細は新アダムスキーアルバム「第2惑星からの地球訪問者」40頁に出ています。

¥1,500 送料10枚まで¥80



GAPキークリア

日本GAPガーディアンとして製作したオリジナル・キークリア。シンボルマークの周囲を「WITH COSMIC CONSCIOUSNESS(宇宙の意識とともに)」の金文字が取り巻く優雅なデザイン。円形部分は直径3.2cm。鎖とも全長9cm。非常に堅牢に出来ています。

¥1,900 送料¥130



会員バッジ

金星のシンボルマークが金色に輝く優雅なデザイン。表面の透明樹脂がキズを防ぎ、光を反射してキラキラ輝きます。男性用は裏の留め金が心棒ネジ留め式。女性用は安全ピン式。ご注文の際は、いずれかを明記して下さい。実物の直径は1.7cm。

¥2,000 送料4個まで¥130



ブックカヴァー

主として新アダムスキーアルバム用に作られたカヴァーですが、同じ大きさの四六判の書籍ならどちらにも使用できます。表側の中央にシンボルマークと「宇宙の意識とともに」を意味する英文が金色で箔押しされた濃紺色の優美なデザインです。人造皮革製。

¥1,200 送料¥190 5枚まで¥270



GAPシール

シンボルマークを「宇宙の意識とともに」の英文が取り巻く優雅なデザインのシールです。カバンその他の持ち物に最適。

1枚に大小5個1組 ¥200 送料10枚まで¥80

新アダムスキーアルバム

記・著者 久保田八郎の署名捺印入り

中央アート出版社刊「新アダムスキーアルバム」を日本GAPでも取り扱っています。各巻とも扉に久保田八郎の署名と捺印を入れてお届けします。詳細については本誌の広告を参照して下さい。全巻注文の際の定価割引はありません。送料は1冊310円、7冊まで¥660、10冊まで¥900。ハガキでご注文下されば代金後払いでお届け致します。

申込先
上記各商品のご注文の際は住所、氏名、品名、個数、電話番号をご記入の上、郵便振替か現金書留でご注文下さい。代金後払いも承ります。その場合はハガキに上記のとおりにご記入の上お送り下さい。商品の中に郵便振替用紙を同封しておきますから、現品当着後、最寄り郵便局からご送金下さい。消費税は無関係です。

〒133 東京都江戸川区本一色1-12-1-511

日本GAP 振替 00140-2-35912

03-3651-0958

日本GAP能力開発力セットテープ

●能力開発テープ「生命の科学」¥1500
送料1本¥190 計¥1690

日本GAP東京本部が毎月開催する月例セミナーで久保田会長が97年3月まで行なう「生命の科学」解説講義と質疑応答を録音したテープ。雄大な信念と勇気を起こさせる講演をぜひお聴き下さい。8月より業者の製作により音質とラベルが本格化しました。従来はテープを①と②の2本セットにしていましたが、8月より1本のみで販売します。

●テープのご注文に限り前金注文とします。○年○月分、個数、氏名、住所、電話番号を明記の上、郵便振替、または現金書留で必ず日本GAP宛にご注文下さい。



日本GAPビデオ

臨場感溢れる画像があなたを会場に引き込み、宇宙的な一体感を起こします。全巻VHS。

- 東京本部月例セミナー 全1巻 ¥3000
(内容) 久保田会長の解説講義、他、約120分。
- 日本GAP総会 全2巻各¥3000
(内容) 毎年開催される日本GAP総会を完全収録。(1989年度分から在庫あり)
- 日本GAP海外研修旅行 全1巻 ¥3000
(内容) 旅行のハイライトをまとめた楽しいビデオ。

- 米ワシントン市のアダムスキーカンファレンスに出席する久保田会長の講演(英語)。
全1巻 ¥3000

(内容) 1996年9月8日、久保田会長が英語で長時間講演したためずらしいビデオ。英語テキスト付き。日本語翻訳文は本品131号に掲載。送料はビデオ1本¥390、2本以上3本まで¥700。



ご注文の際は品名、○年○月分、上下巻の区別、個数、住所、氏名、電話番号をご明記の上、郵便振替でお申し込み下さい。(ビデオの代金後払いは不可)

〒162 東京都新宿区富久町36-18 富久マンション103

伊東芳和 振替 00140-8-13811 03-3351-9526

宇宙に満ちるプラズマと 良質波動をあなたの耳元に お届けする大ヒット音響商品!

パラ・スバッハ



プラズマ回路内蔵
ダイナミック型
ステレオヘッドфон
パラスバッハPS2348
(本体、ステレオ金メッキ変換
プラグ、保証書)

◆今や世界で愛用されているパラ・スバッハが
今回の当誌限定で超お買い得プライス。

32,000円→15,800円(税別)

今回の当誌限定商品

■お申し込みは今すぐおはがきか、お電話で!

●お支払い方法は便利な代金引換払いか、下記口座
にお振り込みください。

三和銀行高田馬場 支店普通3733990
(株)アイカ

◎商品到着後8日以内は返品可能です。

◎返送料はお客様負担となります。

- 学習能力が上がった!
- 本当にリラックスできた!
- より深い瞑想感を得られる!
- 直感、ヒラメキが、湧き出る!
- おじいさま、おばあさまが、元気はつらつ!
- ご主人様のくつろぎ、安らぎに。
- 奥様のストレス軽減に。
- お子様の能力向上のために。

この機会に、ご家庭で、一人に一台お使いください!

体験談の1例

私の場合、コピーライターという職業がら、ひらめきとか発想力がいつも要求されます。仕事が煮詰まつくるとどれだけアイディアを出そうとしても、つまらない考えばかり出てくることがよくあるのですが、そんな時は十分ぐらいい休憩をとってこの「パラスバッハ」で音楽を聴くようにしています。疲れがすっきり取れて頭が冴えてくるので、それまで予想もしなかったようなアイディアがぽんぽん出できます。

大阪府MMさん(女性、32歳)広告会社勤務

- 名前 印
 ●生年月日
 ●住所
 ●電話
 ●お支払い方法
 パラ・スバッハを
 注文します。

〒171
 切手 日本 GAP 係
 豊島区池袋2-43-3田村ビル5F
 田村ビル53F

株式会社 アイカ

〒171 豊島区池袋2-43-3田村ビル5F

TEL 03-5992-4661 FAX 03-5992-6461

(株)アイカでは業界最新、最安値の波動転写装置、全ての音を α 波誘導音に変える画期的な波動バイオメディア商品を多く取り扱っております。興味のある方はお問い合わせください。